

**令和3年（2021年）度
京都府総合リハビリテーション充実事業報告書**

京都府健康福祉部
リハビリテーション支援センター

令和 4年（2022年）10月

はじめに

京都府健康福祉部
リハビリテーション支援センター センター長
近藤 正樹

令和2年（2020年）3月より、COVID-19（新型コロナウイルス）のパンデミック状態になり、京都府においても緊急事態宣言がなされました。すでに2年を過ぎましたが、この間、新型コロナウイルス感染症への対応のために、ご苦労されている医療、介護、福祉、行政関係者の皆様には、改めて心より敬意を表します。

今年度は繰り返される新型コロナウイルス感染拡大の波に翻弄されながらも、過去の経験を踏まえて、対策をアップデートしつつ、地域リハビリテーション支援事業を継続してきました。このため、研修会や会議はWEB会議が主体となり、グループ訓練はマスク着用、手指消毒、換気などで対応して実施しました。

平成23年（2011年）度からの「総合リハビリテーション推進プラン」の事業を総括し、令和元年（2019年）度に策定した「京都府総合リハビリテーション連携指針」を事業化することを行ってきました。京都府では、従来の各圏域の地域リハビリテーション・コーディネート事業とあわせ、京都府リハビリテーション三療法士会協議会と協力してリハビリテーション専門職を派遣する体制づくりを行っています。コロナ禍のため制限されている中ではありますが、地域での活動を継続しています。

また、令和4年（2022年）1月21日に第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム「新型コロナウイルス感染拡大下における地域リハビリテーションの役割」をWEBで開催しました。新型コロナウイルス感染の拡大、対策が続く中、リハビリテーションの現場がどのようなになっているのか、どのような問題点があるのか、地域リハビリテーションをどのように進めていくべきなのか、このような点について議論の場が必要と考え、コロナ禍と地域リハビリテーションに焦点をあてた内容となりました。京都府立医科大学リハビリテーション医学教室の沢田光忠郎先生に「新型コロナウイルス感染症とリハビリテーション診療」の内容でご講演いただき、「新型コロナウイルス感染拡大下でもできること・すべきこと～それぞれの立場から見た現状と課題～」と題したシンポジウムを開催し、京都府下から多様な立場の方にシンポジストとしてご発言いただきました。約80名の参加がありました。

高次脳機能障害支援普及事業については、8月21日に医療関係者等研修会をWEBで開催し、「WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害」をテーマに講演を提供し、主要な神経心理検査であるWAIS-IVをどのように高次脳機能障害の臨床に役立てるのかについて専門職を中心に情報提供しました。70名の参加がありました。

研修会はコロナ禍のため全てWEB開催となっています。対面の会と比較して演者と聴衆の距離感が否めないところがありますが、この間、参加者もWEB講演に慣れてきており、何より全国各地からの参加が可能となり悪いことばかりではないと思います。

現時点では、新型コロナウイルスの終息は見え、ウイズコロナでの地域リハビリテーションを展開していく必要があります。諸氏協力のもと、困難な状況を乗り越えていきたいと思います。

令和4年（2022年）10月

令和3（2021）年度 京都府総合リハビリテーション充実事業

1 「総合リハビリテーション充実事業」「高次脳機能障害及び関連障害に対する支援普及事業」概要	4
2 京都府における総合リハビリテーション支援・連携体制	5
（1）京都府における総合地域リハビリテーション推進体制図	5
（2）京都府北部リハビリテーション支援センター	6
3 地域リハビリテーション支援センター活動報告（地域リハビリテーションコーディネート事業）	9
・丹後圏域 地域リハビリテーション支援センター	10
・中丹圏域 地域リハビリテーション支援センター	12
・南丹圏域 地域リハビリテーション支援センター	14
・京都市域 地域リハビリテーション支援センター	16
・乙訓地域 地域リハビリテーション支援センター	26
・山城北圏域 地域リハビリテーション支援センター	28
・山城南圏域 地域リハビリテーション支援センター	30
4 人材確保・育成	35
（1）理学療法士等修学資金貸与事業	35
（2）研修事業	36
ア リハビリテーション専門職キャリアアップ研修	36
リハビリテーション行政職研修会	
イ 機能訓練指導員等研修会	36
ウ 北部在宅リハビリテーション研修会	37
エ 小児・障害児者リハビリテーション研修	38
（ア）摂食嚥下等障害対応支援事業研修会	38
（イ）小児リハビリテーション従事者研修会	38
（ウ）小児リハビリテーション専門職研修会	38
オ 第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム	39
カ 看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修（委託事業）	40
キ リハビリテーション専門職定着化促進事業	43
（ア）リハビリテーション専門職受入研修	43
（イ）リハビリテーション専門職技術向上研修（委託事業）	47
委託先：京都府リハビリテーション三療法士会協議会	
（3）リハビリテーション訪問・相談支援事業	48
（4）摂食嚥下等障害対応支援事業（訪問・相談）	48
（5）リハビリテーション専門職地域人材養成派遣支援事業	49
（6）リハビリテーション専門職緊急確保対策事業	51
ア 高等学校の進路指導担当者等へのリハビリテーション職の紹介	51
イ リハビリテーション就業フェア	51
（7）リハビリテーション医等の養成	53
5 施設の拡充	55
（1）訪問リハビリテーション事業所整備促進事業	55
（2）先端的リハビリテーションの推進について	55
ア 先端的ロボットリハビリテーション事業	55
イ 福祉用具・介護リハビリテーションロボット等の普及啓発	55

6	北部リハビリテーション支援センター実績	56
7	連携体制のシステム化	58
	(1) 脳卒中地域連携バス参加機関一覧	58
	(2) 大腿骨近位部骨折地域連携バス参加機関一覧	59
	(3) 地域リハビリテーション連携推進会議等	60
	ア 京都府地域リハビリテーション連携推進会議（京都府リハビリテーション部会）	60
	イ 地域リハビリテーション支援センター連絡会	61
	ウ 地域リハビリテーション支援センターコーディネーター会議	61
	エ 地域リハビリテーション支援センターコーディネーターミーティング	62
	(4) 小児リハビリテーション懇談会	63
	(5) 介護老人施設に係る在宅支援事業	63
8	総合リハ推進体制の構築	63
9	その他普及支援の取組	64
	(1) 小児リハビリテーション関連施設一覧・発信	64
	(2) 府県リハビリテーション支援センター意見交換会	65
10	高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業	66
	(1) 相談支援事業（相談支援体制、相談実績、高次脳機能障害者グループワーク）	66
	(2) 普及・啓発事業	68
	ア 支援ネットワークの構築	68
	（ア） 京都府ネットワーク会議（事例検討会）	68
	（イ） 京都市域ネットワーク会議（京都市共催事業）	68
	（ウ） 令和2年度高次脳機能障害支援普及事業府市情報交換会	69
	イ 北部高次脳力フェ	69
	ウ 講習会等参加協力	69
	(3) 研修事業等	70
	ア 医療関係者等研修会	70
	イ 事例検討会	71
	ウ 京都府高次脳機能障害当事者と家族の集い	71
	エ 失語症者交流会	71
11	ホームページ・リーフレット	72
12	京都府のリハビリテーション資源	73
	(1) リハビリテーション施設基準届出（地域別）	73
	(2) リハビリテーション関連組織・施設	76
13	普及・啓発事業（講師派遣等）	78
14	研修資料	79

1 令和3年度事業概要

「総合リハビリテーション充実事業」と「高次脳機能障害者及びその関連障害に対する支援普及事業」

総合リハビリテーション充実事業

府民が住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らせるよう、急性期から回復期、維持・生活期まで継続した総合的なリハビリテーション提供体制を実現するため、人材面、施設面、連携面などから施策を実施

事 業 一 覧			令和3年度事業内容		
人 材 確 保 ・ 育 成	理学療法士等修学資金貸与事業		養成施設等に在学中で卒業後一年以内に、府内の免除対象施設で仕事をしたいと考えている方に、勉学を続けるのに必要な資金を貸与	貸与決定人数 府内出身 40名 府外出身 20名	
	リハビリ人材確保 育成事業	リハビリテーション専門職キャリアアップ研修	京都府リハビリテーション行政職研修	未実施	
			リハビリテーション専門職研修会	未実施	
			第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム テーマ「新型コロナウイルス感染拡大下における地域リハビリテーションの役割」	1/21 78名	
		維持・生活期リハビリテーション充実事業	看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修（地域リハビリテーション従事者研修） ※各圏域 地域リハビリテーション支援センターで実施（委託）		
			機能訓練指導員等研修（北部・南部合同WEB開催） テーマ「ただからこそ考えよう 体制作りと多職種連携」施設からの報告と意見交換会		10/20 46名
			小児・障害児者リハビリテーション従事者研修会 小児・障害児者リハビリテーション専門職研修会 （※摂食・嚥下障害対応支援事業研修会と合併）		南北合同Web開催 12/24 50名
			北部在宅リハビリテーション研修会 丹後圏域・中丹圏域訪問リハビリ事業所連絡会		テーマ「医療的ケア児と摂食嚥下障害のリハビリテーション」
			リハビリテーション専門職受入研修		テーマ「訪問リハビリテーションでできること ー介護支援専門員と訪リハの協働ー」
		リハビリテーション専門職認定促進事業 専門職技術向上研修	課題ごと26コース（うち9コースで受入中止） 23名受講（PT14名、OT4名、ST3名、研修中止2）		2/16 94名
			京都府リハビリテーション三療士会協議会への委託		研修5回開催
		一般社団法人 京都府介護老人保健施設協会への委託		研修2回開催	
		京都府リハビリテーション三療士会協議会への助成 等（ベーシック、アドバンス研修 等）			
		リハビリテーション支援センターの理学療法士、作業療法士が介護老人福祉施設、障害福祉施設等に訪問し、リハビリテーションに関する相談を受け、支援を行う（北部、南部）			
		摂食・嚥下等障害 対応支援事業	訪問支援 研修会 （※小児・障害児者リハビリテーション研修会と合併）	リハビリテーション支援センターの言語聴覚士が介護老人福祉施設、障害福祉施設等に訪問し、 摂食嚥下障害やコミュニケーション障害等に関する相談を受け、支援を行う	
				〈再掲〉テーマ「医療的ケア児と摂食嚥下障害のリハビリテーション」	
		リハビリテーション専門職緊急確保対策		府立高等学校と私立高等学校へリーフレット送付	
		リハビリテーション医 等の育成		『リハビリテーション就業フェア』2021の開催（1日終日 対面・Webのハイブリット開催）	
			京都府リハビリテーション教育センター運営 リハビリテーション教育プログラムの作成、座学研修会の実施等		
	施 設 の 拡 充	訪問リハビリテーション事業所整備促進事業		在宅療養者が訪問リハビリテーションサービスを受けられる 環境を整備するため、 事業所開設等に要する経費に助成	
先進的リハビリテーション推進事業		先進的ロボットリハビリテーションの推進			
連 携 体 制 の シ ス テ ム 化	地域リハビリテーションコーディネート事業		各二次医療圏域に「地域リハビリテーション支援センター」を設置（病院に指定） 《地域リハビリテーション支援センターへの委託》 地域のリハビリテーションサービス資源等に精通したコーディネーターを配置し ○地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスの助言相談 ○リハビリテーション従事者への訪問相談 ○リハビリテーションサービス窓口担当者等との事例検討会の開催 ○情報発信、その他地域リハビリテーション推進のために必要な事業		
	小児リハビリテーション懇談会		府内の小児関連施設、団体と情報共有及び意見交換を行う場を提供		
	介護老人保健施設に係る在宅支援事業		地域の在宅支援施設である介護老人保健施設で実施しているリハビリテーションの有用性の啓発と推進		
	クリティカルパス・IT活用病診連携推進費		府内全域でITを活用したクリティカル・パス（地域連携パス）を導入することにより 病院間の情報共有の迅速化を図り、切れ目のない医療ケア、患者の早期社会復帰を 実現するため、クリティカル・パス（地域連携パス）のIT化に助成（医療課）		

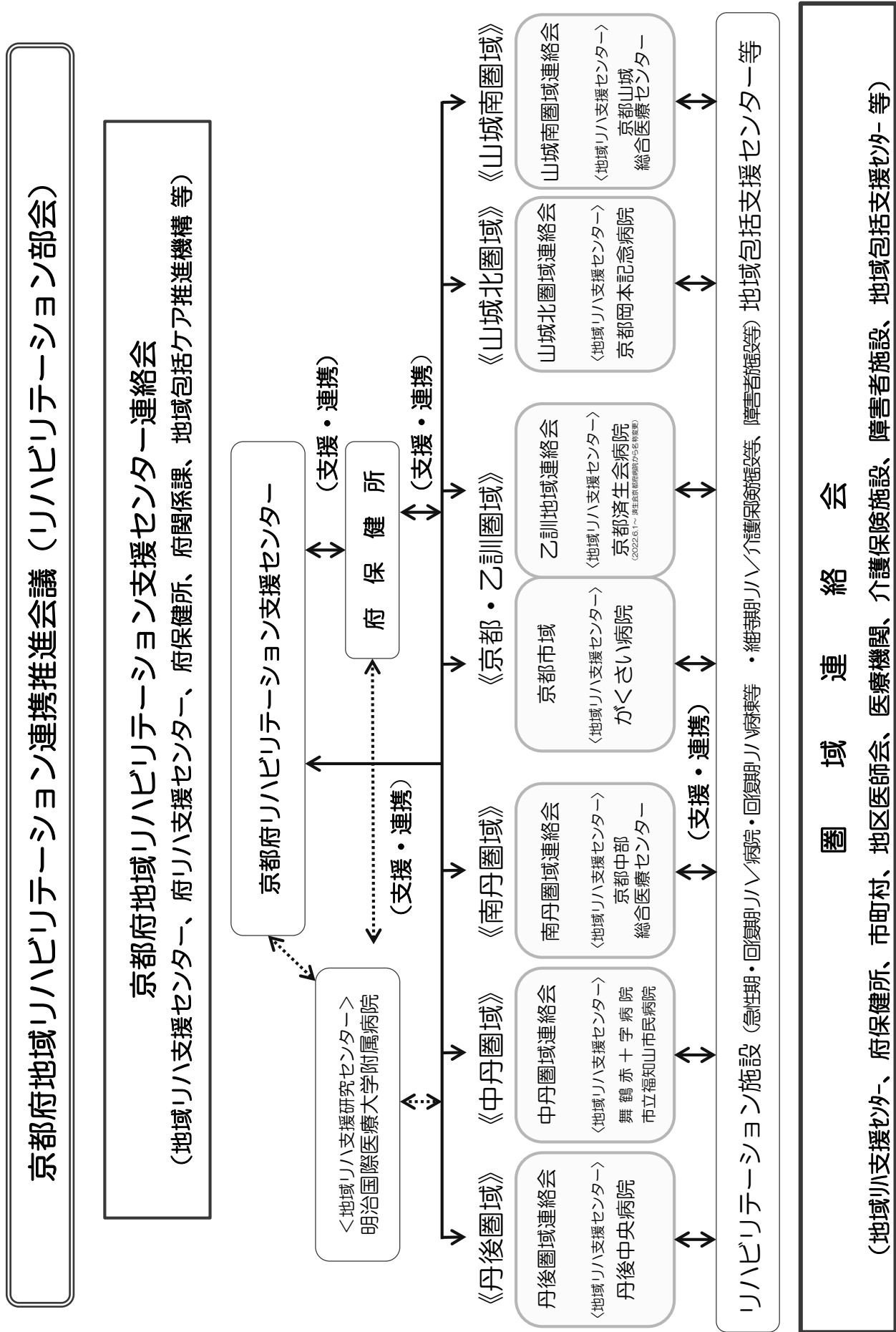
高次脳機能障害者及びその関連障害に対する支援普及事業

高次脳機能障害支援拠点（リハビリテーション支援センター内）に支援コーディネーター（常勤1名、非常勤専任1名 3.5/週）を配置
平成30年度には、北部域の高次脳機能障害支援拠点を北部リハビリテーション支援センター内に設置。支援コーディネーター（非常勤専任1名 3.5/週）を配置し、高次脳機能障害者及びその関連障害者、家族、医療機関、福祉施設等関係機関への支援や連携強化などの施策を実施

事業一覧			令和3年度事業内容	
相談支援事業			高次脳機能障害者、家族、医療機関、福祉施設等関係機関からの相談対応 関係機関等との連携・調整を実施し、当事者の支援体制の調整 南部 ○電話相談（月曜日～金曜日 9：00～12：00、13:00～17:00） ○来所相談（木、金曜日のみ 13：00～16：00（予約制）） ○訪問、同行支援、カンファレンス参加（適宜） ○グループワーク（かもがわグループ） 北部 ○電話相談（月曜日、木曜日、9：00～12：00、13:00～17:00） ○来所相談（月曜日のみ 13：00～16：00（予約制）） ○訪問、同行支援、カンファレンス参加（適宜） ○北部高次脳カフェ（未実施）、グループワークを南北中継にて合同開催	
普及啓発事業	支援ネットワークの構築	医療、福祉、行政関係者等によるネットワーク会議	ネットワーク会議（7Gにわかれての事例検討会）Web開催	1/24 49名
	講習会	<small>（協保協会助成事業）</small> 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 実行委員会方式による一般府民を対象とした講習会	脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 Web開催 （実行委員会方式にて実施）	12/12 97名
	情報発信・情報提供		勉強会等への参加・協力、ホームページ等による情報発信 高次脳機能障害支援に関するパンフレットの作成・更新	
研修事業	行政職員、福祉・医療関係者等に対する研修会		脳損傷後の当事者と家族の集い ※支援者の参加有	未実施
			こどもの高次脳機能障害と家族の集い	未実施
			医療関係者等研修会 テーマ「WAIS-Ⅳから見立てる高次脳機能障害」	8/21 70名

2 京都府における総合リハビリテーション支援・連携体制

(1) 京都府における総合リハビリテーション連携体制図



2 京都府における総合リハビリテーション支援・連携体制

(2) 京都府北部リハビリテーション支援センター

「北部リハビリテーション支援センター」について

京都府では、京都府北部地域における高齢化等によるリハビリテーション需要への対応や高次脳機能障害の相談場所がない等の課題に対応するため、本府リハビリテーション支援センターのサテライト拠点として「北部リハビリテーション支援センター」を平成30年9月20日（木）に開設しました。

北部リハビリテーション支援センターについて

1 開設場所

京都府中丹東保健所1階
（舞鶴市字倉谷1350-23）
電話0773-75-7557



2 主な機能

1. リハビリテーション支援の北部活動拠点

- ・リハビリテーション従事者等への相談・指導
- ・在宅リハビリテーション研修等の実施
- ・関係機関等による連携体制の構築 等



2. 高次脳機能障害者への北部支援拠点

- ・高次脳機能障害支援コーディネーターによる相談等支援※
- ・医療機関等との連携強化
- ・高次脳カフェの開催や支援体制の構築 等

※高次脳機能障害支援相談窓口を併せて開設

〈電話相談〉 0773-75-7556（相談専用電話）

月・木曜日（祝日除く） 午前9時～12時、午後1時～5時

〈来所相談〉 月曜日（祝日除く完全予約制）午後1時～4時

3 相談等支援体制

リハビリテーション支援担当（理学療法士、保健師） 2名

高次脳機能障害支援コーディネーター（保健師） 1名（週3.5日勤務）

地域リハビリテーション支援センター 活動報告

3 各圏域地域リハビリテーション支援センター 活動報告

地域リハビリテーションコーディネート事業

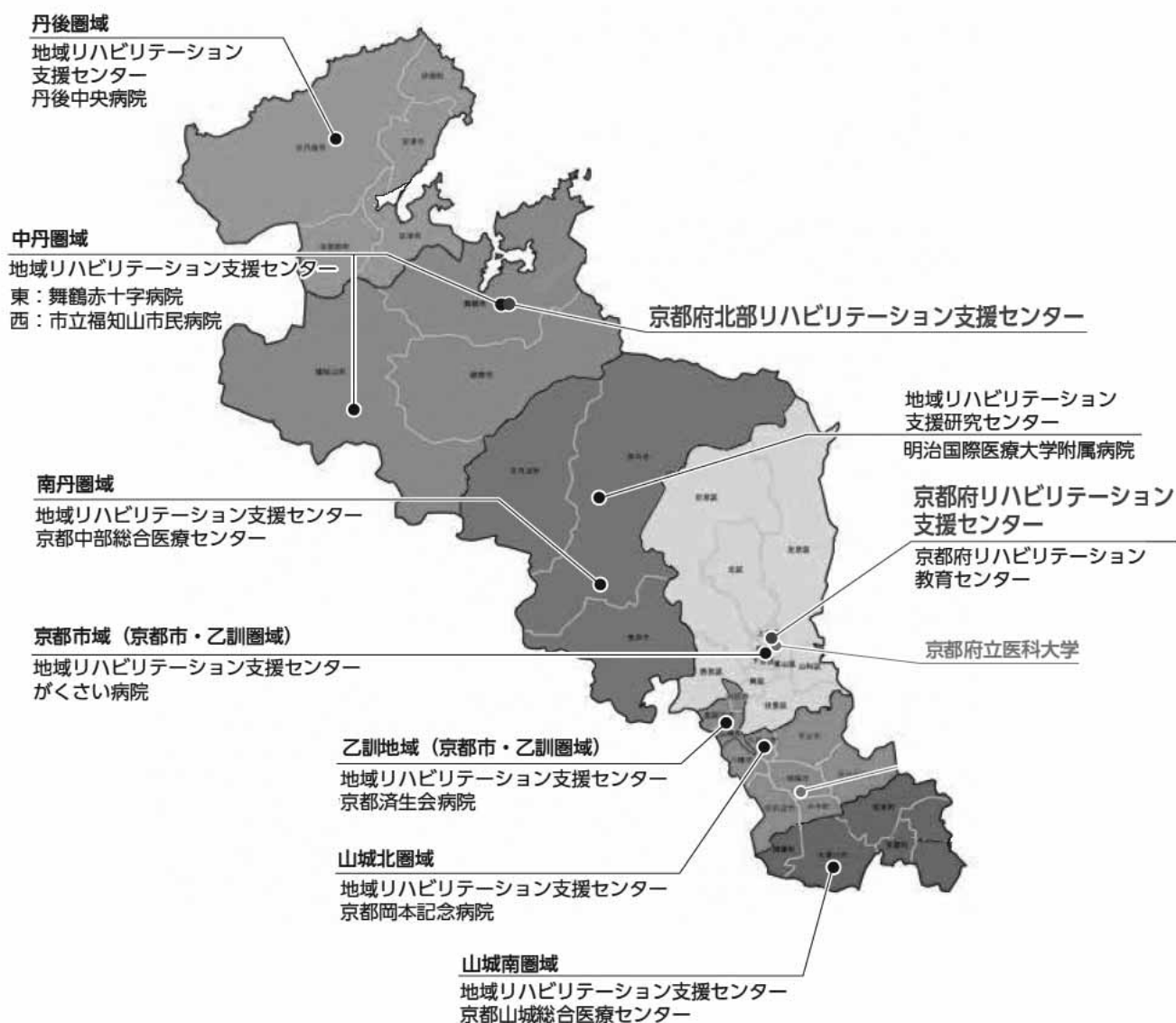
地域リハビリテーション支援センター

丹後・中丹・南丹・京都市・乙訓・山城北・山城南の各圏域において、それぞれの地域のリハビリテーション拠点として「地域リハビリテーション支援センター」を、また全圏域を対象に地域リハビリテーション支援研究センターを指定しています。

《 指定の考え方 》

- ◆ 圏域におけるリハビリテーションの基幹病院として新たなリハビリテーション技術の導入など高度なリハビリテーション医療を提供する能力を有すること。
- ◆ 医療機関をはじめとする地域の他のリハビリテーション提供施設、地域包括ケアに係る関係機関との連携・調整能力に優れていること。
- ◆ 研修受入や施設の共同利用等を通じて地域全体のリハビリテーション資源の拡充を図る資質を備えていること。
- ◆ 地域リハビリテーション支援センター長（医師）及びコーディネーター（療法士等）を配置できること。

京都府のリハビリテーション施策図





丹後圏域地域リハビリテーション支援センター

指定病院 丹後中央病院
所管保健所 丹後保健所

センター長
西島直城（顧問）

コーディネーター
坂根勇輝（作業療法士）

サブコーディネーター
平岡有香（作業療法士）

圏域連絡会

開催日 令和4年3月4日（金）

参加者数 24名

内容

- 令和3年度京都府リハビリテーション支援センター事業について
- 令和3年度丹後圏域地域リハビリテーション支援センター事業について
- 丹後圏域地域リハビリテーション連携指針の改定について 作業部会の報告と改訂版の提案
- 協議「丹後地域の地域リハビリテーションの課題と今後の取り組みについて
～丹後圏域地域リハビリテーション連携指針の改定について～」

丹後圏域地域リハビリテーション連携指針改定作業部会

開催日 令和3年7月9日（金） 10月29日（金） 12月10日（金）

構成団体

医師会	（社）与謝医師会／北丹医師会
医療機関	京都府医科大学附属北部医療センター／京丹後市立弥栄病院／京丹後市立久美浜病院 宮津武田病院／丹後中央病院／丹後ふさと病院
介護保険関係機関	京都府訪問看護ステーション協議会／京都府老人福祉施設協議会／京都府介護支援専門員会／京都府介護老人保健施設
障害福祉機関	丹後圏域障害者総合相談支援センター
行政機関	宮津市／京丹後市／伊根町／与謝野町 京都府リハビリテーション支援センター（北部） 京都府丹後保健所

圏域協力病院・施設一覧

京都府立医科大学附属北部医療センター／京丹後市立弥栄病院／京丹後市立久美浜病院／丹後ふさと病院／宮津武田病院／与謝野町立国保診療所／よしおかクリニック
宇川診療所／やさか老人保健施設ふくじゅ／介護老人保健施設リハビリなごさ苑／天の橋立訪問看護ステーション／宮津訪問看護ステーション／ふらむはあとリハビリねっと
与謝野町地域包括支援センター／伊根町役場保健福祉課／デイサービス芳寿館／丹後圏域サービスセンター／サービスセンター住の江／サービスセンター生活リハビリ道場
はなまるデイサービス／ママとこどものための整体サロンpittamko／特別養護老人ホームタ風の里／特別養護老人ホーム安寿の里／グループホームふれあい／松本リハビリ研究所
あーと・ねっと しーど／リハタイムズ／bloom

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 47件

内容 市町村関連：京丹後市、与謝野町の地域ケア個別会議11件、宮津市、京丹後市、与謝野町の地域ケア推進会議9件
京丹後市、与謝野町の認知症カフェ連絡会3件、京丹後市のケアスタッフ会議5件、ケアマネ会議7件
市町ヒアリング4件
その他対応：認知症交流相談会1件、医療的ケア部会4件、相談支援部会1件、丹後地域セラピスト連絡会2件

従事者支援のための訪問・相談

件数 51件

内容 特養9件、居宅介護支援事業所10件、小規模多機能型居宅介護事業所3件、介護予防通所介護1件、
地域包括支援センター1件、訪問看護ステーション2件、障害者生活支援センター10件、作業所1件、
障害者支援施設1件、保育園1件、病院12件
（WEBでの実施：5件 協力病院等による対応：9件）

リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

開催日	参加者	テーマ
1 令和3年 8月31日（火）	37名	生活期リハの視点から考える急性期・回復期リハスタッフに役立つポイント
2 令和3年 12月14日（火）	19名	障害者福祉における対象者の生活をささえる支援と連携 ～リハビリテーション専門職の活用～
3 令和4年 2月10日（木）	35名	丹後圏域における医療的ケア児を取り巻く状況とリハビリテーション
4 令和4年 3月 8日（火）	23名	市町の介護予防・フレイル予防事業における リハビリテーション専門職との連携と活用
1 実践報告 情報交換	「生活期の連携ってどうやんの？～在宅生活をイメージしたリハ職のつながり～」 公益財団法人丹後中央病院 訪問リハビリテーション事業所 理学療法士 志水美智也	
2 実践報告 情報交換	「作業所に通う脊髄小脳変性症の方への関わり～相談支援専門員・リハビリ専門職それぞれの立場から～」 京丹後市障害者相談支援事業所 結 相談支援専門員 廣野久美子 丹後圏域地域リハビリテーション支援センター 作業療法士 平岡有香	
3 報告 実践報告 情報交換	「丹後管内の在宅療養児の状況」 京都府丹後保健所 保健課 保健師 田邊文子 「医療的ケアを必要とする児とその家族の在宅生活の支援から～訪問看護、訪問リハ、療育機関等との連携～」 京都府丹後保健所 保健課 保健師 野上麻耶 京丹後市久美浜訪問看護ステーション 看護師 奥谷典子 理学療法士 森垣達哉	
4 実践報告 現状報告 情報交換	「綾部市における リハビリテーション専門職との連携について」 綾部市役所 福祉保健部 高齢者支援課 地域包括支援センター担当 保健師 梅原奈緒 〇宮津市 〇京丹後市 〇伊根町 〇与謝野町	

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会の開催

（当該研修ページ参照）

情報発信

【ホームページ】 <http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

【広報紙】 うさぎのぶらんこ



高次脳機能障害・障害児者への取り組み

令和3年度在宅療養児支援者研修会参加（WEB）（11/2）
令和3年度京都府高次脳機能障害支援ネットワーク会議参加（1/24）
令和3年度 京都府小児リハビリテーション懇談会参加（3/1）

その他（圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組み、市町村との取り組みなど）

令和3年度丹後保健所地域包括ケア推進連絡会議参加（4/30）
京都府リハビリテーション専門職地域人材養成・派遣支援事業フォローアップ研修ファシリテーター参加（5/9）
介護ロボット導入セミナー参加（8/25）
京丹後市みまもりあいプロジェクト講演会参加（9/28）
医療と介護の連携推進研修会参加（WEB）（10/2）
京都府理学療法士会地域局事業第1回プレブロック会議参加（WEB）（10/27）
若年性認知症支援研修会参加（WEB）（11/5）
京都府北部訪問リハビリテーション事業所連絡会参加（WEB）（12/22）
令和3年度京都府小児リハビリテーション研修会参加（WEB）（12/24）
第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム参加（WEB）（1/21）
令和3年度第1回京都府北部在宅リハビリテーション研修会参加（2/16）



中丹圏地域リハビリテーション支援センター

指定病院 (東) 舞鶴赤十字病院 / (西) 市立福知山市民病院
所管保健所 (東) 中丹東保健所 / (西) 中丹西保健所

センター長
(東) 片山義敬 (院長)

コーディネーター
小幡彰一 (理学療法士)

サブコーディネーター
久保綾子 (理学療法士)

センター長
(西) 中村紳一郎 (副院長)

コーディネーター
足立晃平 (理学療法士)

サブコーディネーター
足立美幸 (作業療法士)

圏域連絡会

開催日 令和3年12月20日(月) オンライン開催(ZOOM)

参加者数 37名 (参加機関 28機関 以下参照)

内容

1、令和3年度事業中間報告

(1) 京都府北部リハビリテーション支援センター (2) 中丹東・西地域リハビリテーション支援センター

2、議事

(1) 昨年度の振り返り

(2) 参加機関からの活動報告

①「オンラインを使ったリハビリテーション」 訪問看護ステーションほっぴ 理学療法士 古川 博章

②「第3次あやべ健康増進・食育推進計画策定」 綾部市保健センター 保健師 小森 友希恵
～アンケート調査結果報告書からみえる新型コロナウイルス感染症の影響について～

(3) 意見交換

「コロナ禍でのリハビリテーション～今、これからできる事～」

構成団体

医師会	舞鶴医師会／綾部医師会／福知山医師会／舞鶴歯科医師会／丹波歯科医師会
医療機関	舞鶴医療センター／舞鶴こども療育センター／市立舞鶴市民病院／綾部市立病院／京都協立病院／京都ルネス病院／渡辺病院 (東舞鶴医誠会病院)
介護保険関係機関	京都府訪問看護ステーション協議会 老人保健施設あやべ／介護老人保健施設さくら苑／特別養護老人ホーム五十鈴荘 舞鶴介護支援専門員会／綾部市介護支援専門員協議会／福知山市介護支援専門員会
障害福祉機関	障害者支援施設こひつじの苑舞鶴／綾部市基幹相談支援センター／福知山市障害者生活支援センター「青空」
行政機関	舞鶴市／綾部市／福知山市 京都府リハビリテーション支援センター 京都府中丹東保健所／中丹西保健所

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 東16件 / 西13件

内容 市町村関連：(東) 舞鶴市認知症初期集中支援チーム会議、舞鶴市医療的ケア支援連携会議への派遣
(西) 福知山市や地域包括支援センターとの情報共有・連携会議、OT1名高齢者福祉課へ派遣

その他対応：(東) 地域ケア会議(加佐地域事例検討会議)

(西) 高次脳機能障害連携会議、障害者・障害児者の個別支援会議

従事者支援のための訪問・相談

件数 東58件 / 西48件

内容 (東) ケアマネジャー23、地域包括支援センター14、作業所4、グループホーム4、身障センター3、
介護予防事業所3、デイサービス3、特養2、訪問看護1、サ高住1、その他(市、家族、支援学校等)
(協力病院・施設による対応5件；舞鶴共済、京都協立、ひらむはあと×2、福知山市民)

(西) 訪問場所：在宅訪問32、施設訪問10、病院5、保育園1

依頼元：ケアマネジャー40、施設看護師3、訪問看護師1、施設管理者2、保健師1、家族1
(協力病院・施設による対応5件；京都ルネス病院、訪問看護ステーションほっぴ、綾部市立病院)

リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

開催日	参加者	テーマ
1 令和3年7月12日（月）	26名	（東西合同）地域リハ支援センター事業計画／各施設連絡事項
2 令和3年8月23日（月）	12名	（舞鶴市） 舞鶴市自立支援ケアマネジメント研修 生活課題分析
3 令和3年9月2日（木）	12名	（中丹西）地域リハ支援センター活用について／従事者研修会について
4 令和3年9月27日（月）	11名	（綾部市）綾部市地域リハビリテーション事業報告等
5 令和3年12月6日（月）	27名	（東西合同）障害児者リハ事例検討 3事例
6 令和4年3月14日（月）	24名	（東西合同）診療報酬改定等について情報交換と対策／各施設連絡事項

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会の開催

（中丹東）

令和3年11月8日～9日（12時間）舞鶴赤十字病院東館講堂 参加者28名

- ・地域リハ、感染対策、摂食嚥下、関節可動域、運動機能向上、福祉用具、住環境調整、トランスファー
- ・講師：中丹東地域リハ支援センター、京都府北部リハ支援センター、舞鶴赤十字病院

（中丹西）

令和4年1月17日（月）ZOOM研修 ①14時30分～16時10分、②18時30分～20時10分 参加者43名

- ・明日から使える「身体の使い方・腰痛予防・移乗」セミナー
- ・講師：笠原 聖吾（理学療法士・機能訓練指導員・衛生管理者／グリーンライフ東日本株式会社）

（東西合同）

令和4年2月9日（水）ZOOM研修 13時30分～16時 参加者53名

- ・令和3年地域リハひといき庵（地域リハ実践交流会）令和3
- ・発表：中丹圏域の各施設・事業所から5演題発表
- ・講演：中丹東地域リハ支援センター20年の歩み
- ・地域別懇談会：舞鶴、綾部、福知山に分かれて実施
- ・申込希望者にYouTubeで見逃し配信

情報発信

【ホームページ】 <http://www.chutan-rh.jp/>

【今年度発行物】 中丹地域リハビリテーション連携推進ガイド発行・送付



その他（高次脳機能障害・障害児者への取り組み

圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組み、市町村との取り組みなど）

【中丹東西】

- 中丹地域リハビリテーション支援センター事業打合せ（令和3年4月19日）
- 地域リハビリテーション支援センターミーティング（令和3年6月21日、10月15日）
- 理学療法士等修学資金貸与セミナー（令和3年11月29日）
- 京都府北部訪問リハビリテーション事業所連絡会（令和3年12月22日）
- 京都府小児リハビリテーション研修会（令和3年12月24日）
- 地域リハビリテーション支援センターコーディネーター会議（令和3年12月27日）
- 第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム（令和4年1月21日）
- 高次脳機能障害支援ネットワーク会議（令和4年1月24日）
- 京都府北部在宅リハビリテーション研修会（令和4年2月16日）
- 小児リハビリテーション懇談会；オブザーバー出席（令和4年3月1日）
- 京都府北部三療法士会合同研修会（令和4年3月3日）

【中丹東】

- 綾部市サポート会議（地域ケア会議）への専門職派遣調整（協力病院の輪番）、リハ専門職訪問事業等の支援
- 綾部市介護予防指導者研修、在宅重度心身障害児者機能訓練事業への講師派遣
- 舞鶴市介護予防ケアマネジメント支援会議（地域ケア会議）への専門職派遣調整（協力病院の輪番）リハ専門職訪問事業支援
- 舞鶴市農閑期介護予防事業、在宅療養コーディネーター会議、認知症初期集中支援チーム等への支援
- 認知症相談窓口「にじカフェ」1回／月（当事者20名、家族18名、支援者4名、スタッフ25名）

【中丹西】

- 高次脳機能障害リハビリテーション学習会（オンライン） 実行委員として打合せ会議及び学習会に出席



南丹圏域地域リハビリテーション支援センター

指定病院 京都中部総合医療センター
所管保健所 南丹保健所

センター長
林田達郎（リハビリテーション科部長）

コーディネーター
菱池正之（理学療法士）／ 梶田宏司（理学療法士）

圏域連絡会

開催時期 令和3年10月25日（月）午後2時～4時
開催場所 各所属（Zoom会議）
内容 テーマ「南丹管内の現状と課題について」
・令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画
・令和2年度圏域連絡会の意見報告と取りまとめ
・その他、意見交換

配布資料

京都府地域リハビリテーション南丹圏域連絡会設置要綱、令和2年度事業概要
京都府総合リハビリテーション連携指針、京都府リハビリテーション支援センター 令和3年度事業計画
南丹地域リハビリテーション支援センター 令和2年度事業報告・令和3年度事業計画
京都府総合リハビリテーション連携指針を基にした管内の課題と対応
令和2年度 圏域連絡会 集計結果

構成団体

医師会	亀岡市医師会／船井医師会／京都府口丹波歯科医師会
医療機関	亀岡シズ病院／ムツミ病院／亀岡病院／園部病院／亀岡市立病院／国保京丹波町病院 国保京丹波町病院和知診療所／明治国際医療大学附属病院／花ノ木医療福祉センター／南丹みやま診療所 京都中部総合医療センター
介護保険関係機関	京都府訪問看護ステーション協議会南丹地域／京都府介護支援専門員会中部ブロック たんば通所リハビリテーション／京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会 南丹グループ 南丹保健所管内栄養士連絡協議会／京都府看護協会口丹地区／介護老人保健施設シズふないの里
行政機関	亀岡市／南丹市／京丹波町 京都府リハビリテーション支援センター 京都府南丹保健所

圏域協力病院・施設一覧

基準：圏域内でセラピストの在籍している病院

亀岡病院／園部病院／国保京丹波町病院／国保京丹波町病院和知診療所／丹波笠次病院／介護老人保健施設シズふないの里／明治国際医療大学附属病院／南丹みやま診療所

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 44件

内容 市町村関連：・各市町の地域ケア個別会議（亀岡市 8件、京丹波町9件）への出席
・南丹市認知症サポートチーム会議への出席

その他対応：その他、地域包括支援センターからの個別の相談に対応

従事者支援のための訪問・相談

件数 45件

内容 ・身体機能評価、リハビリプログラムの検討
・嚥下機能の評価、食事内容についての助言
・住環境整備、福祉用具の選定や使い方についての助言
・ポジショニングについての助言
・介護保険のサービス内容についての検討
・身体介助の方法についての助言
・通いの場や障がい者支援施設での講話

リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

開催日	参加者	テーマ
1 令和3年10月21日	26名	「高齢者骨折事例のケアマネジメントを見直そう」
2 令和3年11月24日	14名	「事例検討を通して関係機関で意見交換」
3 令和4年3月8日	11名	「神経難病患者の支援について地域リハ関係機関との意見交換」
4 令和4年3月23日	17名	「地域で必要な神経難病患者の支援について訪問リハの実践より学ぶ」

内容

- 地域のリハ職から「混乱期のスムーズな支援のために」という内容で発表を行った後「適切なケアマネジメントの手引き」を参考に、地域包括支援センター、ケアマネジャーを中心とした職種でグループワークを行った。
- 山間部に在住、人工透析等医療サービスの必要な高齢独居女性の事例を基に地域課題や事例に必要な支援について協議した。
- 協力施設及び、地域リハ関係機関で圏域のリハ職に対するアンケート調査結果について共有し、多職種連携における課題や難病患者からの相談内容、対応状況を中心に地域での神経難病患者の支援について協議した。
- コーディネーター、地域リハ関係機関2施設より事例紹介を中心とした話題提供を行い、参加者と意見交換を行った。

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会の開催

(当該研修ページ参照)

情報発信

南丹圏域地域リハビリテーション支援センターホームページ 随時更新
URL : <http://www.nantan-rehashien.org/index.php>

リハビリ相談・訪問指導や支援事業に対する助言・相談、相談用紙、研修会情報※1、南丹圏域リハビリ資源※2などが掲載されています。

※1 研修会について

研修会開催情報や研修会開催後の報告が記載されています！！

※2 リハビリ資源

南丹圏域内の療法士(PT/OT/ST)在籍施設一覧(回答あり及び公開可施設)及びリハビリ提供施設紹介が掲載されています！！



その他(高次脳機能障害・障害児者への取り組み

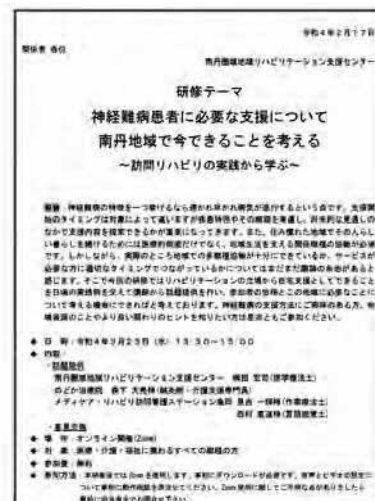
圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組み、市町村との取り組みなど)

○リハビリ資源調査

○南丹圏域のリハビリ従事者を対象としたアンケート調査

○南丹市社会福祉協議会健康プロジェクトへの協力

○京都府高次脳機能障害ネットワーク会議に参加





京都市域地域リハビリテーション支援センター

指定病院 **がくさい病院**

所管 京都府リハビリテーション支援センター

センター長
上島圭一郎（院長）

コーディネーター
清水真弓（理学療法士）

サブコーディネーター
森本雅之（作業療法士）、中西文彦（作業療法士）

圏域連絡会等

開催日 令和4年3月15日（火）

参加者数 7名（京都市・京都府・京都市域地域リハビリテーション支援センター）

- 内 容
- 京都府における地域支援事業等への取組
 - 京都市域京都府地域リハビリテーション支援センターにおける地域支援事業等への取組
 - 京都市におけるリハビリテーション専門職活用状況について
 - 意見交換（課題と今後の方向性について）

構成団体

医療機関	がくさい病院
行政機関	京都市健康長寿企画課 介護予防推進担当 （京都市健康長寿企画課 地域包括ケア担当） 京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 91件

- 内 容
- 京都市との地域リハビリテーション支援
 - 〈京都市介護予防ケアマネジメント支援事業〉地域包括支援センター6カ所、web開催
 - 〈京都市介護予防フレイルモデル事業〉地域介護予防推進センター6カ所、7G（伏見区、醍醐・深草、南区、左京区、下京区、北区）
 - 〈京都市介護予防推進センター 情報交換会〉〈京都市認知症関連事業〉等
 - 圏域内のローカルコミュニティでのネットワーク
 - 〈在宅リハ連絡会〉7地域、各2回、計14回
北区/上京区、中京区、西京区/右京区、伏見区（伏見）、左京区、山科区/伏見（醍醐・深草）、下京区/南区/東山区
 - 〈行政区に関連する連携〉
 - 北区：地域包括支援センター運営協議会・運営会議 等
 - 左京区：保健師看護師部会
 - 伏見区：向島暮らし安心ワーキング
 - 西京区：洛西地域介護保険事業所連絡会 世話人ミーティング・連絡会
 - 山科・醍醐：医療介護連携研修会（多職種事例検討会）
 - 〈在宅医療連携〉中京区、西京区、北区/上京区 医療・介護連携支援センター
 - 〈介護保険事業者連絡会〉北区介護保険事業者連絡会
 - 〈地域包括支援センター〉
 - 〈地域ケア会議（皿生活圏域）〉仁和（上京区）、岩倉・左京南（左京区）、紫竹・原谷（北区）、地域包括支援センター 地域ケア会議
 - 〈その他〉山科区・醍醐・深草地域 医療介護連携研修会 等
 - 認知症関連のネットワーク
 - 〈北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会〉
 - 〈認知症カフェ〉おれんじ庵金閣（北区金閣学区）
 - 〈認知症サポーター養成講座・研修会〉京都市認知症支援センター、近畿中央看護専門学校、青少年赤十字高校生協議会部会、日本赤十字社京都府支部左京南圏域SOSネットワーク、認知症の人とみんなの会・センターweb研修会、大津市認知症フォーラム
 - 介護予防に関する事業
 - 〈介護予防推進センター〉上京区介護予防推進センター 公園体操・自主グループ体力測定会、下京区介護予防推進センター 体力測定会・ミニ講話
 - 〈行政区に関連する連携〉北区：健康長寿のまちづくり推進会議、西京区：健康長寿のまちづくり区民講座
 - 〈自主活動グループ支援〉しょくりゅうクラブ・梅逕ほっこり教室（下京区）
 - 〈地域包括支援センター〉岩倉団地マルシェ体操、左京南圏域ウォーク、久世地域包括支援センターおたっしやクラブ、左京北地域包括支援センター短期集中リハ教室 等
 - 地域の支援者への支援事業
 - 〈高齢者の居場所づくり〉いわくら農園倶楽部（岩倉地域包括支援センター）、上京朝加71、珈琲男団（上京区地域支えあい活動）等
 - 〈コロナ関連 孤立対応等〉上京区エール交換プロジェクト、Yonde!プロジェクト
 - 〈防災支援〉菊浜学区 防災福祉のまちづくり（下京区）
 - その他（事業所支援等、研修・講習会等）
 - 〈その他〉第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム 等

従事者支援のための訪問・相談

件数 48ケース（1ケースの平均訪問相談回数：2.2回、総訪問回数：107回）

内容 うちコロナ感染者への相談支援8ケース（訪問回数27回）、特養・小規模多機能等の高齢者施設6カ所

リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

	開催日：形式	参加者	事例提供者
【地域包括支援センターとの事例検討会】			
1	令和3年5月12日(水)、6月9日(水)、9月8日(水)、12月8日(水) 令和4年3月9日(水)：web	7-14名	左京北地域包括支援センター
2	令和3年5月27日(木)、7月22日(木)、10月28日(木) 令和4年2月23日(水)、3月24日(木)：集合	5-9名	下京東部地域包括支援センター
3	令和3年5月28日(金)、7月30日(金)、9月24日(金)、11月26日(金) 令和4年3月25日(金)：web	6-7名	左京南地域包括支援センター
4	令和3年6月8日(火)、9月14日(火)、12月14日(火)、 令和4年3月8日(火)：web	11-16名	岩倉地域包括支援センター
5	令和3年6月22日(火)、9月22日(水)、令和4年1月25日(火)：web	6-12名	大原地域包括支援センター
6	令和3年7月29日(木)：web	5名	修学院地域包括支援センター
7	令和3年6月17日(木)、9月16日(木)、令和4年1月20日(木)：web	13-15名	左京区地域包括支援センター プランナー部会
8	令和3年7月14日(水)、令和4年1月12日(水)：web	6-8名	左京区地域包括支援センター 保健師・看護師部会
9	令和3年6月15日(火)、10月12日(火)、令和4年2月14日(月)：web	4-6名	紫野地域包括支援センター
10	令和3年6月25日(金)、12月3日(金)：集合	11-15名	嵐山地域包括支援センター
11	令和3年8月19日(木)：集合	7名	花園地域包括支援センター
12	令和3年6月23日(水)、令和4年1月19日(水)：集合	6-7名	本能地域包括支援センター
13	令和3年7月5日(月)、11月22日(月)：集合	6-8名	西ノ京地域包括支援センター
14	令和3年7月29日(木)、9月30日(木)、11月25日(木)、 令和4年3月24日(木)：集合・web	7-11名	西京北部地域包括支援センター
15	令和3年4月12日(月)、5月10日(月)、6月14日(月)、7月12日(月)、 10月18日(月)、11月8日(月)、12月13日(月)：web	10-15名	桂川地域包括支援センター
16	令和3年5月17日(月)、7月19日(月)、9月27日(月)、11月15日(月) 令和4年1月17日(月)、3月28日(月)：集合・web	8名	境谷地域包括支援センター
内容：地域包括支援センターとの介護予防ケアマネジメント支援に関する事例検討会 14地域包括支援センターと実施(圏域内全64のうち)、協力リハ職25名(のべ129名)			
【多職種との事例検討会】			
17	令和4年3月18日(金)：web 「初めての障がいのある方への就労サポート ～ケアマネジャーも一緒に～」	16名	サブコーディネーター OT森本

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会の開催

〈テーマ①：就労〉

開催日時 令和4年3月18日(金) 18:00～19:30

開催場所 web形式 (zoom使用)

研修名 「初めての障がいのある方への就労サポート～ケアマネジャーさんと一緒に～」

講師 京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」 佐藤雅裕 (相談支援専門員)

〈テーマ②：認知症〉

開催日時 令和4年3月19日(土) 14:00～15:00

開催場所 web形式 (zoom使用)

研修名 看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会シンポジウム

「認知症の方への個別リハビリテーションと社会参加・活動への支援」～もっと介護から学ぶ・生活・人生・関係～

講師 事例提供① 北村卓也 (京都きつがわ病院 理学療法士)

事例提供② 奥山紘平 (第二上田リハビリテーション診療所 理学療法士)

モデレーター 松本健史 (合同会社松本リハビリ研究所 所長 理学療法士)

情報発信

ホームページ URL :<http://www.gakusai.or.jp/kyoto-reha-center/index.html>

- リハビリテーションに関するご相談
- 訪問指導サービスや施設や事業所の勉強会の支援
- 事例検討会・リハビリテーション従事者研修会
- 情報発信



その他（高次脳機能障害・障害児者への取り組み、圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組みなど）

○事業所調査(訪問リハ、通所リハ事業所一覧作成・配布)

○コロナ感染症対策関連研修会

〈医療従事者向け感染対応実践研修会〉web実技研修会、令和3年7月9日(金)、7月12日(月)

京都府薬剤師会共催

講師=北区・上京区医療・介護連携支援センター センター長 村上成美 コーディネーター 鷲巣典代

〈コロナ禍におけるリハ連携を考える意見交換会〉web、令和3年9月23日(木・祝)

テーマ=新型コロナ在宅患者に必要な呼吸リハの知識とリハ連携

「第5波での新型コロナ感染における急性期リハの状況と地域への働きかけ」

講師=神戸市立医療センター中央市民病院 PT 岩田健太郎

「long COVID-19患者を担当することになったら…在宅呼吸リハに必要な知識と連携～」

講師=神戸大学大学院保健学研究科 認知症予防推進センター PT 沖侑太郎

〈コロナ事例検討会〉

コロナ禍でのリハビリテーション連携を考える事例検討会～withコロナ時代における必要なリハ連携とは？～

web形式、日本在宅医療連合学会コロナワーキングの模擬事例より

第1部【COVID-19感染に関する対応について】令和3年6月22日(火)

事例1「介護者が感染し利用者が自宅療養を行った事例」

事例2「嚥下訓練をしている訪問STが濃厚接触者となった事例」

第2部【COVID-19感染者に対する支援について】令和3年7月15日(木)

事例3「軽症患者の回復後の退院支援について」

事例4「軽度認知症の独居男性の在宅療養支援」

○介護職に対する研修会（京都地域密着型協議会との共催web研修会）

研修テーマ「体の仕組みを知ろう(内臓・骨格)」「おむつ」「車椅子」「飲み込み」「基本動作」

講師：合同会社松本リハビリ研究所 PT 松本健史

住まいと介護研究所 PT 谷口昌宏

おむつ宅急便 PT 八木大志

ゴトウライフクリエイション PT 松永健吾

はなすたべるくらす舎 ST 高田耕平

その他リハ職協力者=13名

Web形式：令和3年5月7日(金)、5月21日(金)、5月26日(水)、6月10日(木)、6月11日(金)、6月18日(金)、

6月30日(水)、7月13日(火)、7月19日(月)、9月15日(水)、9月21日(火)、10月15日(金)、

10月21日(木)、令和4年1月18日(火)

集合形式：令和3年6月27日(日)、8月1日(日)、令和4年1月16日(日) 会場=京都府歴史館小ホール

○リハ専門職・関連職種に対する研修会

第2回 京都府地域活動派遣登録者研修会 兼 第1回 地域リハリテーション活動パートナー事業所連絡会；web

令和4年3月19日(土)

「地域リハビリテーション活動パートナー事業所連絡会～リハ専門職地域活動派遣登録事業について～」

実践報告① 地域包括支援センターとの事例検討会 洛西ニュータウン病院訪問リハリテーション PT 木村裕

実践報告② 地域の自主活動グループへの支援 メディケアリハ訪問看護ステーション京都 OT 林田孝明

介護ロボット研修会；web、令和3年8月25日(水)

「現場で本気で活用するための介護ロボット研修会」

1.介護ロボットの選び方と活用方法について～見守りツールと装着型パワースーツを中心に～
シーエフロボタス PT 逢坂大輔

2.介護ロボット等導入支援事業補助金について

京都府健康福祉部地域福祉推進課 福祉人材・法人指導係 赤澤和樹

その他の事業（京都市域リハビリテーション協力病院支援事業）

京都市域リハビリテーション協力病院会議

京都市域リハビリテーション協力病院会議

- 開催日時 令和3年7月7日(水) 15:00～16:30
開催場所 オンライン(zoom使用)
参加者 各病院担当者、京都府リハビリテーション支援センター等 32名
各病院より昨年度活動報告と今年度活動予定、リハ専門職地域人材養成・派遣支援事業について
- 開催日時 令和4年3月10日(木) 15:00～16:30
開催場所 オンライン(zoom使用)
参加者 各協力病院担当者、京都府リハビリテーション支援センター等 30名
内容 京都市域地域リハビリテーション協力病院 今年度事業報告

京都市域地域リハビリテーション協力病院 担当者交流会

- 開催日時 令和3年10月13日(水) 15:00～16:00
開催場所 オンライン(zoom使用)
参加者 各協力病院担当者 10名
- 開催日時 令和4年1月31日(月) 15:00～16:00
開催場所 オンライン(zoom使用)
参加者 各協力病院担当者 8名

構成機関

協力病院	京都博愛会病院 / 京都からすま病院 / 京都大原記念病院 / 脳神経リハビリ北大路病院 / 京都民医連あすかい病院 / 京都近衛リハビリテーション病院 / 京都民医連中央病院 / 京都久野病院 / 洛和会音羽リハビリテーション病院 / 十条武田リハビリテーション病院 / 宇多野病院 / 洛西シミス病院 / 蘇生会総合病院 / 京都リハビリテーション病院 / 武田総合病院
行政機関	京都府リハビリテーション支援センター

令和3年度京都市域リハビリテーション協力病院事業目的

京都市内の協力病院が京都市域地域リハビリテーション支援センターとともに地域リハビリテーション活動を積極的に展開し、京都市域のリハビリテーション事業所等への支援及び地域連携機能の強化等を図ることで、地域リハビリテーションを一層推進すること

【地域リハビリテーション連携病院とは…】

地域におけるリハビリテーションの医療と介護・福祉の連携を関係者が協力して構築すること、及び、「京都式地域包括ケアシステム」を構築するため、だれもが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるようにすることを目的とし、以下の活動に参加する京都市域の回復期病棟を有する医療機関等である。



- 京都市域の地域リハビリテーション連携体制の構築
- 圏域内におけるリハビリテーション関連職種へのリハビリテーションに関する啓発・支援
- 関係者の地域リハビリテーション連携に関する知識・能力・技術のための研修
- 関係者間の情報交換・交流
- その他、目的を達成するための活動

協力病院の取り組み

- 相談窓口の設置
- 研修会・事例検討会の開催
- 地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談
- 関係機関への発信・その他広報

京都市域リハビリテーション協力病院（令和3年度協力施設一覧）

(公社) 京都民医連あすかい病院 / (公社) 京都保健会 京都民医連中央病院 / (医) 育生会 京都久野病院 / (医) 行陵会 近衛リハビリテーション病院 / (医) 行陵会 京都大原記念病院 / (医) 清仁会 洛西シミス病院 / (福) 京都博愛会 京都博愛会病院 / (医) 清水会 京都リハビリテーション病院 / (医) 蘇生会 蘇生会総合病院 / (医) 一仁会 脳神経リハビリ北大路病院 / (医) 洛和会 音羽リハビリテーション病院 / (医) 医道会 十条武田リハビリテーション病院 / (福) 京都社会事業財団 京都からすま病院 / (医) 武田総合病院 / (独) 国立病院機構 宇多野病院

各協力病院の取り組み

公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院

相談窓口の設置	リハビリテーション部
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和3年8月26日(木) 16:00～17:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)、院内研修室</p> <p>実施内容 回復期リハ退院後の在宅生活移行ケースの事例検討会 事例提供者=山崎航(院内回リ病棟 理学療法士)</p> <p>参加者 17名 (左京区内のケアマネジャー、医師、看護師、薬剤師、リハ職、MSW等)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈左京区地域包括支援センター保健師・看護師部会 事例検討会〉</p> <p>日時 令和3年7月14日(水) 11:00～12:00</p> <p>場所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 左京区の地域包括支援センター保健師・看護師部会との介護予防の事例検討でのリハ職の助言</p> <p>出席者 リハビリテーション課 PT中井俊介 地域包括支援センター、リハ専門職等</p> <p>〈在宅リハビリテーション連携連絡会(左京区)〉</p> <p>日時 令和4年3月22日(水) 18:00～19:30</p> <p>場所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 左京区地域の訪問リハ・通所リハ・訪問看護(リハ)・通所介護(リハ)・老健・特養等の在宅に関わるリハ専門職間との連絡会の企画開催</p> <p>出席者 訪問リハ PT藤井</p>
関係機関への発信、その他広報	研修会事業を通して広報

公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院

相談窓口の設置	リハビリテーション部
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和4年2月24日(水) 14:00～15:30</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)</p> <p>実施内容 「つなぐ認知症ケア 患者・利用者の想い・情報・技術をつなぐ施設と病院間の連携を目指して」</p> <p>講師=リハビリテーション課 内田明子(作業療法士)</p> <p>参加者 参加者総数 6名(右京区・西京区・上京区の介護職、相談員)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	窓口設置
関係機関への発信、その他広報	研修会を通して情報発信

医療法人社団育生会 京都久野病院

相談窓口の設置	リハビリテーション課
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和3年12月15日(水) 17:00～19:00</p> <p>開催場所 法人内 機能訓練型通所介護「ロコモーション」(東山区)</p> <p>実施内容 事例検討会 訪問リハ2事例 事例提供者訪問リハ 古川真実(理学療法士)、小嶋友実(理学療法士)</p> <p>参加者 参加者数11名、東山区のケアマネジャー、介護職員、リハ職等</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈在宅リハビリテーション連携連絡会(東山区・下京区・南区)〉</p> <p>日時 令和3年12/21(火)、令和4年3/23(水) どちらも18:00～19:30</p> <p>場所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 東山区・下京区・南区地域の訪問リハ・通所リハ・訪問看護(リハ)・通所介護(リハ)・老健・特養等の在宅に関わるリハ専門職間との連絡会の企画開催</p> <p>出席者 リハビリテーション課 柴田拓哉(理学療法士)、訪問リハのリハ職</p>
関係機関への発信、その他広報	研修会案内時に広報

各協力病院の取り組み

医療法人社団行陵会 近衛リハビリテーション病院

相談窓口の設置	医療連携室
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和4年3月22日(火) 16:00～17:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)</p> <p>実施内容 事例検討会「回復期リハビリテーション病棟から在宅復帰された事例 ～コロナ禍でみえた課題～」</p> <p>事例提供者=院内回復期リハ 野宮千春(理学療法士)</p> <p>*大原記念病院と合同開催</p> <p>参加者 同法人内事業所より15名 (左京区・北区のケアマネジャー、MSW、リハ専門職)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈岩倉地域包括支援センター事例検討会〉</p> <p>日 時 令和4年3月8日(火) 15:00～16:00</p> <p>場 所 Web開催(ZOOM使用)</p> <p>主な助言・相談内容 介護予防に関する事例検討でのリハ職の助言</p> <p>出席者 リハビリテーション部 高岡佐和子(理学療法士)、地域医療連携室MSW</p>
関係機関への発信、その他広報	研修会案内時に広報

医療法人社団行陵会 京都大原記念病院

相談窓口の設置	窓 口 地域医療連携室
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和4年3月22日(火) 15:00～16:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)</p> <p>実施内容 事例検討会「肺気腫による労作後の呼吸苦がある高齢者の 外出支援に向けてのアプローチ」</p> <p>事例提供者= 大原地域包括支援センター 塚田聡(ケアマネジャー)</p> <p>*近衛リハビリテーション病院と合同開催</p> <p>参加者 同法人内事業所より16名(ケアマネジャー、社会福祉士、看護師、リハ専門職)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈岩倉地域包括支援センター事例検討会〉</p> <p>日 時 令和4年3月8日(火) 15:00～16:00</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>出席者 大原記念病院 リハビリテーション部 江川(作業療法士)</p> <p>主な助言 近隣トラブルがある事例についての検討</p>
関係機関への発信、その他広報	同法人内介護保険事業所への案内、研修会案内時での広報

医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院

相談窓口の設置	窓 口 研修会実施後在宅心不全患者の連携に関する窓口を設置
研修会・事例検討会の開催	<p>日 時 令和3年11月30日(火) 14:00～15:30</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>内 容 『地域の集い2021』として研修会と意見交換会実施、 テーマ 「心不全患者の医療・介護連携」</p> <p>参加者 近隣事業所9カ所、計10名(ケアマネジャー、リハ職)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈伏見区在宅リハ連絡会〉</p> <p>日 時 令和4年3月4日(金) 18:00～19:30</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>内 容 地域の訪問リハ・通所リハ・訪問看護(リハ)・通所介護(リハ)・老健・特養等の在宅に関わる リハ専門職間との連絡会</p> <p>出席者 リハビリテーション科 小寺翔馬(理学療法士)</p>
関係機関への発信、その他広報	窓口設置

各協力病院の取り組み

社会福祉法人京都博愛会 京都博愛会病院

相談窓口の設置	<p>窓 口 リハビリテーション科</p> <p>電話相談 10件</p> <p>相 談 者 ケアマネジャー、他病院の相談員、医師、リハ専門職</p> <p>内 容 自動車運転、補装具、コロナ禍での家屋評価・介護力低下の対処 慢性期での言語聴覚療法 等</p>
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和4年3月11日(金) 14:00～16:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)</p> <p>実施内容 「新型コロナウイルス感染対策～当院の取り組み～」 講師=富田素子(京都博愛会病院リハビリテーション科 医師)</p> <p>参 加 者 参加者数14名 北区・左京区・中京区のケアマネジャー、MSW、看護師</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	電話窓口対応
関係機関への発信、その他広報	ホームページへの掲載、研修会案内時に広報、京都府作業療法士会自動車運転支援委員での「近畿でつながろう～作業療法士による自動車運転支援研修会」にて取組み紹介

医療法人 清水会 京都リハビリテーション病院

相談窓口の設置	窓 口 リハビリテーション部
研修会・事例検討会の開催	<p>日 時 令和3年9月24日(金)</p> <p>場 所 web開催</p> <p>内 容 研修会「訪問STの実情と訪問リハの活用方法」 講師=メディケアリハビリ訪問看護ステーション京都 林田孝明(作業療法士)</p> <p>参加者 参加者数28名 ケアマネジャー、リハ職)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	窓口設置
関係機関への発信、その他広報	病院ホームページのリニューアルに伴い掲載

医療法人清仁会 洛西シミズ病院

相談窓口の設置	<p>窓 口 地域医療連携室</p> <p>メール相談1件</p> <p>相 談 者 機能訓練特化型デイサービスの機能訓練指導員</p> <p>内 容 下肢装具に関する相談</p>
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和4年3月4日(金) 14:00～15:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)</p> <p>実施内容 意見交換交流会「デイサービス事業所と病院リハビリテーションの 交流会～より良い連携に向けて～」 *西京区在宅医療介護連携支援センターとの共催</p> <p>参加者 6名 西京区本所と洛西支所の通所介護事業所の機能訓練指導員等</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈西京区・右京区在宅リハ連絡会〉</p> <p>日 時 令和4年3月7日(月) 18:00～19:30</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>内 容 地域の訪問リハ・通所リハ・訪問看護(リハ)・通所介護(リハ)・老健・特養等の 在宅に関わるリハ専門職間との連絡会</p> <p>出席者 リハビリテーション科 田村篤(理学療法士)、石田俊介(理学療法士)</p>
関係機関への発信、その他広報	<p>研修会を通して情報発信</p> <p>西京区医療・介護連携支援センターと連携しアンケート実施</p> <p>「交流のための意見聴取」令和4年2月</p>

各協力病院の取り組み

医療法人一仁会 脳神経リハビリ北大路病院

相談窓口の設置	窓 口 リハビリテーション部
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和3年6月29日(火) 13:30～15:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用、ホストは地域リハ支援センター)</p> <p>実施内容 「令和3年度介護報酬改定の内容を踏まえた訪問リハと訪問看護の違いについて～リハビリはどちらに頼めばよいのか?～」</p> <p>参 加 者 40名(左京区・北区・上京区のケアマネジャー、地域包括支援センター職員)</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈岩倉地域包括支援センター事例検討会〉</p> <p>日 時 令和3年6月1日(火)、9月14日(火)、12月14日(火)、令和4年3月8日(火) 15:00～16:00</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 介護予防に関する事例検討でのリハ職の助言</p> <p>出席者 在宅支援事業部 訪問看護ステーション PT山本幸司 地域包括支援センター、リハ職</p> <p>〈左京区地域包括支援センター-看護師・保健師部会〉</p> <p>日 時 令和4年1月12日(水) 11:00～12:00</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 左京区地域包括支援センターでの事例検討会でリハ職の助言</p> <p>出席者 在宅支援事業部訪問看護ステーションPT山本幸司、 地域包括支援センター、リハ職</p> <p>〈左京北地域包括支援センター-短期集中かもがわりリハ教室〉</p> <p>日 時 令和3年4月～令和4年3月 14:00～15:00</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 5名の地域高齢者に対し、16回の連続介護予防教室とその後3回のフォローアップ講座の実施</p> <p>出席者 在宅支援事業部 訪問看護ステーション PT山本幸司、その他リハ職数名</p> <p>〈在宅リハビリテーション連携連絡会(左京区)〉</p> <p>日 時 令和3年12月9日(木)、令和4年3月22日(火) 18:00～19:30</p> <p>場 所 web開催(zoom使用)</p> <p>主な助言・相談内容 左京区地域の訪問リハ・通所リハ・訪問看護(リハ)・通所介護(リハ)・老健・特養等の在宅に関わるリハ専門職間との連絡会</p> <p>出席者 在宅支援事業部 訪問看護ステーション PT山本幸司</p>
関係機関への発信、その他広報	研修会案内時に広報、近隣関係機関への情報発信、啓発

医療法人社団洛和会 洛和会音羽リハビリテーション病院

相談窓口の設置	窓 口 病院ホームページ
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和3年5月20日(木) 14:00～16:00</p> <p>開催場所 web開催(zoom使用)</p> <p>実施内容 「Barthel Indexの評価方法」</p> <p>参 加 者 参加者数 5名、 特別養護老人ホームヴィラ端山(伏見区醍醐)と 小規模多機能施設・グループホームいまくまの(東山区)の介護福祉士、相談員</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈山科区医療・介護連携支援センター〉</p> <p>日 時 令和3年6月24日(木)、10月7日(木)、12月2日(木) 14:00～16:00</p> <p>場 所 web開催</p> <p>主な助言・相談内容 運営協議会出席</p> <p>出席者 リハビリテーション科 伊藤末佳(作業療法士)</p>
関係機関への発信、その他広報	研修会案内時に広報

各協力病院の取り組み

医療法人財団医道会 十条武田リハビリテーション病院

3

相談窓口の設置	<p>窓 口 患者サポートセンター</p> <p>主な相談 電話相談 1件 相談者 東九条地域包括支援センター 内 容 大腿骨頸部骨折後の要介護者への住宅改修の相談、感染対策のため訪問せず利用者宅とオンラインで繋ぎ対応</p> <p>主な相談 オンライン相談 3件 相談者 中京区難病支援を考える会、下南難病支援を考える会 内 容 難病者に対する有志の会での相談対応</p>
研修会・事例検討会の開催	<p>開催日時 令和4年1月13日(木) 10:30~12:00 開催場所 web開催(zoom使用) 実施内容 事例検討会「回復期リハ退院後に在宅生活調整が難渋した事例」 参加者 南区のケアマネジャーや看護師・社会福祉士、下京区・南区・東山区在宅医療介護連携支援センター等 14名</p>
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	<p>〈南区介護予防推進センター 京都市フレイルモデル事業自主グループ 支援〉 日 時 令和3年11月6日(土)、11月20日(土) 場 所 南区介護予防推進センター 主な助言・相談内容 自主活動グループへの運動に関する介護予防講話の講師サポート 出席者 リハビリテーション科 酒匂優一(理学療法士)</p> <p>〈中京区難病支援を考える会〉 日 時 令和3年7月21日(水) 18:30~19:30 場 所 web開催 主な助言・相談内容 希少難病者への関わり方 出席者 リハビリテーション科 酒匂優一(理学療法士)</p> <p>〈下南難病支援を考える会〉 日 時 令和3年6月23日(水)、9月22日(水) 18:30~19:30 場 所 web開催 主な助言・相談内容 ALS等の難病者の生活期の評価や対応、看取りやポジショニングについて 出席者 リハビリテーション科 酒匂優一(理学療法士)</p> <p>〈在宅リハビリテーション連携連絡会(東山区・下京区・南区)〉 日 時 令和3年12月21日(火)、令和4年3月23日(水) 18:00~19:30 場 所 web開催(zoom使用) 主な助言・相談 東山区・下京区・南区地域の訪問リハ・通所リハ・訪問看護(リハ)・通所介護(リハ)・老健・特養等の在宅に関わるリハ専門職間との連絡会 出席者 リハビリテーション科 酒匂優一(理学療法士)</p> <p>〈京都市域地域リハ支援センターオンライン実技研修会「体のことを知ろう!〈内臓編〉」〉 日 時 令和3年5月26日(水) 17:00~18:30 場 所 web開催(zoom使用) 主な助言・相談内容 人体模型を使ったオンライン実技研修会、参加事業所での講師サポート 出席者 リハビリテーション科 酒匂優一(理学療法士)</p>
関係機関への発信、その他広報	<p>研修会案内時に広報、下京区・南区・東山区医療・介護連携支援センターへの情報発信、その他関連機関への発信 リハビリテーションケア合同研究大会 兵庫2021にて演題発表 「地域リハビリテーション支援活動における一考察」</p>

各協力病院の取り組み

社会福祉法人京都社会事業財団 京都からすま病院

相談窓口の設置	窓 口 地域医療連携室
研修会・事例検討会の開催	開催日時 令和3年12月8日(水) 開催場所 船岡山公園(北区) 実施内容 紫野地域包括支援センター主催 地域高齢者向け介護予防講座 「認知症と誤嚥性肺炎の予防」 講師=芦田笑里(院内 言語聴覚士) 参加者 10名 紫野圏域内の地域住民
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	窓口設置
関係機関への発信、その他広報	窓口設置

医療法人医仁会武田総合病院

相談窓口の設置	窓 口 リハビリテーションセンター
研修会・事例検討会の開催	開催日時 令和4年2月22日(火) 14:00~15:00 開催場所 web開催(zoom使用) 実施内容 研修会、事業説明「協力病院にできる相談内容や対応について」 参加者 参加者総数 8名 伏見区醍醐地域のケアマネジャー、保健師・看護師
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	窓口設置、事業紹介
関係機関への発信、その他広報	研修会開催時に広報

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院

相談窓口の設置	窓 口 地域医療連携室
研修会・事例検討会の開催	開催日時 令和4年2月17日(木) 14:00~15:00 開催場所 web開催(zoom使用) 実施内容 研修会「パーキンソン病患者へのADL介助について」 講師=リハビリテーション科 長岡明寿香(理学療法士)、石光暁子(言語聴覚士) 参加者 右京区・西京区のケアマネジャー、看護師、相談員、介護職等
地域包括支援センター等に対するリハサービスに関する助言・相談	窓口設置
関係機関への発信、その他広報	研修会案内を通して情報発信、その他関連機関への発信



乙訓地域リハビリテーション支援センター

指定病院 済生会京都府病院

(現：京都済生会病院)

所管保健所 乙訓保健所

センター長
吉岡慎二(副院長)

コーディネーター
奥山香奈(理学療法士)

サブコーディネーター
矢賀満平(作業療法士)

圏域連絡会

開催時期 令和4年3月29日(火) 14:00~16:00

開催場所 Web開催

1. 開会

あいさつ

2. 議題

(1) 報告事項

- ・令和3年度京都府リハビリテーション支援センター 事業報告
- ・令和2年度圏域連絡会の意見のとりまとめの報告
- ・令和3年度乙訓地域リハビリテーション支援センター 事業実施報告
- ・令和4年度乙訓地域リハビリテーション支援センター事業実施計画

(2) 意見交換

- ・地域支援事業等へのリハビリテーション専門職の関わりについて
- ・コロナ禍での事業推進について
- ・障害、小児関連事業へのリハビリテーション専門職の関わりについて

3. その他

構成団体

医師会	乙訓医師会
医療機関	向日回生病院／済生会京都府病院／長岡京病院／千春会病院／新河端病院
介護保険関係機関	乙訓老人福祉施設協会 / 京都府介護老人保健施設協会 / 通所リハビリテーション事業所 乙訓訪問看護ステーション連絡会 / 社会福祉協議会 / 地域包括支援センター / 通所介護事業所 乙訓介護支援専門員連絡会
障害福祉機関	
行政機関	向日市(高齢介護課)／長岡京市(健康づくり推進課)／大山崎町(健康課) 京都府リハビリテーション支援センター 京都府乙訓保健所

圏域協力病院・施設一覧

基準：圏域内でセラピストの在籍している病院

千春会病院／長岡京病院／向日回生病院／新河端病院

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 41件

内容 市町村関連：・問題提議型協議体短期集中型サービスPJ検討会議 3件

・地域ケア会議 8件

その他対応：・在宅療養手帳委員会、在宅療養手帳小委員会 4件

・医療的ケア委員会 1件

・乙訓地域包括ケアシンポジウム実行委員会 8件

・乙訓地域包括ケア推進交流会 2件

・その他 15件

従事者支援のための訪問・相談

件数 40件

内容 依頼元：ケアマネジャー、放課後等デイサービス、訪問看護ステーション、特別養護老人ホーム等
対 応：環境調整、福祉用具の選定、座位保持装置の選定、指導、日常生活動作の確認、ポジショニング、嚥下機能評価、介助方法、リハサービスの検討等

リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

開催日	参加者	テーマ
1 令和3年 8月16日（月）	19名	在宅と病院間の連携に向けたリハビリサマリーの作成について
2 令和4年 3月 2日（水）	3名	障がいをもつ小児の座位保持装置等の作成時期について
3 令和4年 3月22日（火）	6名	総合事業 参加者との関わり方
4 令和4年 3月30日（水）	13名	高齢者施設でのポジショニング

内容

- 1 在宅と病院間の連携強化に向けたリハビリサマリーの作成について
- 2 障がいのある小児に対して、パギーや座位保持装置を選定・作成する時期についての検討
- 3 地域の運動教室に通年参加している高齢者が徐々に機能低下しており、自宅での生活状況が十分に把握できない状態で、今後利用者に適した運動や通いの場をどこに設けるかを検討
- 4 特別養護老人ホーム入所者の多くはベッド上・車椅子上のポジショニングに苦慮する事が多く、安楽・安全な姿勢を保持するために必要な評価・考え方をユニットに分かれて検討

情報発信

【ホームページ】<http://www.otokuni-rh.com/>



その他（高次脳機能障害・障害児者への取り組み

圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組み、市町村との取り組みなど）

- 圏域内のリハビリテーション専門職との連携強化（グループウェアやグループライン等の活用）
- 訪問リハ事業所連絡会開催
地域の訪問リハ資源調査・サービス提供の現状確認、事例検討
- 乙訓リハビリミーティング（仮）の開催協力（ハイブリッド開催）
- 在宅療養手帳委員会への参加とリハビリ専門職の発表
- 市町村による市民団体・障がい者団体からの講演依頼に対する協力
- 小児リハに対して、地域の保育所・学校スタッフとの連携 等



山城北圏域地域リハビリテーション支援センター

指定病院 京都岡本記念病院
所管保健所 山城北保健所

センター長 高橋守正（リハビリテーション科部長） コーディネーター 田後裕之（理学療法士） サブコーディネーター 清水賢二（作業療法士） 張寿環（作業療法士） 大倉一紀（理学療法士）

圏域連絡会

開催 令和4年2月18日（金）

形式 オンライン開催

内容

○各方活動報告

京都府リハビリテーション支援センター、山城北圏域地域リハビリテーション支援センター、協力病院、市町村、介護保険関係機関、障害福祉機関

○グループディスカッション

自立支援型地域ケア会議、COVID-19流行下での各種連携、地域課題など

構成団体

医師会	宇治久世医師会／綴喜医師会
医療機関	あづま整形・形成外科クリニック/宇治武田病院/宇治徳洲会病院/京都きづ川病院/京都田辺中央病院/八幡中央病院/京都府立心身障害者福祉センター付属リハビリテーション病院/京都岡本記念病院
介護保険関係機関	訪問看護ステーション協議会ブロック代表/老人福祉施設協議会山城北ブロック代表/京都府老人保健施設協会理事職該当施設/京都府地域包括支援センター・在宅介護支援センター協議会山城北グループ代表/京都府介護支援専門員会山城南ブロック代表/通所リハビリテーションデイケアじんの
障害福祉機関	宇治市障害者生活支援センター「そら」/京都府立こども発達支援センターすてっぷ/生活介護 ものづくりスペースみんななかま
行政機関	宇治市/京田辺市/城陽市/八幡市/井手町/宇治田原町/久御山町 京都府リハビリテーション支援センター 京都府山城北保健所

圏域協力病院・施設一覧

＜協力病院＞ 宇治武田病院/宇治徳洲会病院/京都きづ川病院/京都田辺中央病院/八幡中央病院

＜協力施設＞ デイサービスいちご/コクラ医院/きづ川病院通所リハビリセンター/メディケア・リハビリ訪問看護ステーション/有智の郷/介護支援センターくらしのハーモニー/おかもとクリニック通所リハビリテーションセンター

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 88件

内容 市町村関連：・宇治市、京田辺市、城陽市、久御山町の地域ケア会議
・宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町の介護予防事業
・宇治市、城陽市の家族介護教室

その他対応：・介護施設間従事者交流会（やまきたのつどい）
・高次脳機能障害支援ネットワーク会議
・小児リハビリテーション懇談会

従事者支援のための訪問・相談

件数 49件

内容 ・高齢者施設での助言・指導
・障害者事業所での助言・指導
内）環境、嚥下、食事、栄養
・難渋対応、個別対応
内）高齢者、難病、コミュニケーション支援
・地域リハビリ資源情報

リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

開催日	参加者	テーマ
1. 令和3年 7月21日(水)	19名	「通所リハビリテーション」について 八幡中央病院
2. 令和3年11月12日(金)	18名	「小児リハビリテーション」について 宇治武田病院、京都府立こども発達支援センター、PARCウィル城陽
3. 令和3年12月15日(水)	22名	「地域課題・今後の展望」について 八幡中央病院
4. 令和4年 1月25日(火)	23名	「模擬オンライン退院前カンファ」について やまきたのつと

内容

1. 通所リハビリテーションにおける介入事例を踏まえた検討および情報共有
2. 支援学校での介入事例を踏まえた検討および情報共有
3. 地域課題や今後の展望を踏まえた検討および情報共有
4. 模擬オンライン退院前カンファを通じた検討および情報共有

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会の開催

※詳細は当該研修ページ参照

情報発信

- 1) ホームページの運用・更新
<http://www.yamakita-rh.com/>



- 2) やまきたのつといの Facebook / LINE の運用・更新



その他（高次脳機能障害・障害児者への取り組み 圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組み、市町村との取り組みなど）

<京都府>

- 京都府地域リハビリテーション支援センター連絡会
- 京都府地域リハビリテーション支援センターコーディネーター会議
- 京都府地域リハビリテーション支援センターコーディネーターミーティング
- 京都府高次脳機能障害支援ネットワーク会議
- 京都府小児リハビリテーション懇談会
- きょうと地域リハビリテーションフォーラム

<市町村>

- 宇治市家族介護教室
- 城陽市北部包括家族介護教室
- 城陽市介護予防体操（ゴリゴリ元気体操）
- 久御山町社会福祉協議会事業（まちのお助け隊養成事業）
- 宇治田原町介護予防事業（トレーニングマシンde筋力アップ）

<団体>

- 京都府三療法士会フォローアップ研修
- 宇治市介護支援専門員連絡会



山城南圏域地域リハビリテーション支援センター

指定病院 京都山城総合医療センター
所管保健所 山城南保健所

センター長
水野健太郎（整形外科副部長）

コーディネーター
田井博司（理学療法士）

サブコーディネーター
芳野宏貴（理学療法士）

圏域連絡会

開催日 令和4年3月24日（木）

書面開催 内容

- 資料1 京都府地域リハビリテーション山城南圏域連絡会設置要綱
- 資料2 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について
- 資料2-1 総合リハビリテーション充実事業報告
- 資料2-2 山城南圏域地域リハビリテーション支援センター事業報告・事業計画
- 資料3 令和3年度山城南圏域地域リハビリテーション支援センターの取り組み

- 別添
- ・令和2年度 地域リハビリテーション支援センター山城南圏域連絡会のアンケート報告
 - ・令和2年度 京都府総合リハビリテーション充実事業報告書
 - ・FAX送信表

構成団体

医師会	（社）相楽医師会
医療機関	精華町国民健康保険病院／（医）医聖会 学研都市病院／京都山城総合医療センター
介護保険関係機関	特別養護老人ホーム加茂の里／（医）健和会訪問看護ステーションいづみ／（医）広和会山下医院通所リハビリテーション／天野医院 中島整形外科通所リハビリテーション／特別養護老人ホーム 山城ぬくもりの里／介護老人保健施設やましろ／精華町地域包括支援センター／精華町社会福祉協議会通所介護事業所／京都府介護支援専門員協議会相楽ブロック／サンシティ木津在宅介護支援センター
障害福祉機関	相楽地域障害者生活支援センター／（福）京都ライフサポート協会 横手通り43番地「庵」／（福）相楽福祉会 相楽作業所
行政機関	木津川市／精華町／南山城村／笠置町／和束町 京都府リハビリテーション支援センター／京都府山城南保健所

圏域協力病院・施設一覧

基準：圏域内でセラピストの在籍している病院

学研都市病院

地域包括支援センター等に対するリハビリテーションサービスに関する助言・相談対応

件数 57件

内容 市町村関連：地域ケア会議（木津川市4カ所、笠置町）への参加 書面参加も含む
自立支援型ケア会議 2カ所 への参加
認知症初期集中支援チーム会議 2カ所 への参加

従事者支援のための訪問・相談

件数 40件

内容 施設訪問（従事者への指導、福祉用具等助言）
在宅訪問（従事者・家族への指導、住宅改修・福祉用具選定助言等）



リハビリサービス窓口担当者との定期的な事例検討会の開催

	開催日	参加者	テーマ
1	令和3年 7月26日（月）	14名	『パーキンソン病の生活の工夫と運動』 ～日常生活を過ごしやすくするために～（Web）
2	令和3年 8月25日（水）	10名	『場に馴染めない』を考える ～高次脳機能障害のリハビリテーション～（Web）
3	令和3年10月25日（月）	13名	『食べる』楽しみが続くことを目指して ～施設や在宅でもできる嚥下リハ～（Web）
4	令和3年12月23日（木）	11名	『高齢者の運動と栄養について考える』 ～筋肉は栄養でデカくなる～（Web）

内容

- 1 パーキンソン病の病態を知り、特徴である症状から日常生活動作から自立支援に向けて、介助の関わり方、介助方法について学ぶ。また病気の進行度、本人の性格も踏まえてその人に合った方法が必要であること、また病態変化することで介助方法も変更する必要性があることを多種職で話合う事ができた。
- 2 高次脳機能障害を社会的行動障害に置き変えて、困った行動因子を知るところから対応について考え、注意障害、記憶障害等を学び、実際の生活で「場に馴染めない」事例を通して高次脳機能障害に対しての対応について話合う事ができた。
- 3 「食べる」ということを改めて学び、嚥下機能評価から、施設・在宅で行える嚥下リハビリテーションの方法を知り、事例検討で多種職で嚥下リハの実施について検討することができた。
- 4 高齢者の特徴を知り、身体機能・ADLを維持する方法の一つとして筋力があり、筋肉が栄養によって大きく関わっていることが学べた。また栄養の大切さ、必要不可欠であることをエビデンスの観点から考えることができた。事例を通して、補助食品等で栄養をバランスよく摂取できる方法を話し合えた。

看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会の開催

- 令和3年 7月14日（水） 17名 「高次脳機能障害に関わる資源と支援について」
 令和3年 9月27日（月） 8名 「フレイル予防をしよう！」
 令和3年11月29日（月） 13名 「排泄自立に向けての考え方と支援」

情報発信

【ホームページ】 <http://www.yamashiro-hp.jp/minami-yamashiro/index.html>

山城南圏域について
 京都府支援体制について
 リハビリ相談・支援事業について
 リハビリ従事者総会
 リハビリ資料
 リンク一覧
 相談用紙
 山城南圏域について
 山城南圏域は、木津川市、笠置町、精華町、和束町、南山村の1市3町1村からなり、面積は26.3km²で、京都府の東南部に位置する。人口は近年増加傾向にある。

リハビリ相談・支援事業について
 対象 事業所の相談員、ケアマネ、訪問看護等のスタッフ
 内容 利用者のリハビリに関して、住居変更、福祉機器の選定など
 方法
 ・FAX：0774-72-0299
 ・メール：y0001@yamashiro-hp.jp
 ・受付時間：月～金 8：30～17：00

山城南圏域の地図
 木津川市、笠置町、南山村、和束町、精華町

その他（高次脳機能障害・障害児者への取り組み

圏域の特性に応じた事業、圏域独自の取り組み、市町村との取り組みなど）

- ☐ 山城南圏域 セラピストネットワーク会議の開催
- ☐ 山城南圏域 多職種連携会議 きづがわネットへの参加
- ☐ 障害者福祉施設事業所への巡回相談 1カ所
- ☐ 認知症初期集中支援チームへの参加 2カ所
- ☐ 木津川市地域包括支援センター（木津西・木津東）介護予防事業への参加

府リハビリテーション支援センター 活動報告

4 人材確保・育成（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（1）理学療法士等修学資金貸与事業

目的

府内の医療福祉関係施設等に勤務する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士（以下「理学療法士等」）の確保・定着を目的に、京都府内で仕事をする意思のある者に勉学に必要な資金を貸与する

貸与の条件

理学療法士等養成施設を卒業後、1年以内に理学療法士等の免許を取得し、直ちに免除対象施設（府内の医療福祉関係施設等）で理学療法士等の業務に従事しようとする意思を有すると認められる者

貸与者

府内出身貸与者 40名
府外出身貸与者 20名

内容

貸与金額 36,000円/月

貸与申請者数 82名
（理学療法学科40名 / 作業療法学科25名 / 言語聴覚学科17名）

貸与決定者 60名
（理学療法学科27名 / 作業療法学科20名 / 言語聴覚学科13名）

今年度府内就業者 19名
（理学療法学科 9名 / 作業療法学科 3名 / 言語聴覚学科 7名）※令和4年6月30日現在

◆返還免除等要件◆

理学療法士等養成施設卒業後1年以内に、理学療法士等免許を取得し、直ちに府内の免除対象施設において、引き続き5年以上、理学療法士等の業務に従事したとき

《免除対象施設》

府の区域内の訪問看護事業所、障害児入所施設及び児童発達支援センター、病院または診療所、障害者支援施設、老人デイサービスセンター、特別養護老人ホームまたは養護老人ホーム、介護老人保健施設、市町村保健センター等

令和3年度京都府理学療法士等修学資金貸与者向けセミナー

目的

貸与決定者に京都府のリハビリテーションについての取組を知ってもらい、府内におけるセラピストの確保・育成を図る

今年度は、各講義資料（動画）を録画し、視聴者を限定した上で、YouTubeで配信し、対象者に通知の上、一定期間内の受講を促した。また受講後のアンケート提出により、受講確認及び意向確認を行った。

（必須聴講）

- 1 「修学資金貸与事業について」 京都府リハビリテーション支援センター
- 2 「京都府の地域リハビリテーションと総合リハビリテーション充実事業について」 京都府リハビリテーション支援センター
- 3 「リハビリ専門職の活躍現場ーリハ専門職にもとめられていることと京都府内リハ職能団体の取り組みー」 京都府リハビリテーション三療法士会協議会 会長 麻田 博之

職域紹介（選択聴講）

- 1 「介護老人保健施設のリハビリについて」 介護老人保健施設 リハヴィラなぎさ苑 小川 雄
- 2 「特別養護老人ホームでのリハビリテーション」 社会福祉法人同和園 特別養護老人ホーム同和園 藤田 光生
- 3 「こどもセラピストの仕事」 京都府立こども発達支援センター 高橋 由佳
- 4 「小児分野で働く！～放課後等デイサービスでの作業療法士の役割～」 株式会社THEMSY 放課後等デイサービス 新井 亮子
- 5 「小児分野で働く理学療法士」 PARCウィル城陽/PARCじょうよう 中村 亮介
- 6 「職域紹介～精神分野～」 訪問看護ステーション 開く 三宅 健

各圏域リハビリ支援センターからの圏域紹介（選択聴講）

ー京都府内の二次医療圏や政令市毎に地域の状況と圏域毎の地域リハ活動の取り組み紹介ー

丹後圏域・中丹東圏域・中丹西圏域・南丹圏域・乙訓圏域・京都市域・山城北圏域・山城南圏域

4 人材確保・育成（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（2）研修事業

ア リハビリテーション専門職キャリアアップ研修 リハビリテーション行政職研修会 ※新型コロナウイルス感染拡大対策のため開催中止

目的

京都府域において地域リハビリテーションの推進を図る一環として、保健・福祉行政におけるリハビリテーションに関連する職員の情報共有を図り、連携を深める一助とすること。

対象

地域リハビリテーション支援センターおよび保健所等関連機関ならびに市町村の職員でリハビリテーションに関連する業務に従事する職員（行政や地域包括支援センターに従事する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリテーションに関係する保健師・看護師・社会福祉士・介護支援専門員等）

イ 機能訓練指導員等研修会

目的

施設内生活維持期にある利用者の生活の充実に繋がるリハビリテーションの視点や知識・技術の習得と、他職種との連携方法や機能訓練指導員としての活動について、他施設の機能訓練指導員と情報交換し、機能訓練指導員の役割を考える機会

対象

特別養護老人ホーム等の機能訓練指導員等（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、准看護師、柔道整復師、あんま・マッサージ指圧師等）、特別養護老人ホーム等でリハビリテーション提供に携わるリーダー、介護職、施設長等

内容

テーマ：「今だからこそ考えよう体制作りと多職種連携 施設からの報告と意見交換会」

WEB開催

日 時 令和4年8月25日（金）14:00～16:30

場 所 WEB開催 参加者 46名

報告1 「機能訓練指導員のおかれている現状及び今後について
～介護報酬改定、市老協リハビリ部会での報告を受けて～」
京都市老人福祉施設協議会 リハビリテーション部会
社会福祉法人同和園 特別養護老人ホーム同和園
機能訓練指導員（理学療法士） 藤田 光生



報告2 「介護報酬改定後における多職種連携のための新たな取り組み」
社会福祉法人嵐山寮 特別養護老人ホームうたの
機能訓練指導員（理学療法士） 山本 龍輝



グループディスカッション「介護報酬改定はピンチ？チャンス？！今こそ話そう多職種連携」
業務上での悩み 多職種連携について 介護報酬改定に関して など

（講師コメント）

＊グループディスカッションでは、報酬改定のことよりも、現場での連携方法や具体的な業務内容についての方が、長く話し合われていた。今回は色々な職種の方が参加していたので、よいディスカッションができたと感じた。

＊機能訓練指導員は求められている守備範囲が非常に広い。

1つの職種（理学療法士など）の知識や経験だけではその範囲を網羅できない。それぞれが持っている職種の強みを生かして、連携していくことが大切。多職種で話し合っ、困ったことなどをこのような会を出して、いろいろな選択肢をもらって、また業務にいかすということができればよいと感じた。

ウ 北部在宅リハビリテーション研修会

目的

京都府北部地域では、リハビリテーション人材・事業所等のリハビリテーション資源が限られており、連携体制を構築し、より効率的な活用が必要となる中、北部地域の地域リハビリテーションの推進を図る一環として、地域でリハビリテーションの取り組みを推進している者が互いに顔を合わせ、情報共有することで、北部地域のリハビリテーションの現状・課題を共有し、連携体制を構築することを目的に開催

今年度は、リハビリテーション専門職とケアマネジャーの連携推進により体制の強化を図るとともに、適時適切なリハビリテーション提供及び質の向上を図ることとして、京都府介護支援専門員会中丹ブロックと共同開催

対象

京都府北部地域で地域リハビリテーション推進・実施に関連する職員 等
※上記のうち、特に訪問リハビリテーション従事者を主な対象として実施

R3年度は下記を対象

訪問リハビリテーション関連業務従事職員及び訪問リハビリテーション従事職員と連携をとる事業所に従事する職員等。特に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士及びケアマネジャー

内 容

テーマ：「訪問リハビリテーションでできること -介護支援専門員と訪リハの協働-」

日 時： 令和4年2月16日（水）16:00～18:00

場 所： WEB開催（zoom使用）

参加者： 94名

プログラム：

報告：「京都府北部における訪問リハビリテーションに関するケアマネ調査の結果について」

京都府北部リハビリテーション支援センター 主査（理学療法士） 山元 顕太

報告：「アンケート調査から考える訪問リハビリテーションに関する課題と取り組み」

訪問看護ステーションほっぷ（理学療法士） 古川 博章

講演：「訪問リハビリテーションでできること・伝えたいこと」

岸本病院 訪問リハビリテーション科 課長（理学療法士） 伊藤 清弘

講演：「ケアマネジャーが訪問リハビリテーションに期待すること・伝えたいこと」

中舞鶴地域包括支援センター 管理者（主任介護支援専門員） 畠山 順代

グループディスカッション（市域(丹後は圏域)毎のグループ編成）：

「訪問リハサービスに聞いてみたいこと・訪問リハ事業所から伝えておきたいこと」

ファシリテーター：各圏域地域リハビリテーション支援センターコーディネーター及びサブコーディネーター

綾部市域12名（リハ職4 ケアマネジャー8）

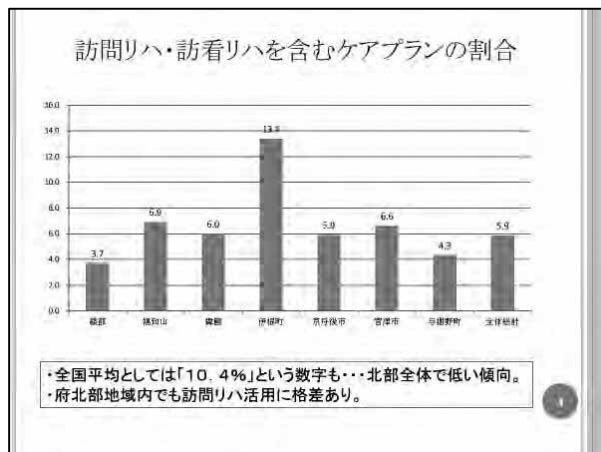
舞鶴市域29名（リハ職6 ケアマネジャー19 他4）

福知山市域30名（リハ職7 ケアマネジャー20 他3）

丹後圏域18名（リハ職8 ケアマネジャー8 他2）

アンケート結果（一部抜粋）

回答者全員が「(とても) 参考になった」を選択



グループディスカッション（お互いに聞いてみたいこと・伝えておきたいこと）
46 件の回答



エ 小児・障害児者リハビリテーション研修

(ア) 摂食嚥下等障害対応支援事業研修会

(イ) 小児リハビリテーション従事者研修会

(ウ) 小児リハビリテーション専門職研修会

目的

京都府リハビリテーション連携指針に基づき、急性期から維持・生活期まで途切れることのない総合リハビリテーション提供体制の構築を目指し、小児及び障害児・者リハビリテーションに関わる関連職種の人材育成・支援並びにリハビリテーションを中心とした医療・介護・福祉・教育の連携推進を図る

今年度は、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されたことを受け、昨年に引き続き医療的ケア児のリハビリテーションから「食べることに着目し、歯科医師の在宅支援の実際からリハビリテーション専門職に期待されることを知ること、関係職種が「楽しみとしての摂食嚥下等食べること」等在宅支援に共通認識を持ち、関与できる・考えることができる機会とする

対象

支援学校教員、障害児者支援施設等で従事するリハビリテーション職・看護職・介護職・相談支援専門員・生活指導員・生活支援員、行政機関職員、医療職（リハビリテーション専門職、医療現場で従事する看護師、歯科衛生士等）、地域リハビリテーションコーディネーター等 医療的ケア児支援に関わる方

内容

テーマ：医療的ケア児と摂食嚥下障害のリハビリテーション

南北開催

日 時 令和3年12月24日（金）14：00～16：00 （南部・北部合同開催）

場 所 ZoomによるWeb開催

参加者 50名

1 説明

「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律と京都府での取り組みについて」

京都府健康福祉部障害者支援課 主幹 大同 裕子

2 講演

「摂食嚥下障害のある医療的ケア児の在宅支援 ～歯科の立場からリハビリテーションに期待すること～」

一般社団法人京都府歯科医師会地域保健部

医療法人純康会徳地歯科 理事・副院長

京滋摂食嚥下を考える会 代表世話人

和田 智仁

3 グループ交流

「在宅での生活の質の向上～食ること～」

- ・普段の業務での困りごと（特に食事場面で、食事場面以外でもOK）
- ・他の施設の取り組み等聞いてみたいこと
- ・リハビリテーション職に聞いてみたいこと等

アンケート結果（抜粋）グループ交流について

① 地域リハビリテーション支援センターについてはよく知らなかったがセンターの事業のことが聴けて良かった 7

② 他事業所・施設での課題や困っていることなど共有できて良かった 17

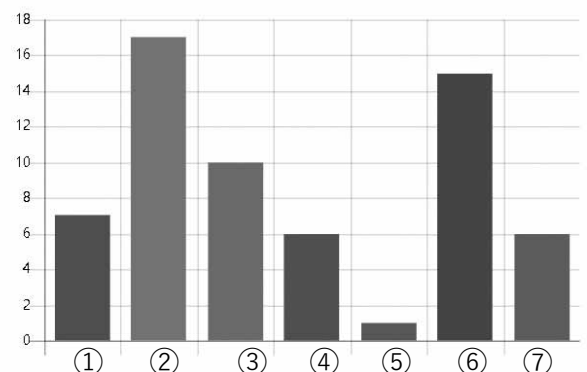
③ 他事業所・施設の取り組みが聴けて参考になった 10

④ 自分の所属施設のある地域の様子が知れて良かった 6

⑤ リハビリテーション専門職の役割がわかった 1

⑥ 他職種、他事業所との情報交換や情報共有など積極的に連携をとっていかねばならないと思った 15

⑦ その他（※途中退席されグループ交流は欠席されている人達です） 6



オ 第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム

目的

新型コロナウイルス感染拡大状況下で活動が制限されたことにより、特に高齢者では生活機能の低下など影響は大きく、今後、要介護認定者数増加等が危惧される状況にある。そのような中、高齢者等の生活状況変化と機能低下を予防するための視点を持ち、地域で活動する専門職を始め関係者がそれぞれの役割を認識し、相互理解の中で協働した介護予防への取組の推進を図る

対象

リハビリテーション専門職（医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士 等）
介護支援専門員、地域包括支援センター職員（保健師・主任介護支援専門員 等）
市町村職員（主に高齢者支援担当 等）
その他地域リハビリテーション関係者及び地域リハビリテーションに関心のある者 等

内容

テーマ：新型コロナ感染拡大下における地域リハビリテーションの役割

日 時：令和4年1月21日（金） 16:00～18:30

場 所：オンライン研修（zoom）

参加者：78名

1)開会挨拶 京都府健康福祉部 副部長 井尻 訓生

2)基調講演 「新型コロナ感染症とリハビリテーション診療」
京都府立医科大学リハビリテーション医学教室
集学的身体活動賦活法開発講座 准教授 沢田 光思郎

3)シンポジウム
「新型コロナ感染拡大下でもできること・すべきこと～それぞれの立場から見た現状と課題～」
座長 山城北圏域地域リハビリテーション支援センター コーディネーター 田後 裕之

シンポジスト

「京都市域におけるコロナ禍の課題とアフターコロナを見据えた取り組み」
京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター コーディネーター 清水 真弓

「新型コロナ感染拡大下でのフレイル対策・介護予防の取り組み」
京都市健康福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 健康長寿企画課 担当係長 野村 直史

「当院における通所・訪問リハビリセンターにおける取り組み
～当院のリハビリテーションセンターでの対応を踏まえて～」
医療法人啓信会 京都きづ川病院 通所・訪問リハビリセンター センター長 勝田 光一

4)総合討論

5)閉会挨拶 京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター センター長 近藤 正樹

参加者内訳

（職種別内訳）

医師1名、言語聴覚士2名、作業療法士5名、理学療法士24名、看護師5名、保健師17名、
ケアマネジャー8名、機能訓練指導員1名、社会福祉士6名、介護福祉士1名、支援相談員1名
行政(事務)3名、管理栄養士2名、その他2名

（京都府内圏域別・その他）

京都市域14名 乙訓地域4名 南丹圏域6名 丹後圏域4名 中丹西圏域14名 中丹東圏域2名
山城北圏域6名 山城南圏域7名 兵庫県1名 広島県20名

今回、地域包括支援センター、保健所等行政機関などの多機関・多職種から100名以上の申込みがあり、感心の高いテーマであったことと推測されたが、新型コロナウイルス感染症の拡大対応等により、当日の参加者は78名と減少した。

内容については、アンケートから「基調講演、シンポジスト取組報告とものととても参考になった」との意見が多かった。また、「新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出の機会が減り人との交流が減少するなかで、変化に気付きつながりをもつこと、止めてしまうのではなく工夫して活動の場を設けることが大切だと感じた」という意見が特に多かった。

カ 看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会

目的

各圏域の実情および課題を踏まえた府内全域でのリハビリテーション提供体制の充実の促進およびリハビリテーションの質の向上（委託先：各圏域地域リハビリテーション支援センター）

対象

在宅や施設、病院・診療所等で実際にリハビリテーションに関わる主に看護職・介護職（その他、看護職・介護職にかかわるリハビリテーション専門職等の参加も可とする）

丹後圏域地域リハビリテーション支援センター

①リハビリテーションの視点を持って活躍できる看護職・介護職養成研修

開催日時 令和3年11月5日（金）17：00～18：30

開催場所 WEB開催

実施内容 「摂食嚥下」 丹後中央病院 言語聴覚士 中島 紀夫

参加者 24名

②リハビリテーションの視点を持って活躍できる看護職・介護職養成研修

開催日時 令和3年11月12日（金）17：00～18：30

開催場所 WEB開催

実施内容 「移乗」 丹後中央病院 理学療法士 佐藤 一喜

参加者 22名

③リハビリテーションの視点を持って活躍できる看護職・介護職養成研修

開催日時 令和3年11月26日（金）17：00～18：30

開催場所 WEB開催

実施内容 「環境調整」 介護老人保健施設 リハヴィラなぎさ苑 作業療法士 小川 雄

参加者 17名

④丹後圏域地域リハビリテーション実践交流会 お気軽サミット

開催日時 令和4年2月22日（火）

開催場所 WEB開催

実施内容 実践報告

「ケアマネジャーから見た訪問リハビリテーションの介入について」

社会福祉法人みなやま福祉会 総合老人福祉施設はごろも苑 介護支援専門員 北川 昇平

「陽だまりカフェ（認知症カフェ）～コロナ禍における活動と今後の課題～」

社会福祉法人丹後福祉会 陽だまりカフェ 上古 貴大 宇都 朋之

「生活期の支援 ～困りごとの背景としての障害～」

京丹後市寄り添い支援総合サポートセンター 自立相談支援員 石田 敦雄

「リハビリ特化型サービスでの取り組み」

株式会社Lukomoco リハタイムズ 機能訓練指導員（理学療法士） 和田 武浩

参加者 60名

中丹圏域地域リハビリテーション支援センター

①テーマ「中丹東地域リハビリテーション従事者研修会」

内 容 地域リハ、感染対策、摂食嚥下、関節可動域、運動機能向上、福祉用具、住環境調整、トランスファー

講 師 中丹東地域リハビリテーション支援センター 理学療法士・コーディネーター 小幡 彰一

中丹東地域リハビリテーション支援センター 理学療法士・サブコーディネーター 久保 綾子

京都府北部リハビリテーション支援センター 理学療法士 山元 顕太

中丹東保健所 保健師 川村 愛子

舞鶴赤十字病院 理学療法士 河村 航大

舞鶴赤十字病院 作業療法士 佐野 貴正

舞鶴赤十字病院 作業療法士 馬場 春菜

舞鶴赤十字病院 言語聴覚士 金子 栞

日 時 令和3年11月8日（月）～9日（火）（12時間）

場 所 舞鶴赤十字病院 東館講堂

参加者 21施設 28名

②テーマ 明日から使える「身体の使い方・腰痛予防・移乗」セミナー

内 容 講義、質疑応答

講 師 スマイリングホームメディス足立 理学療法士・機能訓練指導員・衛生管理者 笠原 聖吾

中丹西地域リハビリテーション支援センター 理学療法士・コーディネーター 足立 晃平

中丹西地域リハビリテーション支援センター 作業療法士・サブコーディネーター 足立 美幸

日 時 令和4年1月17日（月） ①14：30～16：10、②18：30～20：10

場 所 ZOOM研修

参加者 43名

- ③テーマ ひといき庵 in 中丹～地域リハビリテーション実践交流会～研修会（東西合同）
 内 容 発表：中丹圏域の各施設・事業所から5演題発表
 講演：中丹東地域リハ支援センター20年の歩みと事例報告
 講 師 発表者5名
 中丹東地域リハビリテーション支援センター 理学療法士・コーディネーター 小幡 彰一
 ・地域別懇談会：舞鶴、綾部、福知山に分かれて実施
 ・申込希望者にYouTubeで見逃し配信
 日 時 令和4年2月9日（水）13：30～16：00
 場 所 ZOOM研修
 参加者 42施設 53名

南丹圏域地域リハビリテーション支援センター

- ① テーマ：生活介護で知っておきたい姿勢ケア
 内 容：ベッド上での背臥位、側臥位にくわえ車椅子座位での姿勢調整について動画を交えて説明
 講 師：京都中部総合医療センター 理学療法士・コーディネーター 桝田 宏司
 日 時：令和3年9月15日（水）13:30～15:00
 場 所：オンライン開催（ZOOM開催）
 参加者：20人
- ② テーマ：代表的な呼吸器疾患の病態理解と日常生活の対応方法
 内 容：呼吸器の解剖、生理学、呼吸器疾患の病態にくわえ日常生活での注意点を説明
 講 師：京都中部総合医療センター 理学療法士 松本 大輔
 京都中部総合医療センター 理学療法士・コーディネーター 菱池 正之
 日 時：令和3年12月8日（水）13:30～15:00
 場 所：オンライン開催（ZOOM開催）
 参加者：28人

京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター

- ① テーマ：初めての障がいのある方への就労サポート～ケアマネジャーさんも一緒に～
 内 容：模擬事例を通して障害当事者への就労に必要なサービスや関係機関の情報共有をおこない、就労支援への理解を深める
 講 師：京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」 相談支援専門員 佐藤 雅裕
 事例提供者：がくさい病院訪問リハビリテーション 作業療法士 森本 雅之
 日 時：令和4年3月18日（金）18：00～19：30
 場 所：ZOOM開催
 参加者：17名〈職種別〉ケアマネジャー8、社会福祉士2、リハ職5、相談員2
 〈所属別〉居宅介護支援事業所7、地域包括支援センター2、病院連携室1、障害者施設相談員2、訪問リハ（訪問リハ）2、回リハ1、その他12

- ② テーマ：看護職・介護職リハビリテーションステップアップ研修会シンポジウム
 「認知症の方への個別リハビリテーションと社会参加・活動への支援」
 ～もっと介護から学ぶ、生活・人生・関係～
 内 容：実践事例を通して認知症の方に対するリハビリテーションの実際から社会参加・活動への支援を多職種で意見交換を行い、その理解を深める
 講 師：事例提供① 京都きづ川病院 理学療法士 北村 卓也
 事例提供② 第二上田リハビリテーション診療所 理学療法士 奥山 紘平
 モデレーター 合同会社松本リハビリ研究所 所長 理学療法士 松本 健史
 日 時：令和4年3月19日（土）14：00～15：00
 場 所：ZOOM開催
 参加者：17名〈職種別〉ケアマネジャー1、社会福祉士1、看護師・保健師2、リハ職12、医療介護連携支援センターコーディネーター1
 〈所属別〉医療介護連携支援センター1、地域包括支援センター4、老健5、訪問リハ（訪問リハ）2、通所1、病院12
 その他12

山城北圏域地域リハビリテーション支援センター

- ①テーマ：動作のメカニズムから考える介助のコツ
 講 師：八幡中央病院 理学療法士 大橋 和歌子
 日 時：令和3年11月22日（月） 18：00 ～ 20：00
 場 所：WEB開催
 参加者：山城北圏域関連施設職員 計 25 名

②テーマ：高齢者の身体特性とロコモ対策 ～介護・転倒予防に効果的なトレーニング～

講 師：武田病院グループ本部 理学療法士 島 浩人
 日 時：令和3年12月13日（月） 18：00～20：00
 場 所：WEB開催
 参加者：山城北圏域関連施設職員 計 33 名

③テーマ：口腔ケアと嚥下について ～口から食べることの幸せを考えよう～

講 師：京都田辺中央病院 言語聴覚士 川尻 英貴
 日 時：令和4年1月24日（月） 18：00～20：00
 場 所：WEB開催
 参加者：山城北圏域関連施設職員 計 37 名

④テーマ：口腔ケアと嚥下について ～口から食べることの幸せを考えよう～

講 師：京都きつ川病院 理学療法士 鼻崎 裕美 / 理学療法士 中島 翔吾
 日 時：令和4年3月25日（金） 18：00～20：00
 場 所：WEB開催
 参加者：山城北圏域関連施設職員 計 11 名

山城南圏域地域リハビリテーション支援センター

①テーマ：高次脳機能障害のあれこれ

内 容：○情報提供「高次脳機能障害にかかる資源と支援について」
 高次脳機能障害のリーフレット等を紹介。京都府内高次脳機能障害の資源・支援方法を知る
 ○「高次脳機能障害のあれこれ」
 高次脳機能障害の定義、診断基準等を知り、症状を通して高次脳機能障害の理解を深める
 講 師：○京都府リハビリテーション支援センター 高次脳機能障害支援コーディネーター 宮崎 陽子
 ○京都山城総合医療センター 作業療法士 棚田 万理 / 作業療法士 石橋 加奈子
 日 時：令和3年7月14日（水） 14：00～15：30
 場 所：ZOOM開催
 参加者：17名

②テーマ：フレイルを予防しよう

内 容：フレイル定義・要因を理解し、フレイル予防の実技体操を学ぶ
 講 師：京都山城総合医療センター 理学療法士 國田 宏和 / 理学療法士 山田 香苗
 日 時：令和3年9月27日（月） 14：00～15：30
 場 所：ZOOM開催
 参加者：8名

③テーマ：排泄自立に向けての考え方と支援

内 容：排泄の基本的知識を理解し、ICFを通して、福祉用具等と使用して自立支援の関わり方・方法を学ぶ
 講 師：メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都 作業療法士 山下 和典
 日 時：令和3年9月27日（月） 14：00～15：30
 場 所：ZOOM開催
 参加者：13名
 You Tubeによる動画配信 令和3年12月10日～令和3年12月27日
 視聴回数 184回

地域リハビリテーション支援研究センター

①テーマ：第16回京都在宅リハビリテーション研究会 研究集会

医療と介護のスマートな連携を実現するために～連携の現状と課題～
 内 容：地域における医療と介護の連携の実情についての話題提供 / グループディスカッション
 講 師：各圏域地域リハビリテーション支援センターコーディネーター
 【話題提供者】
 南丹圏域地域リハビリテーション支援センター（京都中部総合医療センター 理学療法士）菱池 正之
 山城北圏域地域リハビリテーション支援センター（京都岡本記念病院 理学療法士）田後 裕之
 【総括者】
 中丹圏域地域リハビリテーション支援センター（舞鶴赤十字病院 理学療法士）小幡 彰一
 日 時：令和4年2月13日（日）9：30～12：30
 場 所：ZOOM開催
 参加者：40名

キ リハビリテーション専門職定着化促進事業 (ア) リハビリテーション専門職受入研修

目的

職場において卒後教育の機会を得ることが少ないリハビリテーション専門職に対し、地域リハビリテーション支援センター等の充実したリハビリテーション機能を有する病院等が受け入れ施設となり、その臨床現場で直接技術指導等を受ける機会を設けることにより、リハビリテーション専門職の知識技術を高め、総合リハビリテーション充実事業について理解を深めるとともに、リハビリテーション専門職の地域への確保・定着と質の高いリハビリテーションサービスを住民へ安定して提供する

対象

京都府内に従事する理学療法士、作業療法士および言語聴覚士のいずれかの資格を有し、所属長の推薦を受けた者で、受け入れ施設が受講を認めた者

各コース内容

※令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大対策のため各施設の裁量により受け入れ体制の調整を行った上で実施した。今年度分は以下にコースと内容及び受講状況について記載する
※受講決定していながらも感染状況の拡大により受講中止となったケースもあった

①卒後ベーシック研修【丹後】（丹後中央病院） 受講者 0

研修内容

- *主に急性期から回復期にかけてのリハビリテーション実施場面の見学（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）
- *回復期病棟における関連職種の業務見学（医師、看護師、ソーシャルワーカー）を通して、リハビリテーションにおける他職種の視点や関わりを学ぶ
- *リハビリテーション部及びリハビリテーション関連職種との連携について
- *術後のクリティカルパスに沿ったリハビリテーションの見学
- *リハビリテーション部及び回復期リハビリテーション病棟の管理運営について見学

②高次脳機能障害者の自動車運転支援に関する研修（丹後中央病院） 受講者 0

研修内容

- *自動車運転支援の概要
- *運転に必要な認知機能評価について
- *ドライビングシミュレーター評価について
- *自動車教習所における評価について

③卒後ベーシック研修【中丹東】（舞鶴赤十字病院） 受講者 0

研修内容

- *リハビリテーション科と関連職種との連携について
- *症例を通じての治療評価の実際
- *急性期から在宅までのリハビリテーションの流れと地域との関わり
- *所属する事業所、施設への訪問による研修も可能
- *中丹東地域リハビリテーション支援センター業務について
- *地域における事業展開について学ぶ

④地域リハビリテーションに関する研修（舞鶴赤十字病院）受講者 理学療法士2

研修内容

- *圏域の地域リハビリテーション支援体制について（地域リハビリテーションコーディネート事業の概要）
- *地域リハビリテーションコーディネート事業の見学・参加（地域包括支援センター等への助言・相談対応や事業所支援のための訪問・相談の見学や事例検討会への参加 等）

⑤卒後ベーシック研修【中丹西】（市立福知山市民病院）※受け入れ中止

- *オリエンテーション：当院（リハビリテーション科）の概要・各部門紹介、院内見学：リハビリテーション科との関係を含めた多職種連携について
- *臨床見学：※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
- *訪問リハビリテーション(要相談)
- *電子カルテ見学：他部門との情報共有・連携について
- *実技指導：研修者と相談の上検討、チームアプローチ：カンファレンス・面談・各ミーティング見学
- *その他：研修内容については、研修者希望を確認の上検討

⑥(特に発達障害に対する)小児のリハビリテーションに関する研修(市立福知山市民病院) ※受け入れ中止

研修内容

- *発達に不安を抱えているお子さんへの外来診療における個別リハビリテーションについて
- *スムーズな地域移行支援のための近隣施設(保育所、幼稚園、小中学校)との連携について

⑦卒後ベーシック研修【南丹】(京都中部総合医療センター) ※受け入れ中止

研修内容

- *急性期リハビリテーション・回復期リハビリテーションを見学
 - 疾患は脳卒中と整形外科の急性期患者が多いが、呼吸リハビリテーション、心臓リハビリテーション、廃用リハビリテーション、がんリハビリテーションも実施しています
 - 整形外科や神経内科の回診やカンファレンスも見学します
- *希望者にはリハビリテーション科や回復期リハビリテーションの運営方法の見学も行います
- *研修内容に要望があれば出来る限り対応します
 - (例:脳疾患を重点に。回復期リハビリテーションを重点に。整形外科を重点になど)

⑧心臓リハビリテーションの基本に関する研修(京都中部総合医療センター) ※受け入れ中止

研修内容

- *心臓リハビリテーションの概要
- *心臓リハビリテーションの対象について
- *運動療法、生活指導、患者教育などについて

⑨卒後ベーシック研修【京都市域】(がくさい病院) 受講者0

研修内容

- *回復期リハビリテーションについて
 - 病棟でのリハ、他職種との連携、多職種の役割、退院に向けた支援、退院後の支援や訪問リハへのつなぎ
- *在宅でのリハビリテーションについて
 - 訪問看護ステーションでの訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・地域リハビリテーション支援センター等のそれぞれの役割や内容、各部門の看護師おやケアマネジャー等の役割と連携、地域での活動状況・業務内容など

⑩卒後ベーシック研修【乙訓】(京都済生会病院) 受講者 1

研修内容

- *急性期病院から回復期リハビリテーションまたは維持期リハビリテーションへの患者様の流れの中から、急性期リハビリテーションの役割を理解してもらう
- *急性期リハにおけるリスク管理に関して、理解を深める
- *脳卒中患者の急性期における理学療法・作業療法・言語聴覚療法に関して理解を深める

⑪卒後ベーシック研修【山城北】(京都岡本記念病院) 受講者 0

研修内容

- *オリエンテーション:当院の概要 リハビリテーション科の概要各部門の役割等
- *院内見学(各病棟の特徴とリハビリテーションとの関わり)
- *現場研修(理学療法士/作業療法士/言語聴覚士/在宅訪問リハビリテーション)
- *リハビリテーション医診察研修(入院/外来)
- *他部門研修(医療ソーシャルワーカー、医療安全管理室、地域医療連携室)
- *チーム医療としての研修:申し送り・カンファレンス・回診見学
- *文書に関する説明・指導:計画書 評価表 報告書 マニュアル等
- *システムに関する説明・指導:リハビリテーション処方〜退院までの流れ 教育研修等
- *医療安全に関する説明・指導(希望者のみ)、リスク管理、緊急時対応、インシデント・アクシデント等
- *補装具、車いすに関する説明・指導
- *その他 研修者の希望する内容など

⑫摂食嚥下リハビリテーションに関する研修A(京都岡本記念病院) 受講者 理学療法士 1・研修中止 1

研修内容

- *摂食・嚥下に関する基本知識及びチームにおける理学療法士、作業療法士の役割の習得
- *医師、言語聴覚士による座学及び臨床見学
- *管理栄養士による嚥下食の説明
- *看護師による病棟での取り組みや連携についての説明
- *嚥下造影検査見学 など
- *その他 研修者の希望する内容など

⑬卒後ベーシック研修【山城南】（京都山城総合医療センター） ※受け入れ中止

研修内容

- *急性期病院における急性期リハビリテーションの役割を理解してもらう
- *脳卒中患者の急性期リハビリテーションに関して理解を深める、整形外科術後に関して理解を深める
- *呼吸器・消化器外科術後に関して理解を深める、心筋梗塞・心不全に関して理解を深める
- *実技指導、その他 研修者の希望する内容

⑭急性期（周術期）リハビリテーションに関する研修（京都山城総合医療センター） ※受け入れ中止

研修内容

- *急性期病院における急性期リハビリテーションの役割を理解して頂く
- *呼吸器・消化器外科及び 心筋梗塞・心不全に関して
 - ※術後評価、プログラムについて
 - ※集中治療室やベッドサイドでの理学療法
 - ※回復期につなげる機能改善訓練 等

⑮回復期リハビリテーション病棟の運営に関する研修（京都大原記念病院） 受講者 理学療法士 2

研修内容

- *回復期におけるリハビリテーション実施場面の見学
- *回復期病棟におけるリハビリテーションスタッフ間及び関連職種との連携について（カンファレンス・申し送り等の見学）

⑯訪問リハビリテーションに関する研修（京都きづ川病院） 受講者 理学療法士 1

研修内容

- *京都きづ川病院の訪問リハビリテーションの概要
- *訪問リハビリテーションの実現場面の見学
- *急性期・回復期リハビリテーションとのリハビリテーション専門職連携について

⑰急性期・安定期における呼吸リハビリテーションの研修（京都桂病院） 受講者 理学療法士 1

研修内容

- *入院急性期における病状安定、離床促進、ADL拡大を 目標とする呼吸理学療法を中心とする包括的呼吸リハビリテーション
- *外来安定期における日常活動性や運動耐容能の拡大、QOL・生命予後の延長を目標とする、運動療法をはじめとする包括的呼吸リハビリテーション
- *周術期における呼吸器合併症予防、離床促進の呼吸リハビリテーション
- *リハビリテーション医による呼吸リハビリテーションの講義
- *療法士による呼吸リハビリテーションの実践の講義
- *呼吸リハビリテーションの評価と治療について、前記の実際の症例を見学、病棟看護師など多職種とのカンファレンスに参加

⑱在宅医療・介護分野におけるリハビリテーションに関する研修（京都民医連あすかい病院）受講者 理学療法士 1

研修内容

- *訪問リハビリテーション、外来リハビリテーション、通所リハビリテーションにおける実際のリハビリテーションの提供
- *他職種との協同または運営についての研修

⑲摂食嚥下リハビリテーションに関する研修B（第一赤十字病院） ※受け入れ中止

研修内容

- *急性期病院における摂食・嚥下リハビリテーションの流れを見学
- *VF検査の評価
- *患者へのアプローチ評価を実習

⑳小児のリハビリテーション及びNICUに関する研修（日本バプテスト病院） ※受け入れ中止

研修内容

- *小児疾患、発達障害に関する病態理解、治療、評価、リハビリテーションについて
- *NICUから外来発達フォロー
- *訪問リハビリテーションにおけるセラピストの役割について見学

②①小児のリハビリテーションに関する研修（聖ヨゼフ医療福祉センター）

受講者 理学療法士 1・作業療法士 1・言語聴覚士 3・研修中止 1

研修内容

- * 聖ヨゼフ医療福祉センターで、理学療法、作業療法、言語聴覚療法のそれぞれのリハビリテーション専門職がどのように関わっているか実際の臨床場面を見学する
- * 対象疾患は、脳性まひ（軽度～重度）、発達障害、染色体異常など多岐にわたっている

②②小児のリハビリテーションに関する研修（舞鶴こども療育センター）受講者理学療法士 1・作業療法士 2

研修内容

- * 小児リハビリテーションの見学
- * 対象疾患は多岐にわたる。研修日程により対象疾患は変わる予定

②③急性期から維持期における心臓リハビリテーション及びチームアプローチ（三菱京都病院） ※受け入れ中止

研修内容

- * 心臓リハビリテーション急性期から維持期の流れの把握
- * 心疾患急性期におけるリスク管理と離床の考え方
- * CPXから決定する運動処方の実際
- * 他職種協働のチームアプローチ（他部門との関わり、カンファレンスなど）患者教育の実際（心臓リハビリ教室）

②④在宅復帰超強化型介護老人保健施設における生活リハビリテーションに関する研修(介護老人保健施設ハーモニーこが
受講者 理学療法士 1

研修内容

- * 在宅復帰強化型施設としての生活リハビリテーションの取り組み
- * 生活の中での取り組み
- * 他職種連携でのケアプランの作成
- * 短期集中リハビリテーション、認知症短期集中リハビリテーション、サービス付き高齢者住宅との連携、在宅復帰、在宅生活への取り組みを見学

②⑤介護老人保健施設及びデイケアにおけるリハビリテーションに関する研修(介護老人保健施設「がくさい」

受講者 理学療法士 1・作業療法士 1

研修内容

- * 施設の概要、運営方針をベースとし、施設入所・通所における対象者への評価・治療等を通して他職種、地域との関わり方の説明と見学、機能訓練課としての施設内での役割の説明と見学

②⑥在宅復帰強化型介護老人保健施設におけるリハビリテーションに関する研修 介護老人保健施設春風

受講者 理学療法士 1

研修内容

- * 超強化型介護老人保健施設の概要について
- * 在宅復帰に向けた多職種連携の実際
- * 入所におけるリハビリテーション専門職の役割
- * 通所におけるリハビリテーション専門職の役割を学ぶ

②⑦在宅復帰強化型介護老人保健施設におけるリハビリテーションに関する研修 介護老人保健施設桃山

受講者 〇

研修内容

- * 超強化型介護老人保健施設の概要について
- * 在宅復帰に向けた多職種連携の実際
- * 入所におけるリハビリテーション専門職の役割
- * 通所におけるリハビリテーション専門職の役割を学ぶ

(イ) リハビリテーション専門職技術向上研修（委託事業）

目的

京都府北部地域のリハビリテーション専門職や介護老人保健施設等への研修受講の機会を確保し、質の向上及び定着を図ること

委託先

京都府リハビリテーション三療法士会協議会（５回　うち１回は合同研修として実施）

内容

京都府リハビリテーション三療法士会協議会

① 内 容 「運動器障害の臨床現場で使える！物理療法の理論と実践」

講 師 兵庫医療大学リハビリテーション学部 理学療法学科 教授 理学療法士 坂口 顕

日 時 令和３年１１月１４日（日）

場 所 市民交流プラザふくちやま

参加者 ３５名／うち北部３０名

② 内 容 「作業療法生涯教育概論」

講 師 洛和会音羽病院 リハビリテーション科 作業療法士 林 佳宏

日 時 令和３年１２月１０日（金）

場 所 WEB開催（ZOOM使用）

参加者 ２１名／うち北部３名

③ 内 容 「事例検討・事例報告」

講 師 丹後中央病院 リハビリテーション科 作業療法士 坂根 勇輝

大原記念病院 リハビリテーション部 作業療法士 山崎 龍之介

日 時 令和４年２月２０日（日）

場 所 WEB開催（ZOOM使用）

参加者 ３２名／うち北部４名

④ 内 容 「発達障害とその周辺領域 ～診断・支援・連携について～」

講 師 市立福知山市民病院 小児科 医長 諸戸 雅治

日 時 令和４年２月２１日（月）

場 所 WEB開催（ZOOM使用）

参加者 ８９名／うち北部３１名

⑤ 内 容 「ほかの地域は何してる？安城地域リハネットワークのこと」

講 師 八千代病院 介護事業部 理学療法士 小久保 充／理学療法士 小笠原 巧

訪問看護ステーションに 安城サテライト 理学療法士 青木 一樹

日 時 令和４年３月３日（木）

場 所 WEB開催（ZOOM使用）

参加者 ４３名／うち北部２８名

4 人材確保・育成（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（３）リハビリテーション訪問・相談支援事業 ／ （４）摂食嚥下等障害対応支援事業

（３）リハビリテーション訪問・相談支援事業

目的

リハビリテーション専門職がいない介護老人福祉施設等において、利用者が持てる機能を維持し、二次障害の発生や廃用症候群を予防することにより、その人らしくよりよい生活を送れるよう、生活に関わる人々がリハビリテーションの概念を理解し、生活の中にリハビリテーションの視点を取り入れることができるよう相談・支援を行う

対象

介護老人福祉施設、介護老人福祉施設、障害者福祉施設 等

支援概要

リハビリテーション支援センターの理学療法士、作業療法士が対応し、１施設半日程度で１～２ヶ月毎に１回、計４回訪問し、リハビリテーションにかかる相談を受け、支援を行う

実績（支援の内容）

【南部】訪問施設数：３施設（訪問回数７回）

高齢者入所施設：２施設／高齢者通所施設：０施設／障害者入所施設：０施設／障害者通所施設：１施設

【北部】訪問施設数：３施設（訪問回数７回）

高齢者入所施設：１施設／高齢者通所施設：０施設／障害者入所施設：０施設／障害者通所施設：２施設

〈相談内容〉

リハビリテーションの知識・技術に関すること移乗介助方法、関節可動域訓練、筋力訓練に関すること、シーティング・ポジショニング・アクティビティ、生活環境・福祉用具に関すること、小児リハ関連施設の連携に関すること等

〈支援内容〉

個別事例に関する評価・プログラムに関する助言提案、施設（法人）内研修会にて講義の実施、介助方法の技術指導、福祉用具の評価・選定、介護予防に関する取り組みの支援、連携支援等を行った

（４）摂食嚥下等障害対応支援事業

目的

言語聴覚士がいない、あるいは経験の浅い言語聴覚士を抱えるリハビリテーションサービス提供事業所等においてリハビリテーション専門職（府職員）を派遣し、摂食嚥下等障害に関する知識・技術の向上を図ることにより、利用者のＱＯＬを考えた適切なリハビリテーションを提供し、利用者が安心しておいしく食べられるよう、また円滑にコミュニケーションが図れるよう支援する

対象

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、重症心身障害者施設 等

支援概要

リハビリテーション支援センターの言語聴覚士が対応し、１施設半日程度で１～２ヶ月毎に１回、計４回訪問し、リハビリテーションにかかる相談を受け、支援を行う

実績（支援の内容）

【南部】訪問施設数：５施設（訪問回数８回）

高齢者入所施設：２施設／高齢者通所施設：０施設／障害者入所・通所施設：１施設／その他：２

【北部】訪問施設数：依頼がなかったため、訪問実績なし

〈相談内容〉

- ・安全に食べるための工夫
- ・食事形態について

〈支援内容〉

個別支援を通して食事観察のポイント、食事介助、食事時のポジショニング等に関する支援など実施

4 人材確保・育成（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（５）リハビリテーション専門職地域人材養成・派遣支援事業

目的

地域包括ケア推進のため、市町村が主体的に実施する介護予防事業や地域ケア会議等によりリハビリテーション専門職の参画が不可欠であることから、京都府リハビリテーション三療法士会協議会と京都府が協働し、市町村の実施する地域支援事業等への参画に資するリハビリテーション専門職の地域人材養成を行うとともに、派遣体制の整備を行う

概要

1. 人材養成・登録事業

地域ケア会議や介護予防事業等に資する人材を養成するため、重層的な研修プログラムのもと、研修会を実施し、必要な知識・技術の習得を図る。
研修プログラムを全て受講した者及びそれに準じる資質を有する者のうち、本人が希望し、かつ所属長の下承を得られた者について、市町村への派遣者登録を行い、医療圏毎（市町村毎）のリストを作成。

2. 派遣支援事業

人材養成・登録事業により養成・登録された人材を、市町村の要請に応じて紹介できる体制を整備し、市町村と地域リハビリテーション人材とのマッチングを図り、市町村への派遣を支援する。

1. 人材養成・登録事業（京都府リハビリテーション三療法士会協議会による補助事業）

〔地域ケア会議・介護予防事業の参画に資する人材育成研修会〕

研修プログラムを履修し、登録要件を満たした者 26名

内訳

理学療法士：18名

作業療法士：8名

言語聴覚士：0名

＊登録要件：ベーシック研修、アドバンス研修を履修したもの

ベーシック研修

地域ケア会議や介護予防事業等へ参画するための入門編として、必要最低限の基礎知識の習得を目的に開催

日 時 令和3年7月18日（日）

開催方法 オンライン研修（zoom）

受講者 39名

（理学療法士27名 作業療法士11名 言語聴覚士1名）

内 容 地域ケア会議・介護予防事業の参画に資する人材養成

「リハビリテーション専門職地域人材養成・派遣支援事業について」

京都府健康福祉部（北部）リハビリテーション支援センター

主査（理学療法士）山元 顕太

「地域包括ケアシステムについて」

一般社団法人京都府言語聴覚士会

副会長 木村 奈緒

「地域支援事業について」

一般社団法人京都府作業療法士会

事業局長 渡邊 聡

「介護予防・日常生活総合事業とリハ専門職の取り組みを知る」

一般社団法人京都府理学療法士会

副会長 中本 隆幸

「地域ケア会議とは」

一般社団法人京都府理学療法士会

副会長/地域包括ケア推進部理事 関 恵美

「地域ケア会議に求められるリハ専門職の役割」

一般社団法人京都府理学療法士会

副会長/地域包括ケア推進部理事 関 恵美

「地域ケア会議の心構え」

一般社団法人京都府理学療法士会

副会長/地域包括ケア推進部理事 関 恵美

アドバンス研修

地域包括ケア推進に資するための専門的な知識の習得を目的に開催

日時 令和3年9月12日(日) 9:00~16:00
 開催方法 オンライン研修(zoom)
 受講者 28名(理学療法士20名 作業療法士8名 言語聴覚士0名)
 内容

フレイルの基本的概念の整理と予防・改善対策

鹿児島大学 医学部保健学科 理学療法学専攻

教授 牧迫 飛雄馬

介護予防事業の実践報告

(言語聴覚士の立場から)
 (理学療法士の立場から)
 (作業療法士の立場から)

京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 言語聴覚専攻
 宇治市福祉サービス公社
 メディケアリハビリ訪問看護ステーション京都

関 道子
 阪東 美可子
 林田 孝明

地域ケア会議について

京都府リハビリテーション三療士会協議会

鶴谷 啓明

- ・地域ケア会議模擬事例(動画視聴)
- ・地域ケア会議について(グループワーク・発表・総括)

派遣登録についての説明

京都府リハビリテーション三療士会協議会

関 恵美

フォローアップ研修会(現任者研修)

最新の知見等を収集し、また圏域内リハビリテーション専門職との関係づくり、他圏域、他者と情報を共有し、活動に活かすことを目的に開催

日時 令和3年5月9日(日) 13:00~16:00
 開催方法 オンライン研修(zoom)
 受講者 50名(理学療法士33名 作業療法士12名 言語聴覚士5名)
 内容

京都府リハビリテーション専門職地域人材養成派遣支援事業の状況と今後に向けての視点

京都府リハビリテーション支援センター 主査 山元 顕太

人材養成派遣支援事業登録者からのアンケート報告

京都府リハビリテーション三療士会協議会 渡邊 聡

実践報告

地域支援事業に参加して

京都民医連あすかい病院 リハビリテーション部 理学療法士 中川 幸香

地域での自主活動グループ支援～フレイル対策モデル事業

洛陽病院 リハビリテーション科 理学療法士 保田 直宏

地域人材養成・派遣支援事業参画者によるシンポジウム

京都市域京都府地域リハビリテーション支援センター コーディネーター 清水 真弓

グループディスカッション

グループは圏域に分け、各々のグループに地域リハビリテーション支援センターのコーディネーターが参加し、派遣調整を行うコーディネーターと登録者の顔の見える関係づくりと地域の状況等について情報共有する場とする

テーマ① 地域ケア会議においてリハビリ職の力(強み)を發揮できる事、またリハビリ職としての力以外に地域で求められていることは?

② 地域支援事業に参画して良かったこと感じた事、連携に向けて取り組んでおいた方が良いと感じた事

③ withコロナ時代のなかで地域支援事業の取り組みの事例などの紹介

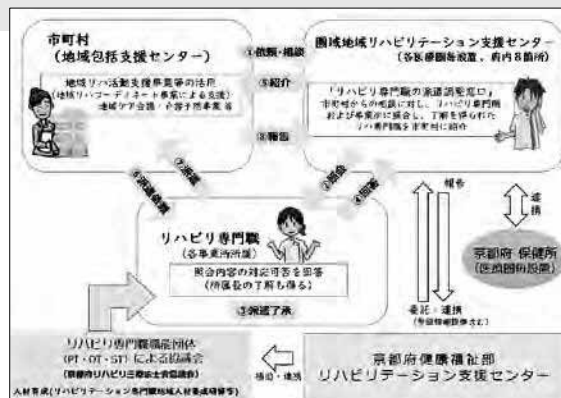
2. 発刊物

- ・令和3年度修了者へはテキストを配布
- ・全修了者へは『寄り添う地域のセラピスト～地域実践事例集～Vol.2』発刊し配布

3. 派遣支援事業

*市町村の要請に応じて紹介する体制を整備し、事業の利用状況を把握する体制を整備する。

*各医療圏毎に指定された地域リハビリテーション支援センターに派遣調整窓口を設け、市町村と地域リハ人材とのマッチングを図る。地域リハビリテーション支援センターは登録者から適任者を抽出し、本人及び所属長等に照会するとともに、その結果を市町村に回答する等の派遣支援を行う。また、地域リハビリテーション支援センターは、保健所と連携し、介護予防事業等へのリハビリテーション専門職の参画の状況等について、市町村からの報告等をもとに把握に努める。



4 人材確保・育成（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（6）リハビリテーション専門職緊急確保対策事業

ア 高等学校の進路指導担当者等へのリハビリテーション専門職の紹介

目的

府内のリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）の数は概ね全国平均を下回り、また、就業地は京都市域に集中し、地域偏在がみられる状況にある。そこで、高校生等若い世代にリハビリテーション専門職の仕事や魅力を発信し、進路選択の幅を広げることにより、リハビリテーション専門職の確保を図る

概要

リハビリテーション専門職の業務内容等を記載した日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、京都府言語聴覚士会リーフレット等を府内の高等学校（進路指導教員等）へ送付・リハビリ専門職の業務内容等を紹介し、進路指導時の資料としても活用いただくことで、リハビリテーション専門職志望者の増加を図る。併せて京都府理学療法士等修学資金貸与事業等の京都府のリハビリテーション専門職確保対策事業の紹介も行う

実施時期

令和3年6月

送付資料



イ リハビリテーション就業フェア

目的

府内全域でのリハビリテーション提供体制の充実を促進するため、就業希望者とリハビリテーション専門職雇用を希望する府内施設等をマッチングさせ、府内におけるリハビリテーション専門職の更なる確保、充実を図る

対象

リハビリテーション専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）およびリハビリテーション専門職養成校学生（卒業見込み者中心）等

内容

テーマ：「京都府リハビリテーション就業フェア2021」

日時：令和3年8月8日（日）11：45～16：00

場所：京都勤業館みやこめっせB1F（リモート（ZOOM）併用のハイブリッド開催）

主催団体：京都府リハビリテーション三療法士会協議会

出展法人：36法人

病院、診療所、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、訪問リハビリテーション事業所、通所リハビリテーション事業所、通所介護事業所、その他

- ・36ブース中5ブースは無人でリモートによる面談を実施

出展法人求人数：247名

内訳

理学療法士 119名
作業療法士 93名
言語聴覚士 35名

参加者：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、
リハビリテーション専門職養成校学生（資格取得予定者）
122名（会場参加 75、リモート参加 47）

内訳 養成校卒業見込み者 120名
有資格者 2名

面談状況：1法人あたり面談件数 対面7.6件 リモート5.4件

出展法人採用者数：26名
フェア関連入職率21.3%
フェア関連入職者数（26名）
フェア参加者数（122名）



コロナ禍ではあったが、ハイブリッドでのフェアとし、感染対策をおこないながら対面での面談を行うことができた

感染対策にご協力ください

マスク着用 手洗消毒 検温 出展者の検温

京都府 リハビリテーション 就業フェア2021

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の仕事

合同就職説明会

20218/8日 11:45~15:30

▶参加費無料! ▶参加申し込み要! ▶履歴書不要!

会場参加の場合

▼参加までの流れ

- ①下記の受付用QRコードを読み取る
- ②必要事項を記入後、送信
- ③登録したメールアドレスに、詳細と就業フェア参加URLが配信されます

会場 みやこめっせB1F

京都府京都市東山区南堀端町1番地1

事業所面談ブース

50ブース予定!!

リハビリテーション関連施設等のリハビリ専門家や採用担当者による就職相談

リモート参加の場合

▼リモート参加方法

- ①下記の受付用QRコードを読み取る
- ②必要事項を記入後、送信
- ③登録したメールアドレスに、詳細と就業フェア参加URLが配信されます
- ④当日までに、法人情報と面談のご案内がメール配信されます
- ⑤8月8日11時45分にフェア参加URLに集合
- ⑥Zoom参加時の表示名は「名前・職種・学校名」を12文字以内で記載
- ⑦チャットに貼付された希望法人のURLをクリック・リモート面談に入室
- ⑧リモート面談ルール

※当日会場のみに出展するブースがありますのでご了承ください。
※新型コロナウイルス感染症等の状況によりオンライン開催のみの場合もございます。
※イベント参加費に費用がかかりますが、参加費はオンライン参加した事業所に情報公開いたしますのでご了承ください。
※当日会場にお越し頂く方は、エントリースタッフも用意していますので、会場時に記入ください。

お問合せ先
一般社団法人 京都府作業療法士会 事務局
メール: kyoto.pos.riha.fair@gmail.com

申し込みはこちら

申し込み締め切り 8月6日(金)

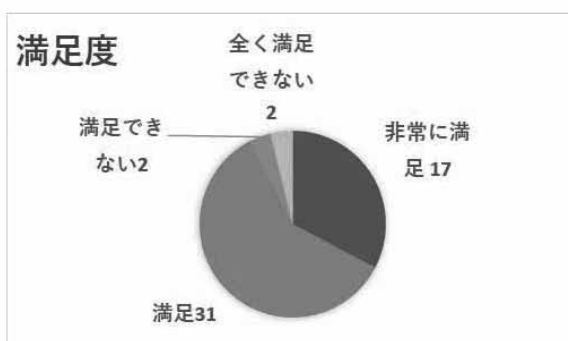
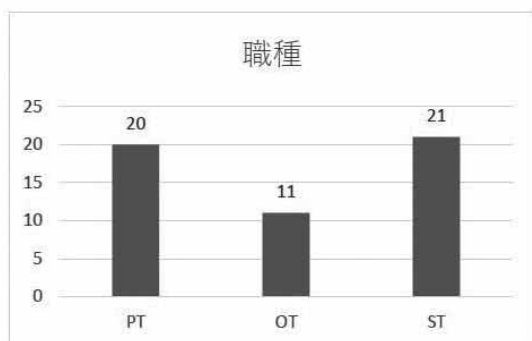
京都府補助事業

主催: 京都府、京都府リハビリテーション支援推進協議会、一般社団法人京都府理学療法士会、一般社団法人京都府作業療法士会、一般社団法人京都府言語聴覚士会
協力: 京都府福祉人材・研修センター、株式会社学博



当日の面談の様子

当日は、5ブースがリモートでの面談となっており、会場内にリモートでの面談ブースとして設置し、面談が実施された施設のブースが設置されていたこともあり、スムーズに対応することができていた



当日参加者のアンケート結果（一部抜粋）

4 人材確保・育成（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（7）リハビリテーション医等の養成

目的

高齢化の進行に伴うリハビリテーション医療の需要増加に応えるため、京都府においてリハビリテーション医等の教育・養成を行い、府立医大、京大、医療関係団体、行政のオール京都体制により、府内全域で均衡の取れたリハビリテーション医療を充実させる。

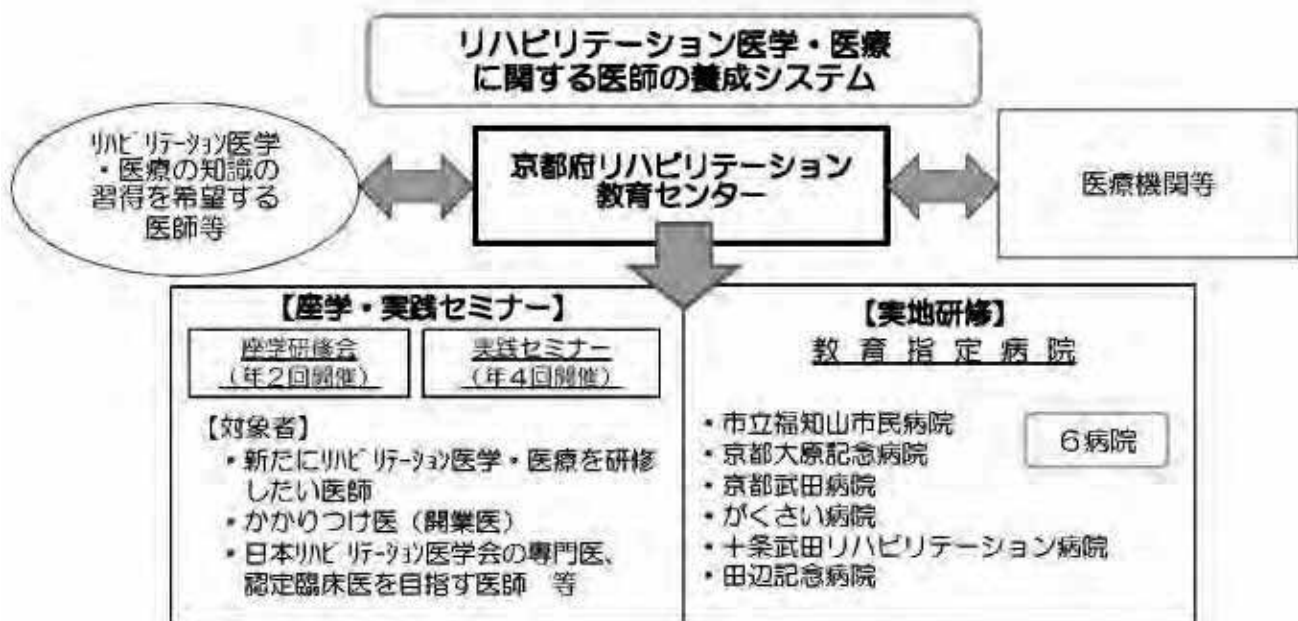
- ①「京都府リハビリテーション教育センター」によるリハビリテーションに精通したかかりつけ医等の養成（平成25年7月～）
- ②京都府立医科大学に設置した「リハビリテーション医学教室」によるリハ専門医等の養成（平成26年10月～）

業務内容

- ①京都府リハビリテーション教育センター（平成25年7月10日開設）
 - I 研修部門 リハビリテーション医教育プログラムの作成
実地研修を受け入れる病院の指定
個別の研修計画の策定と実施 等
 - II 調整部門 段階的にリハビリテーション知識を習得するためのキャリアパス支援
各地域からの研修希望者の受入調整 等
- ②リハビリテーション医学教室（平成26年10月1日開設）
 - ・リハビリテーション専門医や認定臨床医の早期確保・育成を図るため、府立医科大学におけるリハビリテーション機能を強化・充実し、それを活用した教育研修等を実施しリハビリテーション医等を養成
 - ・幅広いリハビリテーションの各分野について学び、リハビリテーションに関する研究を行うことで、医療チームを指導できる実践的な人材を育成＜教育・研究プログラム＞
 - ・医学部学生や大学院生に対するカリキュラム
 - ・リハビリテーション科専門医養成プログラム
 - ・ロボットリハビリテーションの開発推進等先端リハビリテーション機器・治療の研究

運営組織

- ①京都府リハビリテーション教育センター（所属医師3名）
- ②リハビリテーション医学教室（所属医師3名）



5 施設の拡充（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（１）訪問リハビリテーション事業所整備促進事業

目的

訪問リハビリテーション事業所について、新規開設に要する初期投資等の一部を補助することにより、新規開設、事業拡張を促進し、通院が困難な在宅療養者が訪問リハビリテーションサービスを受けられる環境を整備する

補助対象事業者

- ① 保険医療機関である病院又は診療所の開設者（開設予定者を含む）で、訪問リハビリテーションを実施しようとするもの
- ② 介護老人保健施設の開設者（開設予定者を含む）で、訪問リハビリテーションを実施しようとするもの
- ③ 既設の訪問リハビリテーション事業者で、当該事業所の運営規定に定める理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士の員数を増やそうとするもの

補助対象経費等

	対 象 経 費	補助基準額	補助率	府補助額(上限)	備 考
初度備品整備事業	新規開設に伴う設備整備に必要な備品購入費 (例) 物理療法機器、訪問専用車両、事務机、電話・FAX、パソコン等	3,000千円	1/2	1,500千円	府補助額は対象経費の実支出額と補助基準額を比較し、低い方の額に補助率を乗じて得た額
訪問専用車両整備事業 (北部地域のみ対象)	訪問専用車両の購入に係る経費	1,000千円		500千円	

所要経費

2,500千円

補助対象事業者

- ・新規開設（4箇所）
- (医)啓友会 介護老人保健施設 洛西けいゆうの里（京都市西京区）
- (福)香東園 訪問リハビリテーション香東園やましな（京都市山科区）
- (医)晴風園 ほうゆうリハビリテーション病院（京都市伏見区）
- (福)日吉たには会 老人保健施設 はぎの里（南丹市）

（２）先端的リハビリテーションの推進について

ア 先端的ロボットリハビリテーション事業

目的および内容

府立医科大学の施設を一部改修し、ロボットリハビリテーションセンターを設置、京都府から先端的ロボットリハビリの魅力を発信

- ① 先端ロボットリハビリテーション機器（TOYOTA歩行練習ロボット）を導入



ロボットリハビリテーションセンター
写真左：バランス練習アシストロボット、
右：歩行練習アシストロボット（いずれもTOYOTA社製）

- ② 府内中小企業と連携し、府内産業振興につながるよう、新たなロボット機器の開発・改良に取り組む
- ③ 研修会やセミナー等でのロボットリハビリテーションの普及啓発や府内病院への指導や見学の受入等

イ 福祉用具・介護ハビリテーションロボット等の普及啓発〔既存の研修等の中で実施〕

- 京都府機能訓練指導員等研修会（WEB開催）のテーマに福祉機器（ロボット）の活用も含めて開催〔再掲〕

6 北部リハビリテーション支援センター（府リハビリテーション支援センター活動報告）

事業一覧（一部再掲）

支援体制

事業概要

- ・京都府北部地域のリハビリテーション需要（高次脳機能障害等への支援の需要も含む）に対応するため、府北部地域のリハビリテーション支援機能の強化を図ることを目的に、京都府リハビリテーション支援センターのサテライト拠点として「北部リハビリテーション支援センター」を開設
- ・京都府北部地域では、高齢化に加え、リハビリテーション人材が少なく、リハビリテーション資源が広域に分散している等の課題がある中、多様なリハビリテーションニーズに対応するため、北部におけるリハビリテーション資源の確保や質の向上、北部地域全体での連携体制の構築などを推進するリハビリテーション支援拠点として設置
- ・北部地域の高次脳機能障害のある方への就労・生活支援等を行う支援コーディネーターを配置し、医療機関および福祉支援施設等と連携を図り、社会復帰等を支援

配置

場 所：〒624-0906 舞鶴市字倉谷1350-23（京都府中丹東保健所内1階）

連絡先：TEL：0773-75-7557／7556（高次脳機能障害相談専用電話）

FAX：0773-75-7558

人員体制：常勤1名、非常勤2名（3.5日/週）の体制 ※職種：理学療法士・保健師・（社会福祉士）

事業内容一覧

地域リハビリテーション支援関連事業および高次脳機能障害支援関連業務を以下のとおり実施し、京都府北部地域の地域リハビリテーションの推進を図った

1. 地域リハビリテーション支援関連事業

1) 在宅リハビリテーションの推進

研修	日 時	テーマ	会 場	参加者
在宅リハビリテーション研修	令和4年 2月16日（水）	「訪問リハビリテーションでできること 一介護支援専門員と訪問リハの協働」	WEB開催 （Zoom使用）	94名
在宅リハビリテーション 資源確保・拡充	令和3年 12月22日（水）	北部訪問リハビリテーション事業所 連絡会の開催、 北部地域の関連事業報告、情報交換	WEB開催 （Zoom使用）	34名

2) リハビリテーション専門職等の質の向上

① リハビリテーション巡回訪問・相談支援事業

・訪問施設数：3施設（訪問回数7回）（高齢者入所施設：1施設 障害者通所施設：2施設）

② 京都府北部障害児者リハビリテーション支援研修

小児リハビリテーション研修会（南部・北部合同開催）

日 時：令和3年12月24日（金）

テーマ：「医療的ケア児と摂食嚥下障害のリハビリテーション」

会 場：WEB開催（Zoom使用）

参加者：50名

③ リハビリテーション専門職技術向上研修（北部開催分：5研修）（参加者は北部分のみ再掲）

京都府内のリハビリテーション専門職職能団体である 京都府理学療法士会、京都府作業療法士会、京都府言語聴覚士会で構成される 京都府リハビリテーション三療法士会協議会に委託し、専門職向け研修会を実施

日 時	テーマ	会 場	参加者
令和3年 11月14日（日）	「運動器障害の臨床現場で使える！ 物理療法の理論と実践」	市民交流プラザ ふくちやま	30名
令和3年 12月10日（金）	「作業療法生涯教育概論」	WEB開催 （Zoom使用）	3名
令和4年 2月20日（日）	「事例検討・事例報告」	WEB開催 （Zoom使用）	4名
令和4年 2月21日（月）	「発達障害とその周辺領域 ～診断・支援・連携について～」	WEB開催 （Zoom使用）	31名
令和4年 3月 3日（木）	「他の地域は何してる？ 安城地域リハネットワークのこと」	WEB開催 （Zoom使用）	28名

事業概要

- ④ 機能訓練指導員等研修（南部・北部合同開催）
日 時：令和3年10月20日（水）
テーマ：「特養等における機能訓練指導員の役割 ～現状と課題提示～」
対 象：特別養護老人ホーム等の機能訓練指導員等
特別養護老人ホーム等でリハビリテーション提供に携わるリーダー、介護職、施設長等
会 場：WEB開催（Zoom使用）
参加者：46名

3) 連携体制の構築

- ① 北部圏域全体の新たな連携体制の構築
丹後・中丹圏域の新たな連携体制を構築することにより、情報共有を図るとともに、地域が抱える課題解決に向けた協議や検討を進める

- ・中丹および丹後圏域訪問リハビリテーション事業所連絡会（合同開催）
日 時：令和3年12月22日（木）
会 場：WEB開催（Zoom使用）
参加者：34名（24/30事業所 3保健所 3地域リハビリテーション支援センター 府リハビリテーション支援センター）

② 地域リハビリテーションの推進

- ・地域リハビリテーション支援センターとの連携
（丹後・中丹西・中丹東地域リハビリテーション支援センター）
- ・各保健所事業等への協力（障害者自立支援協議会への参画、難病対策地域協議会への参画、在宅療養等支援コーディネーターの連携づくりへの協力、等）
- ・圏域連絡会等への参画・協力、従事者支援等

2. 高次脳機能障害支援関連事業（北部事業分 再掲）

（1）相談支援数（件）

- ① 電話相談 139 相談実数（件）：24（中丹17、丹後5、その他2 ※うち新規相談15）
② 来所相談 34
③ 同行支援、訪問支援、カンファレンス出席等 35

（2）生活訓練・グループワーク・交流会等の開催

- ① 京都府北部高次脳機能障害者と家族の集い（→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

- ② 北部高次脳カフェ（→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

- ③ 失語症交流会（→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

④ 高次脳機能障害者グループワーク（通称：かもがわグループ）のオンライン開催（北部分 再掲）

期 間：令和3年10月～令和4年2月 全17回シリーズ

日 時：毎週火曜日 9：30～11：45

場 所：京都府北部リハビリテーション支援センター

参加者：1名（新規）

（3）ネットワーク会議・事例検討会の開催（京都府全域でオンライン開催）（再掲）

京都府ネットワーク会議（事例検討会）

テーマ：「つながり広げる高次脳機能障害支援」

日 時：令和4年1月24日（月）13：30～15：30

会 場：Zoomミーティングによるオンライン開催（事例検討会はブレイクアウトルームを利用）

参加者：49名（うち北部参加者17名）

内 容：事例検討会

府域を3グループ（1グループ2～3圏域）にわけ意見交換後、全体共有

事例 丹後・中丹グループ：半側空間無視のある当事者の復職

（4）医療関係者等研修会（南部・北部合同開催）

日 時：令和3年8月21日（土）13：30～15：00

会 場：WEB開催（Zoom（ウェビナー）使用）

参加者：70名

内 容：講演1「WAIS-IV概論 ～WAIS-IVと脳機能との関係～」

花園大学 社会福祉学部臨床心理学科 教授 小梅 宏之

講演2「WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害 ～実際の事例を元に～」

京都府心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 公認心理師 村友 仁志

（5）環境整備に向けた調整等

関係機関等に対する京都府北部地域の新たな高次脳機能障害相談窓口開設についての周知等 他

7 連携体制のシステム化（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（1）脳卒中地域連携パス参加機関一覧

（令和4年5月）

	計画管理病院		連携病院		第三段階医療機関		介護老人保健施設	
	医療機関名	施設数	医療機関名	施設数	医療機関名	施設数		施設数
丹 後			丹後中央病院 京丹後市立弥栄病院	2				
中 丹	舞鶴医療センター 綾部市立病院（連）※ 市立福知山 市民病院（連）※	3	京都協立病院 綾部ルネス病院 綾部市立病院 京都ルネス病院 市立福知山市民病院 市立福知山市民病院大江分院 舞鶴赤十字病院 市立舞鶴市民病院 東舞鶴医誠会病院 岸本病院	10	米村外科整形外科 安村外科内科診療所 あやべ協立診療所	3	綾部さくらホーム アザレア舞鶴 エスベラル東舞鶴 さくら苑	4
南 丹	京都中部総合 医療センター（連）※	1	亀岡シミズ病院 亀岡病院 京都中部総合医療センター 国保京丹波町病院	3			陽生苑 はたごまち シミズふないの里	3
京都市	京都第二赤十字病院 京都市立病院 京都第一赤十字病院 京都桂病院 京都医療センター 医仁会武田総合病院 京都府立医科大学附属病院 京都大学医学部附属病院 康生会武田病院 京都九条病院 洛和会音羽病院 シミズ病院	12	京都博愛会病院 富田病院 京都からすま病院 室町病院 がくさい病院 京都民医連中央病院 京都回生病院 明石病院 京都武田病院 十条武田リハビリ テーション病院 京都大原記念病院 京都近衛 リハビリテーション病院 京都民医連あすかい病院 脳神経リハビリ北大路病院 洛陽病院 宇多野病院 洛西シミズ病院 京都久野病院 洛和会音羽リハビリ テーション病院 金井病院 大島病院 蘇生会総合病院 むかいじま病院 京都南西病院 京都リハビリ テーション病院	25	垣田医院 相馬病院 はやし神経内科 京都通信病院 御所南リハビリテーション クリニック 深江形成整形外科医院 青木医院 嶋村医院 稲掛医院	9	がくさい こなか医院（訪問リハ） 垣田医院 （通所リハ・訪問リハ） 西の京 マムクオーレ マムクオーレⅡ バプテスト老人保健施設 しずはうず 脳神経リハ北大路病院 （訪問リハ） ケア・スポット梅津 シミズひまわりの里 洛和ウィリアムエル アールそせい 第2アールそせい 蘇生会総合病院（訪問リハ） 深草京しみず 桃山	17
乙 訓	京都済生会病院	1	千春会病院 長岡京病院 新河端病院 向日回生病院	4			ケアセンター回生 マムフローラ 春風 アゼリアガーデン 長岡京病院 （通所リハ・訪問リハ）	5
山城北	京都岡本記念病院（連）※ 京都きつ川病院（連）※ 田辺中央病院 宇治徳州会病院（連）※	4	京都岡本記念病院 宇治徳州会病院 六地藏病院 宇治武田病院 京都きつ川病院 ほうゆうリハビリ テーション病院 京都八幡病院 京都田辺記念病院 八幡中央病院	9			やすらぎ苑	1
山城南	京都山城総合医療センター	1	学研都市病院	1			やましろ とちのき	2
府 外			水無瀬病院 愛仁会リハビリ テーション病院 登美ヶ丘リハビリ テーション病院 若狭高浜病院	4				
合 計	—	22	—	58	—	12	—	32

※（連）…連携病院も担う医療機関（連携病院に再掲）

7 連携体制のシステム化（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（2）大腿骨近位部骨折地域連携パス参加機関一覧

（令和4年6月）

	計画管理病院		連 携 病 院		第三段階医療機関		介護老人保健施設 介護サービス事業所	施設数
	医療機関名	施設数	医療機関名	施設数	医療機関名	施設数		
丹 後								
中 丹	綾部市立病院 市立福知山市民病院（連）※	2	京都協立病院 綾部ルネス病院 京都ルネス病院 市立福知山市民病院 市立福知山市民病院大江分院 舞鶴赤十字病院	6	米谷外科整形外科 安村外科内科診療所 あやべ協立診療所	3	綾部さくらホーム あやべ さくら苑 エスベラル東舞鶴	4
南 丹	京都中部総合医療センター （連）※	1	亀岡シミズ病院 亀岡病院 京都中部総合医療センター 園部病院 国保京丹波町病院	4			陽生苑 はたごまち シミズふないの里	3
京都市	京都鞍馬口医療センター 京都第二赤十字病院 洛和会丸太町病院 京都市立病院 京都第一赤十字病院 三菱京都病院 京都桂病院 京都医療センター 医仁会武田総合病院 康生会武田病院 京都市民連中央病院（連）※ 洛和会音羽病院	12	京都博愛会病院 京都からすま病院 がくさい病院 京都市民連中央病院 京都回生病院 明石病院 京都武田病院 十条武田 リハビリテーション病院 京都大原記念病院 京都近衛 リハビリテーション病院 京都市民連あすかい病院 脳神経リハビリ北大路病院 洛陽病院 宇多野病院 洛西シミズ病院 京都久野病院 洛和会音羽 リハビリテーション病院 共和病院 金井病院 大島病院 蘇生会総合病院 むかいじま病院 京都南西病院 京都リハビリテーション病院	24	垣田医院 相馬病院 京都通信病院 御所南リハビリ テーションクリニック 深江形成整形外科医院 嶋村医院 池田整形外科クリニック	7	がくさい こなか医院（訪問リハ） 垣田医院 （通所リハ・訪問リハ） 西の京 マムクオーレ マムクオーレⅡ バプテスト老人保健施設 しずはうす 脳神経リハ北大路病院 （訪問リハ） ケア・スボット梅津 池田整形外科クリニック （通所リハ） シミズひまわりの里 洛和ヴィラアエル アールそせい 第2アールそせい 蘇生会総合病院（訪問リハ） 深草京しみず 桃山	18
乙 訓	京都済生会病院	1	千春会病院 長岡京病院 向日回生病院	3			ケアセンター回生 マムフローラ 春風 アゼリアガーデン 長岡京病院 （通所リハ・訪問リハ）	5
山城北	京都きつ川病院（連）※ 田辺中央病院 宇治徳州会病院（連）※ 宇治武田病院（連）※	4	宇治徳州会病院 六地藏総合病院 宇治武田病院 京都きつ川病院 ほうゆう リハビリテーション病院 京都田辺記念病院 八幡中央病院	7			やすらぎ苑	1
山城南			学研都市病院	1			やましろ とちのき	2
府外			水無瀬病院 登美ヶ丘 リハビリテーション病院	2				
合 計	—	20		47	—	10	—	33

※（連）・・・連携病院も担う医療機関

7 連携体制のシステム化（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（3）地域リハビリテーション連携推進会議等

ア 地域リハビリテーション連携推進会議（京都府リハビリテーション部会）

内容

日 時：令和4年2月14日（火）14：00～15：30

開催方法：オンライン会議

構成委員：

【学識経験者】

三上 靖夫 京都府立医科大学 教授

松田 秀一 京都大学 教授

【保健福祉関係者】

（一社）京都府医師会、（一社）京都府歯科医師会、（一社）京都私立病院協会、

（一社）京都府病院協会、（公社）京都府看護協会、（一社）京都府理学療法士会、

（一社）京都府作業療法士会、（一社）京都府言語聴覚士会、

（公社）京都府介護支援専門員会、（一社）京都府介護老人保健施設協会

（一社）京都府老人福祉施設協議会、京都府地域包括・在宅介護支援センター協議会、

京都府障害厚生施設協議会、京都府医師会脳卒中登録事業委員会、

京都府リハビリテーション連絡協議会、京都府身体障害者団体連合会、京都障害児者親の会協議会

【地域リハビリテーション支援センター】

中丹東圏地域リハビリテーション支援センター

山城北圏地域リハビリテーション支援センター

【行政関係者】

京都府市長会、京都府町村会、京都市保健福祉局（京都市地域リハビリテーション推進センター）

京都府保健所長会、京都府家庭支援総合センター、京都府教育委員会

概 要：

1 新任委員紹介

2 議題

（1）新型コロナウイルス感染症禍におけるリハビリテーションへの影響と対策について

（2）その他

主な意見：

京都府内の感染状況の推移と、感染経路について状況確認。クラスター発生時期と感染の波に伴う医療・介護現場について資料説明後に、各委員から意見等聴取

○京都府歯科医師会では、介護職員向けに口腔ケア動画を作成、また、認知症の方の来院時窓口対応Q&Aを作成し、会員へ配布した

○第3波までは色々制限があったが、第5・6波は感染者は多いが、リハビリテーションロスを少なくするための情報共有を行い、改善している

○高齢者については、体力等が低下した方もおられ、改めて活動、運動の継続の大切さを感じている。今後、骨折、骨粗鬆症のリスクも高まるのではと考えている

○介護老人保健施設協会リハビリテーション部会では、施設対策を各施設ごとに聴取し、標準対策をまとめた

○コロナ禍に限らず、障害者や難病の方へのサービスの少なさについては問題に感じている

○障害者の社会参加を目的にスポーツ事業や生活向上に関する事業を行ってもらっている。コロナで中止になることが多いが、小さな集まりで実施できるものは後押ししている

○親同士の交流を図ってきたが、コロナ禍で開催が難しくなり、また感染予防のため自粛措置が出ていることもあり、ストレスを多く抱えている保護者もいる。孤立しないよう取り組みも行っている。リハビリテーションについては、京都市内にはリハビリテーション施設が少なく、他圏域で実施している。またマスク装着が難しい児については、感染対策上リハビリテーション実施が難しいところもある

○会議などをリモートで開催しはじめている

○子どもたちの学びを止めず教育活動を継続するために、色々工夫しながら実施している

イ 地域リハビリテーション支援センター連絡会

内容

新型コロナウイルス感染拡大のため、開催中止したが、令和4年度4月18日（月）に開催する

ウ 地域リハビリテーション支援センターコーディネーター会議

内容

日 時：令和3年12月27日（月） 10:00～12:00

場 所：オンライン開催（ZOOM会議）

出席者：各圏域地域リハビリテーション支援センターコーディネーター、サブコーディネーター
各圏域保健所保健室担当者／府リハビリテーション支援センター

概 要：

1 報告/議題

1) 新型コロナウイルス感染症後遺症に関する調査について

①新型コロナウイルス感染症後遺症に関するリハビリテーション受け入れ・実施状況調査について
京都府リハビリテーション支援センター 副主査 山原 千里

- ・情報提供可と承諾のあった施設について保健所と圏域リハビリテーション支援センターで共有する。
- ・地域の関係機関等より問い合わせがあった場合は、口頭での紹介とし、名簿の配布はなしとした。

2) ①中丹東圏域リハビリテーション支援センター20年の歩み

モデル事業からはじめ20年経つ。はじめは広報するために報告書や新聞を配布した。目にとまるよう4コマ漫画を作成するなど工夫した。平成20年には中丹西地域リハビリテーション支援センターも開設され、福知山市などの遠方からの相談もあるようになった。

京都式地域包括ケア推進三大プロジェクトの3本柱で分かれた中の地域リハビリテーション推進の中のコーディネート事業はその一部であり、地域リハビリテーション全体で考えると認知症、看取り等一緒に考える必要はあり、契約の中には入っていないが、積極的に情報を取りに行く必要があると考えている。

20年経過した今も課題の変化はなく、継続することが大切と考えている。リハビリテーション相談を分析すると、本人・家族からの相談が多くあり、現在も相談を受けている。入退院連携マニュアルを作成している。中丹以外の圏域にも広がればと考えている。

難病は保健所と協力し行っており、漫画も作成。小児障害児者の施設、教室へも支援している。小児リハビリテーションに対応できる施設・リハビリテーション専門職を増やすために、年に1回事例検討会を開催している。



京都府における地域リハビリ事業の経過



- ・ 昭和62年(1987年) 兵庫県「地域リハビリシステムの構築」委員会
2次圏域にリハ中核病院、セラピスト増員による市町派遣と研修(モデル事業:県立柏原病院)
- ・ 平成2年(1990年) 日本リハ病院施設協会「地域リハビリテーションの定義」
- ・ 平成11年(1999年) 地域リハ支援体制整備推進事業(厚生省モデル事業; ~平成18年)
- ・ 平成13年10月 京都府地域リハビリテーション協議会設置(地域リハビリテーション連携推進事業)
- ・ 平成15年2月 中丹圏域モデル事業(~平成16年3月)
- ・ 平成16年3月 丹後圏域・山城南圏域(地域支援センター指定)
- ・ 平成17年4月 京都府リハビリテーション支援センター開設(武津センター長)
健康福祉部にリハビリを主管する課(全国初)
各二次医療圏域に地域支援センターを指定
府保健所が圏域連絡会等の事務局
- ・ 平成17年7・9月 京都乙訓圏域・山城北圏域・南丹圏域(全地域支援センター指定完了)
- ・ 平成18年1月 地域リハビリテーション支援センター連絡会設置(夜の部も)
- ・ 平成18年2月 地域リハビリテーション協議会→京都府地域リハビリテーション連携推進会議に改組
厚労省モデル事業終了
- ・ 平成20年3月 中丹西地域リハセンター開設(福知山市市民病院) 東西支援体制
- ・ 平成22年8月 中丹地域障害児者リハビリ訪問相談モデル事業(自立支援協議会に参加)
- ・ 平成22年7~11月 京都府総合リハビリテーション推進プラン策定
京都式地域包括ケアシステム推進プランと一体的実施
京都地域包括ケア推進機構
- ・ 平成23年3月 東日本大震災(3月11日)
- ・ 平成23年4月 総合リハビリテーション充実事業(第1期:平成23~25年) 3年間
- ・ 平成25年 京都地域包括ケア推進機構の3大プロジェクト(認知症、地域リハ、看取り)
- ・ 平成26年 総合リハビリテーション充実事業(第2期:平成26~30年) 5年間
- ・ 平成31年(令和元年)~総合リハビリテーション充実事業(アクションプランから外れる)



- ②各圏域地域リハビリテーション支援センターからの現状と今後の展開
- ・市町や包括支援センターとの連携は今後も課題である
 - ・小児、障害児者への取り組みをしていきたいという意見が多く聞かれた。
 - ・感染症対策で医療機関のリハビリテーション専門職が地域に出られない状況は続いている など
- ③各管内（保健所）の状況
- ・小児や障害児者等も含めた包括的支援体制が必要
 - ・コロナ対応に追われ、地域リハビリテーションのことまで行う余裕がなかった
 - ・圏域連絡会など、オンラインも活用した情報共有がされつつある。 など

3) その他

- ①第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム開催について（案内）
- ②高次脳機能障害支援ネットワーク会議（事例検討会）開催について（依頼）



エ 地域リハビリテーション支援センターコーディネーターミーティング

内容

日 時：① 令和3年6月21日（月） 10:00 ～ 12:00
 ② 令和3年10月15日（金） 10:00 ～ 12:00

場 所：オンライン開催（ZOOM会議）

出席者：各圏域地域リハビリテーション支援センターコーディネーター、サブコーディネーター
 府リハビリテーション支援センター リハビリテーション担当（各圏域窓口担当者）

概 要：

（主に以下について、情報交換、意見交換実施）

- コーディネート事業の進捗状況と課題について
 相談支援・訪問支援・事例検討会・その他連携等
- 保健所との連携について
- 圏域連絡会の開催について
- 新型コロナ感染拡大状況における市町村事業実施状況と連携について
- ステップアップ研修会開催について
 ZOOM開催の圏域と、対面開催の圏域とあり。対面開催は人数を縮小し、消毒・手洗いと感染対策を実施
- ロボットリハビリテーション・福祉用具（リフト・センサー等）の相談依頼状況について
- 高次脳機能障害者支援ネットワーク会議・事例検討会開催について
- 情報提供・依頼事項
 - ・第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム開催について
 - ・小児リハビリテーション研修会について
 - ・理学療法士等修学資金貸与者セミナーについて
 - ・リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫について

7 連携体制のシステム化（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（４）小児リハビリテーション懇談会 ／ （５）介護老人保健施設に係る在宅支援事業

（４）小児リハビリテーション懇談会

内容

日 時：令和4年3月1日（火） 15:00～16:40

場 所：Zoomミーティングによるオンライン開催

出席者：京都府理学療法士会、京都府作業療法士会、京都府言語聴覚士会、京都府立医科大学附属病院、聖ヨゼフ医療福祉センター、舞鶴こども療育センター、こども発達支援センター、宇多野病院、京都市教育委員会、京都府教育委員会、障害者支援課、こども・青少年総合対策室、府リハビリテーション支援センター

概 要：京都府における障害児支援の取り組みとして医療・福祉・教育との連携の現状を知り、それぞれの立場からの意見を出し共有する

議 題：地域共生社会構築の基盤となるインクルーシブ教育とリハビリテーション

話題提供「障害を持つ子ども達の校外での生活のあり方」

一般社団法人からふる乙訓 重心児童デイからふる・ぷらんしゅ 理学療法士 神谷 真弓

意見交流・意見発表・情報提供

〔主に出た意見〕

- ・放課後等デイサービスなど学校外での子どもの居場所、活動を支えるためにリハビリテーションは何かできるか
- ・子ども達を支える周囲の人達の情報共有が重要ではあるが、現在のCOVID-19感染状況や地域差、市町村による違いなど情報共有を妨げる一因となっている

（５）介護老人保健施設に係る在宅支援事業

内容

日 時：令和3年12月17日（金）14:00～16:30

場 所：オンラインセミナー開催（ZOOMミーティング、YouTube限定ライブ配信）

対象者：京都府介護老人保健施設協会会員施設の職員、保健・医療・福祉関係者、各学校関係者、及び一般府民

概 要：

① 京都府介護老人保健施設協会会員施設職員による研究発表（研究発表 6題）

② 第2回老健Withコロナ報告会 講演

講 師：京都大学医学部附属病院 感染制御部 教授 長尾 美紀

テーマ：高齢者福祉施設におけるCOVID-19感染対策～クラスター対応、“まんぼう検査”からみえたこと～

③ 特別講演

講 師：国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター長 近藤 和泉

テーマ：介護ロボットでできること、できないこと～導入と効果の検証、移乗支援ロボットを中心に～

8 総合リハ推進体制の構築（府リハビリテーション支援センター活動報告）

目的

介護・医療・福祉の連携を促進し、在宅リハビリテーションのさらなる推進を図るため、地域包括ケアシステム（推進機構等）と連携した取組を進める

事業内容

□ 府リハビリテーション支援センターの機能強化（再掲）

リハビリテーション部会の開催やリハビリテーション連携指針の見直しや推進等

□ 北部地域におけるリハビリテーション支援機能の強化（再掲）

北部リハビリテーション支援センターを拠点とした各種施策等の実施

□ 地域リハビリテーション支援センターの機能強化（再掲）

地域リハビリテーション支援センターの体制強化や各市町村との連携やリハビリテーション専門職の派遣調整、各種研修の実施、圏域連絡会の開催等

□ 府の関係課等との一層の連携強化

□ 地域包括ケアシステムとの連携強化（再掲）

地域包括支援センターやケアマネジャー等への助言や従事者への訪問指導、事例検討会等

9 その他普及支援の取組（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（1）小児リハビリテーション関連施設一覧の作成・発信

目的

京都府域の小児リハビリテーションに関わる病院から訪問看護ステーション等、医療機関から地域への縦のつながり、病院間や事業所間の横のつながりまで幅広く情報共有、連携の一助とする

事業内容

小児リハビリテーションを実施している医療機関、事業所等に資源調査を実施し、情報一覧を作成し関係機関へ周知

掲載内容

【病 院】

病院名・診療所名／住所／電話番号
 病床情報／小児リハビリテーション対応
 小児リハビリテーション対応診療科
 小児リハビリテーション対応窓口／対象疾患・障害
 実施リハビリテーション内容／対象年齢
 主な連携先／その他

【訪問リハビリテーション事業所】

事業所名／住所／電話番号
 対応日・時間／対応区域／職員数
 対象障害／実施リハビリテーション内容／対象年齢
 主な連携先／その他

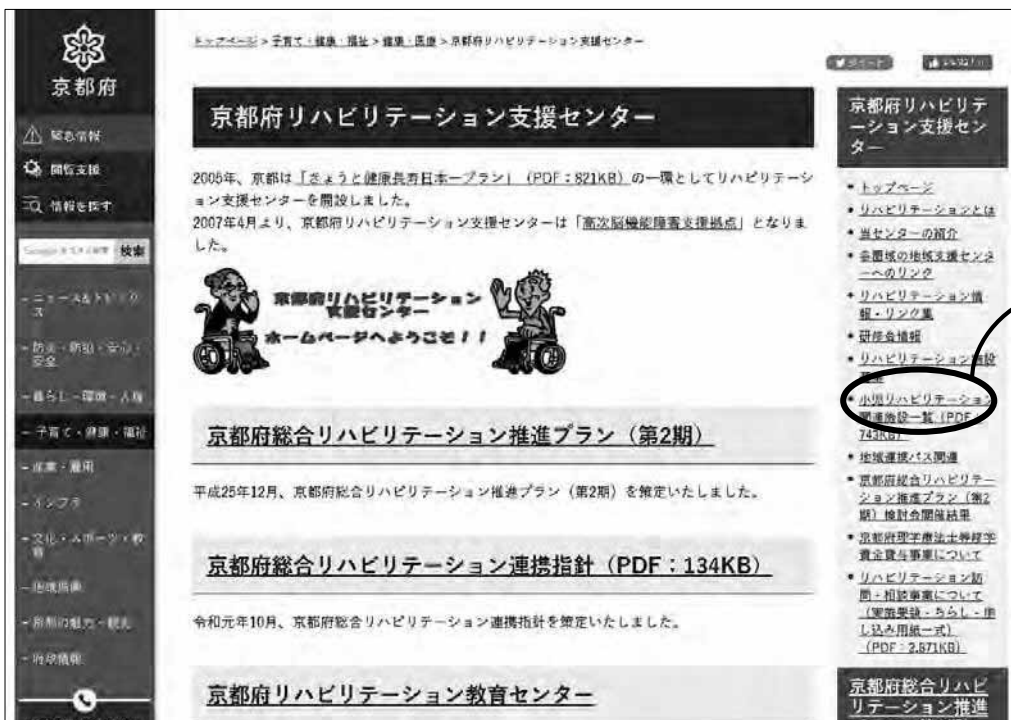
ホームページ掲載数（令和3年度）

*医療機関

周産期医療機関 19施設
 小児医療福祉センター等 4施設
 小児難病等対応医療機関 2施設
 小児リハビリテーション対応医療機関 19施設

*小児訪問リハビリテーション対応事業所 49施設

*小児訪問リハビリテーション未対応事業所 15施設
 （要請に応じて対応）



報・リンク集

- ・研修会情報
- ・リハビリテーション施設基準
- ・小児リハビリテーション関連施設一覧（PDF：743KB）
- ・地域連携パス関連
- ・京都府総合リハビリテーション推進プラン（第2期）検討会開催結果
- ・京都府理学療法士等修学資金貸与事業について
- ・リハビリテーション訪問・相談事業について

ホームページ掲載場所：京都府リハビリテーション支援センターホームページトップページ メニューバー内

9 その他普及支援の取組（府リハビリテーション支援センター活動報告）

（2）府県リハビリテーション支援センター意見交換会

目的

公的・公設機関が都道府県地域リハビリテーション支援センターを担う5つの府県（千葉県・滋賀県・兵庫県・広島県・京都府）が参集し、それぞれの取組状況の共有や地域リハビリテーションをテーマとした意見交換を行う

内容

開催日：① 令和3年4月28日（水） ② 令和3年5月19日（水） ③ 令和3年6月16日（水）
④ 令和3年8月10日（火） ⑤ 令和3年10月6日（水） ⑥ 令和3年12月7日（火）
※開催時間は75分～90分

場 所：オンライン開催（ZOOM会議）であり、各所属より参加

出席者：千葉県リハビリテーション支援センター / 滋賀県立リハビリテーションセンター
兵庫県地域リハビリテーション支援センター / 広島県リハビリテーション支援センター（公立みつぎ総合病院）
京都府リハビリテーション支援センター

概 要：①自己紹介／府県リハビリテーション支援センター事業の企画立案について（府県担当課との調整も含め）
第8回全国介護・終末期リハビリテーション・ケア研究大会 広島2021のポスター発表について
②地域包括ケアシステム構築に向けた地域リハビリテーション体制整備マニュアルについて
JRATの地域組織化の動きについて／「地域リハビリテーション推進のための指針の改定」について
「脳卒中情報システムの整備」について／地域支援事業等へのリハビリテーション専門職の活用促進やリハ専門職派遣窓口について／他機関との会議の開催方法について
③厚生労働省からの地域リハビリテーション指針改定通知や地域リハビリテーション体制整備マニュアルが各都道府県、各市町村等へ配布された後のリハビリテーション支援センターでの取り組みについて／ワクチン接種状況について
④コロナ禍及びアフターコロナでの介護予防に向けたリハビリテーション支援センターの取り組みについて
府県リハビリテーション支援センター、圏域リハビリテーション支援センター、リハビリテーション職能団体などがある中での自分たちの役割の確認
圏域リハビリテーション支援センターとのサポート体制について
⑤コロナの影響に対してのリハビリテーション支援センターの取り組み・仕掛けづくりについて（企画、市町村や三療法士会等との協力も含め）／府県リハビリテーション支援センターとサポートセンターや協力病院施設との関係や今後の制度設計について
⑥圏域リハビリテーション支援センター、各リハビリテーション専門職職能団体などリハビリテーション専門職の関わりが増えている中、行政に対する窓口、役割等の示し方について／リハビリテーション・ケア合同研究大会 兵庫2021の振り返り



10 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

(1) 相談支援事業

相談支援体制

事業

平成19年度より京都府の高次脳機能障害支援拠点として相談窓口を開設
支援コーディネーターを配置し、本人や家族、関係機関からの相談支援および連携・調整等を実施

支援内容

南 部	北 部
配置	
高次脳機能障害支援コーディネーター2名 配置 公認心理師（臨床心理士）：常勤専任1名 公認心理師（臨床心理士）：非常勤専任職員1名	高次脳機能障害支援コーディネーター1名 配置 保健師：非常勤専任職員1名
相談業務	
<u>電話相談</u> 月曜日～金曜日：9:00～12:00 13:00～17:00	<u>電話相談</u> 月曜日・木曜日：9:00～12:00 13:00～17:00
<u>来所相談</u> 木・金曜日：13:00～16:00（予約制）	<u>来所相談</u> 月曜日：13:00～16:00（予約制）
<u>訪問支援</u> ※1（適時）	<u>訪問支援</u> （適時）
<u>同行支援</u> ※2（適時）	<u>同行支援</u> （適時）
<u>ケースカンファレンス</u> ※3（適時）	<u>ケースカンファレンス</u> （適時）
<u>外来リハビリテーション</u> ※4 木曜日	<u>北部高次脳カフェ</u> 10～2月 毎月第3月曜日 13:30～15:00
<u>グループワーク</u> 火曜日：9:30～11:45 （次ページ参照）	<u>グループワーク</u> 火曜日：9:30～11:45（WEB） （次ページ参照）

※1 相談者の利用する施設や会社等の機関に対し、施設環境、本人の状況確認などをおこない、関係機関へ助言等の支援を行う
目的で訪問するもの

※2 相談者が他機関利用の際に、他機関と相談者をスムーズにつなぐ目的でコーディネーターが同行を行うもの

※3 相談者の支援方針などの検討・共有を目的とし、関係機関が集まってカンファレンスを行うもの

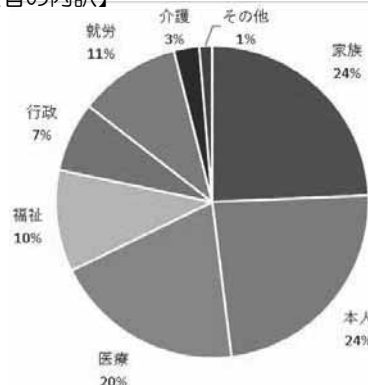
※4 府立医科大学附属病院神経内科と連携し、高次脳外来患者に対して認知機能の評価や相談を行うもの

電話相談・来所相談・訪問相談・外来リハビリ件数

【延べ件数】 令和3年4月～令和4年3月

電話相談	来所相談	受メール・書簡	訪問支援等	外来リハビリテーション
594件 南部455件 北部139件	97件 南部63件 北部34件	117件 南部72件 北部45件	155件 南部120件 北部35件	121件 ※府リハビリテーション 支援センターのみ

【相談者の内訳】



【相談者の居住地（圏域別）】



高次脳機能障害者グループワーク（通称：かもがわグループ）

目的

平成23年度に「高次脳機能障害者支援プラン」を策定し、その中の支援体系づくりの一環として高次脳機能障害者の対人関係スキルや現実検討、障害認識に効果があるとされるグループワークを実施。この中で、社会的能力を「見立てる機能」、ひとりひとりの能力に応じた支援に「つなげる機能」、対人関係能力や社会適応力の獲得を目指す「訓練する機能」、当事者や家族間での交流を支える「安らぐ機能」を提供することを目指す。また、グループワークの実施期間外を利用し、グループワークの機能に加え、ストレスケアに関する技能の獲得、当事者の心のやすらぎの獲得を目的とし、卒業生を加えたグループ参加者間の交流会を実施

内容

グループワーク

対象者 以下の全てに該当する者とする

- 1) 高次脳機能障害と診断され、高次脳機能障害を対象とした医療機関に継続的に受診している者
- 2) 18歳以上40歳程度の者
- 3) 必要な検査を受検しており、その結果、グループに参加することによって効果が見込まれる者
- 4) ADLが自立しており、自力通所可能な者
- 5) 京都府リハビリテーション支援センター長が適当と認めた者

定員 8名

期間 (2クール/年) 令和3年4月～令和3年8月・令和3年10月～令和4年2月

日時 毎週火曜日 9:30～11:45

場所 京都府立文化芸術会館・京都府北部リハビリテーション支援センター（オンライン）

グループワーク交流会

※当事者は当事者、家族は家族それぞれで交流の場をもつ

対象者 当センターグループワークに参加したことのある者とその家族

定員 特に設けていない

実施日 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

プログラム

オリエンテーション	当事者グループ会・家族グループ会	第9回	コミュニケーションスキル②
第1回	ルール作り・グループ教室の看板製作	第10回	コミュニケーションスキル③
第2回	高次脳機能障害について～症状を知る～	第11回	コミュニケーションスキル④
第3回	高次脳機能障害について～対応を考える～	第12回	コミュニケーションスキル⑤
第4回	社会資源を学ぶ	第13回	コミュニケーションスキル⑥
第5回	遂行課題	第14回	コミュニケーションスキル⑦
第6回	散歩(遂行課題・コミュニケーション)	第15回	コミュニケーションスキル⑧
第7回	コミュニケーションとは何か	振り返り	当事者グループ会・家族グループ会
第8回	コミュニケーションスキル①		

9:30	10:00	10:20	11:05	11:10	11:30	11:45
準備 係の確認	プログラムの確認 体調と欠席確認 一週間の出来事報告	学習	休憩	ゲーム・制作等の 集団活動	振り返り ・ 後片付け	

今年度参加者

参加者：前期 5名（新規2名 継続3名）

後期 3名（新規1名 継続2名）（内、北部参加者1名）

10 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

(2) 普及・啓発事業

ア 支援ネットワークの構築（ネットワーク会議・連絡会議等）

目的

高次脳機能障害者へのリハビリテーションや相談支援等を行っている関係者を対象として、高次脳機能障害に関する理解と認識を深めるとともに、京都府各圏域における取組状況の情報交換等を実施し、地域支援体制の構築を図ることを目的とする。また、ネットワーク会議については事例検討会を併せて開催し、高次脳機能障害の診断評価やその後の支援に対する理解を深めることで、各機関の連携強化や対応技術の向上など、支援の一層の充実を図ることを目的としている。なお、今年度は、各圏域の地域リハビリテーション支援センターと協働して開催し、地域との連携を深めた。

対象

高次脳機能障害者に関わる医療機関従事者、福祉、介護、行政関係者等

(ア) 京都府ネットワーク会議（事例検討会）

テーマ：「つながり広げる高次脳機能障害支援」

日 時：令和4年1月24日（月）13：30～15：30

場 所：Zoomミーティングによるオンライン開催（事例検討会はブレイクアウトルームを利用）

参加者：49名（事務局込 58名）

事例検討会 「つながり広げる高次脳機能障害支援」

① 概要

事例1：半側空間無視のある当事者の復職（丹後・中丹グループ）

事例2：家庭環境の変化により、自立を必要とする当事者の社会参加（南丹・京都市グループ）

事例3：受傷から長期間が経過しているが病識がない当事者の就労（乙訓・山城グループ）

② 意見交換・発表

丹 後：移動支援サービスなど地域毎の支援も存在するので、地域で出来ることを考えていく必要がある

中 丹：就労は障害者就業・生活支援センターが中心となって調整を行うが、医療と連携をしながら、できるだけカンファレンス等に参加して見通しを持って支援していくことが大切

南 丹：関係機関が共通認識を持った上で支援をしていく必要がある。圏域内で情報交換できる機会が欲しい

京都市：障害者就業・生活支援センターを軸とし、社会との接点を維持していくことが必要

山城北：支援の入り口の段階で様々な支援者が集まって検討することで展開が広がりやすい
サービスを一本化しないようタイミングを見て必要なサービスを入れるのが望ましい

乙訓・山城南：病識の欠如が社会的トラブルに繋がるため、障害理解を目的に訓練を行うことがよい
高次脳機能障害に特化した回復期・訓練施設があるとよい

(イ) 京都市域ネットワーク会議（京都市共催事業）

日 時：令和3年10月29日（金）13：30～16：30

場 所：Zoomミーティング

参加者：50名（事務局込 62名）

1 講演

『医療から地域へ～神奈川リハビリテーション病院の取組から～』

神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部長 医師 青木 重陽

2 質疑応答（対談形式）

進行：光華女子大学健康科学部医療福祉学科言語聴覚専攻教授

京都市高次脳機能障害者支援センター嘱託医 医師 上田 敬太

3 グループ交流

（自己紹介、職場紹介、講演の感想、高次脳機能障害に関する困り事などについてグループに分かれて交流）

4 京都府・京都市事業紹介

保健福祉局 地域リハビリテーション推進センター相談課
高次脳機能障害支援係長 高木 幹男

京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター
高次脳機能障害支援コーディネーター 宮崎 陽子

(ウ) 令和3年度高次脳機能障害支援普及事業府市情報交換会(京都市共催事業)

日 時：令和3年6月11日(金)
場 所：京都市リハビリテーション推進センター
参加者：京都府リハビリテーション支援センター 3名 / 京都市高次脳機能障害支援センター 5名

相互の事業および事業計画の共有を行った

イ 北部高次脳力フェ

目的

平成30年の京都府北部リハビリテーション支援センター開設に伴い、高次脳機能障害相談窓口を開設した。それまで高次脳機能障害を体系的に学習できる場はなく、主に京都府北部に在住する高次脳機能障害を持つ当事者やその家族に向けて、学習会によって障害理解を促すとともに、当事者間、家族間の交流によって、課題や対応方法を共有し、よりよい社会生活につなげていくことを目的とする

内容

対象者

- 1) 高次脳機能障害の当事者
- 2) 高次脳機能障害者の家族
- 3) 高次脳機能障害者支援に携わる支援者

定 員 10名(事前申込制)

…新型コロナウイルス感染症予防のため中止

ウ 講習会等参加協力

脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会
●講習会実行委員会 ●事務局 ●講習会開催協力

テーマ	会場	参加者数
第25回脳外傷・高次脳機能障害 リハビリテーション講習会	Zoomミーティング	135名

【第一部：講演】

高次脳機能障害 これからの社会に望むこと
特定医療法人 茜会 昭和病院長 佐柳 進

【第二部：活動報告】

「北海道における高次脳機能障害支援
～脳損傷友の会コロポックルの取り組み～」
脳損傷友の会コロポックル 役員 内田 由貴子

【第三部：家族会紹介】

- 家族会 もっと笑顔
- 中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」
- 高次脳機能障害家族会 里やま
- 乙訓高次脳機能障害サポート研究会(市民団体)
- 高次脳機能障害 当事者会アンサーズ

令和2年度はコロナ禍で開催できなかったが、令和3年度はWEBでの開催を模索、開催することができた。
長時間の研修会ではあったが、当事者・家族をはじめ多くの
方々に視聴していただくことができた。

このチラシは高次脳機能障害者「野村健」さんがデザインしたものです

10 高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業

(3) 研修事業等

ア 医療関係者等研修会

目的

高次脳機能障害者支援に従事する医療、福祉、教育関係者などの関係機関に対し、高次脳機能障害やその診断に必要な検査に対する理解を深めることで、医療と福祉、教育の連携強化や対応技術の向上など、支援の一層の充実を図る

対象

高次脳機能障害者の支援に関わる医療機関従事者、福祉施設関係者、教育関係者等

テーマ：令和3年度 京都府高次脳機能障害 医療関係者等研修会

「WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害」

日時：令和3年8月21日（土） 13:30～15:00

方法：Zoomウェビナー

参加者：70名（事務局込 78名）

1. 開会挨拶

京都府健康福祉部障害者支援課長 鎌部 正信（ビデオ）

2 講演 1

「WAIS-IV概論 ～WAIS-IVと脳機能との関係～」

花園大学 社会福祉学部臨床心理学科 教授 小海 宏之



3 講演 2

「WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害 ～実際の事例を元に～」

京都府心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院
公認心理師 村友 仁志



令和3年度
京都府高次脳機能障害
医療関係者等研修会
～WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害～

日時	実施	参加費
2021年 8月21日(土) 13:30～15:00	Zoom ウェビナー Online	無料 ※事前申込要

講演1
「WAIS-IV概論～脳の働きはWAIS-IVにどのように反映されるか～」
花園大学 社会福祉学部 臨床心理学科 教授 小海 宏之 氏

講演2
「WAIS-IVから見立てる高次脳機能障害～実際の事例を元に～」
京都府立心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院
公認心理師 村友 仁志 氏

お問い合わせ先
京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター
TEL:075-251-5399
(受付時間:月～金 9:00～17:00)
京都府健康福祉部障害者支援課
TEL:075-414-4606

申込方法は
裏面を参照!

【感想】

- とても分かりやすい講演ありがとうございました。
- 柳生先生が過去に主治医でした。あの同時、すぐに再発すると思っており、治してくれたらいい。晩期は、その時考えると 答えました今でも悩みはありますが、生きていて側に居れば、いいか。結局、その答えです。でも、私達親子も もう一つ山を越える時期を感じます。脳卒中認定看護師、家族として、とても勉強になりました。感謝します。
- 現在7歳（小2）の子供が4歳時に脳腫瘍（胚細胞腫瘍）が分かり治療し、2年がたち、今は元気に小学校に通っています。小児がんというピンポイントでの講演を聞かせてもらう機会がなく、これからの子育て、成長とともにこれからぶち当たる可能性のある困難などについて再認識でき、とても良いお話を聞くことができました。このような機会をご提供いただき、本当にありがとうございました。
- 当事者の家族であり、同時にMSWとして病院で勤務している私にとって、贅沢な時間でした。

イ 事例検討会

目的

高次脳機能障害者支援に従事する医療、福祉、教育関係者などの関係機関に対し、高次脳機能障害やその診断に必要な検査に対する理解を深めることで、医療と福祉、教育の連携強化や対応技術の向上など、支援の一層の充実を図る

対象

高次脳機能障害者の支援に関わる医療機関従事者、福祉施設関係者、教育関係者等

※ネットワーク会議と並行で実施 「ア 支援ネットワークの構築（ネットワーク会議・連絡会議等）」参照

ウ 高次脳機能障害の当事者と家族の集い

目的

脳損傷を受けた当事者及びその家族、または当事者支援に携わる支援者を対象に、高次脳機能障害についての正しい理解と、自分たちに使える社会資源について学び、受傷後の社会生活の過ごし方を学ぶとともに、当事者同士・家族間の交流を図る

対象

脳損傷を受けた当事者及びその家族、または当事者支援に携わる支援者

（ア）南部開催 （イ）北部開催

…新型コロナウイルス感染症予防のため中止

エ 失語症交流会

目的

失語症者及びその家族を対象に同じ障害をもった方々との交流を深めること、また活用できる社会資源を案内し日常生活に生かすことができることを目的に開催する

対象

失語症者及びその家族、並びに関係者（交流会は当事者、家族のみ）

（ア）南部開催 （イ）北部開催

…新型コロナウイルス感染症予防のため中止

11 ホームページ・リーフレット（府リハビリテーション支援センター活動報告）

ホームページについて

平成17年度の京都府リハビリテーション支援センターの開設から、随時更新して運営している。当センター事業内容や施設基準届出病院一覧、回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関一覧など京都府内の地域リハビリテーションに関わる情報提供・共有、各種研修会情報を中心に掲載している。

また、サイト内には、京都府の高次脳機能障害支援拠点になった平成19年度4月から「高次脳機能障害支援普及事業」の啓発の一環として、事業に関連する様々な情報について活動や事業についても掲載するとともに平成25年7月に開設した「京都府リハビリテーション教育センター」の情報についても掲載している。

ホームページアドレス <http://www.pref.kyoto.jp/rehabili/>（キーワード検索も可能）



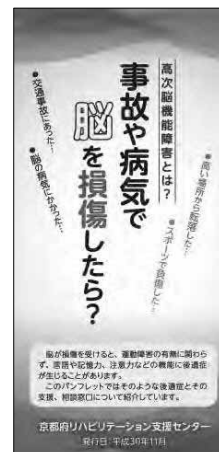
トップページ画面



ホームページメニュー

リーフレットについて

- ・京都府総合リハビリテーション連携指針を掲載した「京都府リハビリテーション支援センターリーフレット」（従事者向け 令和元年12月発刊）
- ・高次脳機能障害支援普及事業では「高次脳機能障害者の理解と支援のために」「事故や病気で脳を損傷したら」（支援者、当事者・家族向け）
- ・いずれもホームページからダウンロードが可能



(令和元年12月第1版 A4 12ページ)

(平成30年12月第6版 A4 12ページ)

(平成30年11月第3版 A4三つ折り)

12 京都府のリハビリテーション資源

(1) リハビリテーション施設基準届出 (地域別)

令和4年4月現在

		病院名	リハビリテーション施設基準					地連計	脳卒中
			脳血管	運動器	呼吸器	心血管	その他		
丹後	1	公益財団法人 丹後中央病院	I	I	I		回復3／がんリハ/認ケア		
	2	京都府立医科大学附属病院北部医療センター	II	I		I	認ケア		
	3	京丹後市立弥栄病院	I	I			認ケア		
	4	京丹後市立久美浜病院	II	I			認ケア		
	5	特定医療法人三青園 丹後ふるさと病院	II	I			認ケア		
	6	宮津武田病院	III	III	II		認ケア		
中丹東	7	舞鶴赤十字病院	I	I	I		回復1／認ケア		
	8	公益社団法人京都保健会 京都協立病院	I	I	I		回復2／認ケア		
	9	綾部ルネス病院	II	I	II		認ケア		
	10	舞鶴医療センター		I	I		がんリハ/認ケア		超急性期 脳卒中ケア
	11	綾部市立病院	I	I	I		がんリハ/認ケア		
	12	市立舞鶴市民病院	II	I	I		認ケア		
	13	舞鶴共済病院	III	I	I	I	がんリハ/認ケア		
	14	岸本病院	III	I					
	15	京都府立舞鶴こども療育センター		I			障害		
中丹西	16	市立福知山市市民病院	I	I	I	I	回復1／がんリハ/認ケア		超急性期
	17	医療法人福富士会 京都ルネス病院	I	I	I		回復3／認ケア/がんリハ		
	18	医療法人静寿会 渡辺病院	III	II			認ケア		
	19	医療法人翠生会 松本病院	III	III					
	20	市立福知山市市民病院大江分院	II	II	I		認ケア		
南丹	21	京都中部総合医療センター	I	I	I	I	回復1／がんリハ/認ケア	地連計	超急性期
	22	医療法人清仁会 亀岡シミズ病院	I	I	I		認ケア		
	23	明治国際医療大学附属病院	II	I		I	認ケア		
	24	医療法人 亀岡病院	II	I	I	I	認ケア		
	25	亀岡市立病院	II	I			認ケア		
	26	医療法人社団董会 園部病院	II	I	II				
	27	国保京丹波町病院	III	III					
	28	花ノ木医療福祉センター		III			障害		
京都市	北区	29 京都博愛会病院	I	I	I		回復1／がんリハ/認ケア		
		30 聖ヨゼフ医療福祉センター	I	II			障害		
		31 富田病院	I	I		I	認ケア		
		32 京都鞍馬口医療センター	I	I	I		がんリハ/認ケア		
		33 医療法人浜田会 洛北病院	III	II			認ケア		
		34 社会福祉法人 京都社会事業財団 京都からすま病院	II	I			回復3/認ケア		
		35 医療法人財団康生会 北山武田病院		III	II		認ケア		
	上京区	36 京都府立医科大学附属病院	I	I	I	I	がんリハ		超急性期 脳卒中ケア
		37 京都第二赤十字病院	I	I	I	I	がんリハ	地連計	超急性期 脳卒中ケア
		38 西陣病院	I	I	I		がんリハ/認ケア		
		39 社会医療法人西陣健康会 堀川病院	II	I			認ケア		
		40 医療法人 相馬病院	III	I	I		認ケア	地連計	
		41 医療法人愛寿会 同仁病院	III	II			認ケア		
		42 医療法人幸正会 室町病院		II			認ケア		

		病院名	リハビリテーション施設基準					脳卒中
			脳血管	運動器	呼吸器	心血管	その他	
京都市	左京区	43 京都大学医学部附属病院	I	I	I	I	がんリハ/精	超急性期
		44 公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院	I	I	I		回復1/認ケア	
		45 医療法人社団行陵会 京都大原記念病院	I	I	I		回復1/認ケア	
		46 医療法人一仁会脳神経リハビリ北大路病院	I	I			回復1	
		47 日本パプテスト病院	I	I	I			
		48 医療法人社団行陵会 京都近衛リハビリテーション病院	I	I			回復1	
		49 医療法人寿尚会 洛陽病院	II	I	I			
		50 京都下鴨病院		I				
		51 医療法人社団貴順会 吉川病院		III			認ケア	
	中京区	52 京都市立病院	I	I	I	I	がんリハ/認ケア	超急性期
		53 がくさい病院	I	I			がんリハ/回復1	
		54 医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	II	I	I	I	がんリハ/認ケア	
		55 京都通信病院	III	I			認ケア	地連計
		56 医療法人西大路病院		III				
	東山区	57 京都第一赤十字病院	I	I	I	I	がんリハ/認ケア	地連計 超急性期
		58 医療法人社団 育生会 京都久野病院	I	I	I		回復3/認ケア	地連計
		59 医療法人 原田病院	III	III	II			
	山科区	60 一般社団法人 愛生会山科病院	II	I	I		がんリハ/認ケア	
		61 医療法人社団洛和会 洛和会音羽リハビリテーション病院	I	I	I		回復1/がんリハ/認ケア	
		62 医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	I	I	I	I	認リハ/認ケア/がんリハ	超急性期 脳卒中中77
		63 洛和会音羽記念病院	II	I	I		認ケア	
		64 医療法人新生十全会 京都東山老年サナトリウム	I	I			認ケア	
		65 医療法人社団 なぎ辻病院					認ケア	
		66 加藤山科病院					認ケア	
		67 医療法人健康会 総合病院京都南病院	I	I	I		認ケア	
	下京区	68 医療法人財団 康生会 武田病院	I	I	I	I	認ケア	地連計 超急性期 脳卒中中77
		69 京都回生病院	I	I			認ケア	地連計
		70 医療法人社団 恵心会 京都武田病院	I	I			回復1/認ケア	地連計
		71 医療法人愛友会 明石病院	II	I	I		認ケア	
		72 新京都南病院	III	I	I		認ケア	
		73 しまばら病院				I		
		74 医療法人同仁会 京都九条病院	I	I	I	I		超急性期
	南区	75 十条武田リハビリテーション病院	I	I	I		回復1/認ケア	
		76 公益社団法人京都保健会 吉祥院病院	III	II			認ケア	
		77 医療法人社団洛和会 洛和会東寺南病院	III	II	I		認ケア	
		78 独立行政法人国立病院機構 宇多野病院	I	I	I		障/回復2/認ケア	
	右京区	79 医療法人社団京健会 西京病院					認ケア	
		80 医療法人社団 高雄病院	III	I	I			
		81 一般社団法人 仁風会 嵯峨野病院	III	II			認ケア	
		82 京都市立京北病院	III	II	II		認ケア	
		83 医療法人 河端病院		I				
		84 医療法人社団松仁会 内田病院	III	II	I			
		85 社会医療法人 太秦病院	II	I	II		認ケア	
		86 医療法人新生十全会 京都ならびおか病院	III				認ケア	
		87 公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院	I	I	I	I	回復1/がんリハ/認ケア	

		病院名	リハビリテーション施設基準						脳卒中
			脳血管	運動器	呼吸器	心血管	その他	地連計	
京都市	伏見区	88 京都医療センター	I	I	I	I	がんリハ/認ケア	地連計	超急性期
		89 医療法人医仁会 武田総合病院	I	I	I	I	回復1/がんリハ/認ケア	地連計	超急性期 脳卒中中ケア
		90 蘇生会総合病院	I	I	I	I	回復1/がんリハ		
		91 医療法人社団 淀さんせん会 金井病院	I	I	II				
		92 社会医療法人弘仁会 大島病院	I	I	II		認ケア		
		93 医療法人清水会 京都リハビリテーション病院	I	I			認ケア/回復1		
		94 一般財団法人仁風会 京都南西病院	I	I			認ケア		
		95 医療法人 松寿会 共和病院	II	I					
		96 社会福祉法人浩照会 伏見桃山総合病院	II	I	I		認ケア		
		97 社会医療法人岡本病院（財団）伏見岡本病院	I	I			認ケア		
		98 松ヶ崎記念病院 松ヶ崎記念病院 松ヶ崎記念病院介護医療院							
		99 特定医療法人 桃仁会病院	III	III	II				
	西京区	100 医療法人新生十全会なごみの里病院	III	III					
		101 医療法人財団 医道会 稲荷山武田病院		III			認ケア		
		102 医療法人健幸会 むかいじま病院	II	I	I		がんリハ		
		103 社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	I	I	I	I	がんリハ/認ケア	地連計	超急性期
		104 医療法人清仁会 シミズ病院	I	I	I				超急性期 脳卒中中ケア
		105 医療法人清仁会 洛西シミズ病院	I	I	I		回復1/がんリハ	地連計	
乙訓		106 医療法人弘正会 西京都病院	I	I	I				
		107 医療法人清仁会 洛西ニュータウン病院	II	I	I	I	認ケア		
		108 三菱京都病院		I	I	I	がんリハ/認ケア		
		109 社会福祉法人恩賜財団 済生会京都府病院	I	I	I	I	がんリハ/認ケア		超急性期
		110 医療法人社団千春会 千春会病院	I	I	I		認ケア		
山城北		111 医療法人真生会向日回生病院	I	I			認ケア		
		112 長岡京病院	I	I	I		認ケア		
		113 医療法人医修会 新河端病院	II	I			認ケア		
		114 医療法人社団石鋸会 京都田辺中央病院	I	I	I	I	がんリハ/認ケア		超急性期
		115 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	I	I	I	I	回復1/がんリハ/認ケア	地連計	超急性期
		116 宇治武田病院	I	I	I		がんリハ/認ケア		
		117 社会医療法人美杉会 男山病院	I	I	I		回復1/がんリハ/認ケア		
		118 社会福祉法人あじろぎ会宇治病院	I	I	I		認ケア		
		119 医療法人社団石鋸会 京都田辺記念病院	I	I	I		回復1/認ケア		
		120 京都府立心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院	I	I	I		認ケア/障		
		121 医療法人社団医聖会 八幡中央病院	I	I	I		がんリハ/認ケア		
		122 医療法人啓信会 京都きつ川病院	I	I	I	I	回復1/がんリハ/認ケア		超急性期 脳卒中中ケア
		123 京都岡本記念病院	I	I	I	I	回復1/がんリハ/認ケア	地連計	超急性期 脳卒中中ケア
		124 医療法人芳松会 田辺病院	II	I	I				
		125 医療法人社団医聖会 京都八幡病院	II	I	I		認ケア		
		126 医療法人晴風園 ほうゆうリハビリテーション病院	I	I	I		回復1/認ケア		
		127 医療法人ハニ会 久御山南病院	III	II	I		認ケア		
		128 京都府立心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院	II	I					
		129 医療法人和松会 六地藏総合病院	I	I			回復2/認ケア		
		130 医療法人栄仁会 宇治おうばく病院	II	I	I		認リハ		
山城南		131 医療法人仁心会 宇治川病院	II	I	I	II	認ケア		
		132 医療法人長安会 中村病院					認ケア		
		133 社会医療法人 みのやま病院	II	I	I		認ケア		
		134 医療法人社団一心会 都倉病院		III	II				
		135 医療法人石鋸会 同志社山手病院	II	II			認ケア		
		136 京都山城総合医療センター	I	I	I	I	がんリハ/認ケア	地連計	
		137 医療法人社団医聖会 学研都市病院	I	I	II		回復3		
		138 精華町国民健康保険病院	II	I			認ケア		

12 京都府のリハビリテーション資源

(2) リハビリテーション関連組織・施設

名 称	所在地/連絡先			
一般社団法人 京都府医師会	電話	075-354-6101 (代)	FAX	075-354-6074
	住所	〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町 6		
	URL	http://www.kyoto.med.or.jp/		
一般社団法人 京都私立病院協会	電話	075-354-8838(代)	FAX	075-354-8802
	住所	〒600-8411 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON烏丸 8 階		
	URL	http://www.khosp.or.jp/		
一般社団法人 京都府病院協会	電話	075-354-6072	FAX	075-354-6074
	住所	〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町 6 京都府医師会内 6 階		
	URL	http://www.fubyokyo.kyoto.med.or.jp/		
公益社団法人 京都府看護協会	電話	075-723-7195 (代)	FAX	075-723-7272
	住所	〒606-8111 京都市左京区高野泉町40-5		
	URL	http://www.kyokango.or.jp/		
一般社団法人 京都府理学療法士会	電話	075-741-6017	FAX	075-741-6018
	住所	〒606-8395	E-mail	kpta.jimu@gmail.com
	URL	京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町29-7 ラッジングハウス蘭V2階 http://www.kpta.jp/		
一般社団法人 京都府作業療法士会	電話	075-754-6601	FAX	075-754-6602
	住所	〒600-8855	E-mail	jimu@kyoto-ot.com
	URL	京都市下京区梅小路石橋町 5 アヴェニールK105 京都府作業療法士会事務局 http://kyoto-ot.jimdo.com/		
一般社団法人 京都府言語聴覚士会	電話	075-823-1650(代表)	FAX	075-842-1545
	住所	〒604-8854	E-mail	kyotost@nifty.com
	URL	京都市中京区壬生仙念町30 京都市地域リハビリテーション推進センター内 京都府言語聴覚士会事務局 http://www.rst.kyoto.jp/		
京都府リハビリテーション三療法士会協議会	電話	075-741-6017	FAX	075-741-6018
	住所	〒606-8395	E-mail	pos.homonriha@gmail.com
	URL	京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町29-7 ラッジングハウス蘭V2階 京都府理学療法士会事務局内 京都府リハビリテーション三療法士会協議会事務局		
公益社団法人 京都府介護支援専門員会	電話	075-254-3970	FAX	075-254-3971
	住所	〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都) 7 F		
	URL	http://www.kyotocm.jp/		
一般社団法人 京都府介護老人保健施設協会	電話	075-813-1545	FAX	075-813-1546
	住所	〒604-8802 京都市中京区神泉苑通三条下る今新在家町88番地1 アビヨン21 409号室		
	URL	http://www.kyoto-roken.jp/		
一般社団法人 京都府老人福祉施設協議会	電話	075-251-6510	E-mail	furoukyo@mpd.biglobe.ne.jp
	住所	〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入清水町375 ハートピア京都(京都府立総合社会福祉会館) 8 F		
	URL	http://furoukyou.gr.jp/		
一般社団法人 京都市老人福祉施設協議会	電話	075-354-8743	FAX	075-343-6270
	住所	〒600-8127	E-mail	jimukyoku@kyoto-shiroukyo.jp
	URL	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 (河原町五条下る東側) ひとまち交流会館京都 4 F http://kyoto-srk.jp/		

名 称	所在地/連絡先			
	電話	075-252-6291 (代)	FAX	—
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会	住所	〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375 ハートピア京都（京都府立総合社会福祉会館内）5 F		
	URL	http://www.kyoshakyo.or.jp/		
	電話	075-354-8731	FAX	075-354-8736
社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	住所	〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1 ひと・まち交流館京都内		
	URL	http://www.syakyo-kyoto.net/		
	電話	075-822-3562 (代表)	FAX	075-822-3574
京都地域包括ケア推進機構	住所	〒604-8418	E-mail	info@kyoto-houkatucare.org
	URL	http://kyoto-houkatucare.org/		
	住所	京都市中京区西ノ京東柵尾町6番地 京都府医師会館703		
京都府障害者更生施設協議会	電話	0771-62-3363 ※こひつじの苑の法人事務所に繋がります	FAX	0771-63-0689
	住所	〒622-0051 京都府南丹市園部町横田前11番地（障害者支援施設こひつじの苑 内）		
	URL	—		
社会福祉法人 京都府社会福祉事業団 京都府立心身障害者福祉センター	電話	0774-54-1400 (代)	FAX	0774-54-3616
	住所	〒610-0113 京都府城陽市中芦原		
	URL	http://ksj.or.jp/fa01shin/		
社会福祉法人 京都府社会福祉事業団 附属リハビリテーション病院	電話	0774-54-1401 (病院直通)	FAX	0774-54-3616
	住所	〒610-0113 京都府城陽市中芦原		
	URL	http://ksj.or.jp/fa08hosp/		
社会福祉法人 京都府社会福祉事業団 京都府立こども発達支援センター （すてっぷセンター）	電話	0774-64-6141	FAX	0774-64-6151
	住所	〒610-0331 京都府京田辺市田辺茂ヶ谷186-1		
	URL	http://ksj.or.jp/fa06kodo/		
国家公務員共済組合連合会 京都府立舞鶴こども療育センター 医療型障害児入所施設	電話	0773-63-4865	FAX	0773-63-4867
	住所	〒625-0052	E-mail	inquiry@maizuru-ryouiku.jp
	URL	http://maizuru-ryouiku.jp/		
京都市地域リハビリテーション推進センター	電話	075-823-1650 (代)	FAX	075-842-1545/1541
	住所	〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地		
	URL	http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/44-10-0-0-0-0-0-0-0.html		
京都市 子ども若者はぐみ局 子ども若者未来部 児童福祉センター	電話	075-801-2929	FAX	075-822-4175
	住所	〒602-0067 京都市上京区竹屋町通千本東入主税町910-25		
	URL	http://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000023908.html		
京都市 第二児童福祉センター	電話	075-612-2727	FAX	075-612-2888
	住所	〒612-8434 京都市伏見区深草加賀屋敷町24番地の26		
	URL	http://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/page/0000123002.html		
視覚障害者総合福祉施設 社会福祉法人 京都ライトハウス	電話	075-462-4400	FAX	075-462-4402
	住所	〒603-8302	E-mail	info@kyoto-lighthouse.or.jp
	URL	http://www.kyoto-lighthouse.or.jp/		
社会福祉法人 京都聴覚言語障害者福祉協会	電話	0774-30-9003	FAX	0774-55-7708
	住所	〒610-0121 京都府城陽市寺田林ノ口11番地64		
	URL	http://www.kyoto-chogen.or.jp/		

13 普及・啓発事業（講師派遣等）

開催日	講習・会議・学会名 / 講演派遣者名及び講演題目
令和3年5月9日	京都府リハビリテーション地域人材養成・派遣支援事業 フォローアップ研修 講師 「京都府リハビリテーション地域人材養成派遣支援事業の状況と今後に向けての視点」 主査 山元 顕太
令和3年7月18日	京都府リハビリテーション地域人材養成・派遣支援事業 ベーシック研修 講師 主査 山元 顕太
令和3年9月11日	第8回 全国介護・終末期リハ・ケア研究大会 広島2021 京都府における地域包括ケアシステム構築と終末期を含めた取り組みについて 副主査 山原 千里
令和3年10月14日	京都府リハビリテーション医学教室 「京都府・市でリハビリテーション診療に役立つ施設・サービス」 副主査 宮崎 陽子
令和3年11月6日	京都府リハビリテーション教育センター2021年度研修会 実践セミナー 講師 基礎8「失語症／高次脳機能障害」 センター長 近藤 正樹
令和3年11月14日	第25回京都地域リハビリテーション研究会 「京都府における高次脳機能障害・失語症に対する取り組み」 副主査 宮崎 陽子
令和3年11月20日	京都府リハビリテーション医学教室 「京都府・市でリハビリテーション診療に役立つ施設・サービス」 副主査 宮崎 陽子
令和3年12月4日	第3かめおか作業所 施設内研修「高次脳機能障害」 講師 副主査 宮崎 陽子
令和4年1月13日	京都府リハビリテーション教育センター2021年度研修会 実践セミナー 講師 基礎8「失語症／高次脳機能障害」 センター長 近藤 正樹
令和4年2月6日	京都リハビリテーション医学会 会誌 第8巻 「高次脳機能障害と失語症の理解のために」 センター長 近藤 正樹
令和4年2月16日	京都府北部在宅リハビリ研修会 講演 「京都府北部における訪問リハビリテーションに関するケアマネ調査の結果について」 主査 山元 顕太

14 研修資料

令和3年度京都府総合リハビリテーション充実事業研修会資料

令和3年度に当センター主催で開催した研修会資料の一部を掲載しております。

※本誌内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

1. 第7回きょうと地域リハビリテーションフォーラム

「新型コロナウイルス感染症とリハビリテーション診療」

京都府立医科大学リハビリテーション医学教室

集学的身体活動賦活法開発講座 准教授 沢田 光忠郎

2. 京都府小児リハビリテーション従事者研修会

「摂食嚥下障害のある医療的ケア児の在宅支援 ～歯科の立場からリハビリテーションに期待すること～」

一般社団法人京都府歯科医師会地域保健部

医療法人純康会徳地歯科 理事・副院長

京滋摂食嚥下を考える会 代表世話人 和田 智仁

3. 高次脳機能障害医療関係者向研修会

「WAIS-IV概論 ～WAIS-IVと脳機能との関係～」

花園大学 社会福祉学部臨床心理学科 教授 小海 宏之

第7回 きょうと地域リハビリテーションフォーラム

新型コロナウイルスと リハビリテーション診療

ーコロナがもたらしたものー

京都府立医科大学リハビリテーション医学教室
リハビリテーション科専門医・指導医 沢田光思郎

2022年2月21日(金)

教員

京都府立医科大学
リハビリテーション医学教室

教育機関：大学

医療機関：附属病院

京都府立医科大学附属病院
リハビリテーション科

医師

入院 リハビリテーション科入院患者
他診療科患者
外来 外来患者



リハビリテーション科専門医の養成



生活に関わる機能をワンストップで診療

リハビリテーション科専門医の養成



関連専門職の業務内容も経験

京都府立医科大学

リハビリテーション科専門研修プログラム

2017年度 2名
2018年度 2名 ◀専門医機構専門研修プログラム開始
2020年度 4名+2名(他診療科)
2021年度 2名
2022年度 5名

二次医療圏	研修医 数	研修 シフト	人口 10万 人	認定 研修医 数	研修 シフト	人口 10万 人	認定 研修医 数
全国	139,285	140	15,711	2,736	22	19,511	865
京都府	3,017	2.2%	148	54	2.4%	5.8	85
丹波	108	4%	108	20	1%	1.2	42
丹波	231	8%	118	51	8%	4.3	85
丹波	113	4%	82	15	5%	3.4	85
京都・乙訓	1,973	6.9%	223	52	6%	4.1	23
山崎北	920	18%	221	22	12%	2.7	34
山崎南	84	2%	10	40	7%	7.7	87



新型コロナウイルス感染症

- (1) 直接的影響：感染者の現状と対応
- (2) 間接的影響：非感染者の現状と対応
- (3) リハビリテーション現場での課題

用語の整理

- COVID-19
新型コロナウイルス感染症の正式名称
- SARS-CoV-2
ウイルス名
- post-COVID-19 condition
COVID-19発症後3か月の時点で少なくとも2か月以上持続する症状で、他の診断では説明がつかないもの（WHO, 2021年10月）
Long COVID, post acute COVID-19 syndrome, Long-haul COVID etc.

重症肺炎の2分類



重症度	酸素飽和度	臨床状態	診療のポイント
軽症	$SpO_2 \geq 96\%$	呼吸器症状なし or 咳のみで呼吸困難なし いずれの場合であっても肺炎所見を認めない	・多くが自然軽快するが、急速に病状が進行することもある ・リスク因子のある患者は入院の対象となる
中等症Ⅰ 呼吸不全なし	$93\% < SpO_2 < 96\%$	呼吸困難、肺炎所見	・入院の上で慎重に観察 ・低酸素血症があっても呼吸困難を訴えないことがある ・患者の不安に対処することも重要
中等症Ⅱ 呼吸不全あり	$SpO_2 \leq 93\%$	酸素投与が必要	・呼吸不全の原因を推定 ・高度な医療を行える施設へ転院を検討
重症		ICUに入室 or 人工呼吸器が必要	・人工呼吸器管理に基づく重症肺炎の2分類（L型、H型） ・L型：肺はやわらかく、換気量が増加 ・H型：肺水腫で、ECMOの導入を検討 ・L型からH型への移行は判定が困難

<https://www.mhlw.go.jp/content/000815065.pdf>

腹臥位療法

ECMOチーム等養成研修事業（厚生労働省ほか）



人工呼吸器関連肺傷害（VALI）を回避する手段の一つ



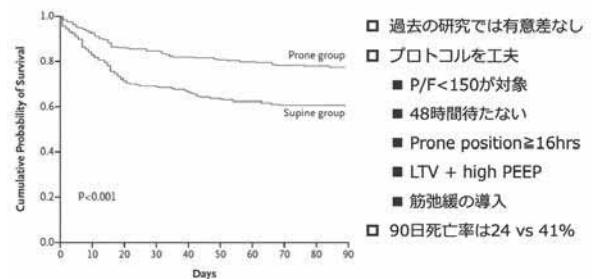
換気が均一化され肺傷害を回避

その結果として酸素も改善

<https://www.mhlw.go.jp/content/000755780.pdf>

腹臥位療法

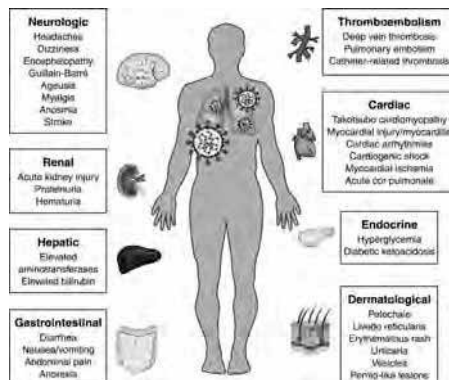
ECMOチーム等養成研修事業（厚生労働省ほか）



重症・早期・長時間・肺保護換気

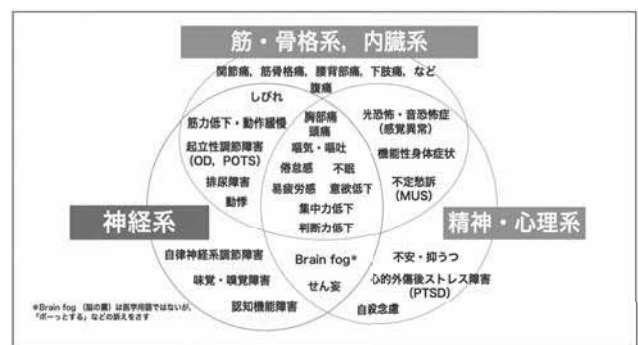
Guerin C. NEJM 2013; 368: 2159
<https://www.mhlw.go.jp/content/000755780.pdf>

新型コロナウイルス感染症は多臓器疾患



Gupta A, et al. Nat Med. 2020

精神・神経症状



*Brain fog（脳の霧）は医学用語ではないが、「ぼーっとする」などの表現をさす

注）ここにあげられたもの以外の症状もあり得る。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000860932.pdf>

Brain fog

- 認知機能障害
- 新型コロナウイルス感染症流行前からあった言葉
- 思考力・集中力の低下, 精神疲労, 不安, 遂行機能障害 など
- 16～30歳の感染者の11%で認知機能障害

ノルウェー, Nat Med.2021

相談先

【広報資料】（お知らせ）「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」の設置について

ページ番号291793

デジタルサイトへのリンクは新ウィンドウで開きます。 更新日時 2021年11月18日

■「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」の設置について

京都市では、新型コロナウイルス感染症の相談窓口について、府市協働の下、「きょうと新型コロナ医療相談センター」を共同設置しております。

今回、新たに、新型コロナウイルス感染症の後遺症の専用相談窓口として、下記のとおり、「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」を府市共同で設置することとしましたので、お知らせします。

※1 専用相談窓口「きょうと新型コロナ後遺症相談ダイヤル」について

(1) 開設日時

令和3年11月19日（金曜日）15時～

（※）年中無休24時間対応

(2) 電話番号

075-414-5338（2回線）

(3) その他

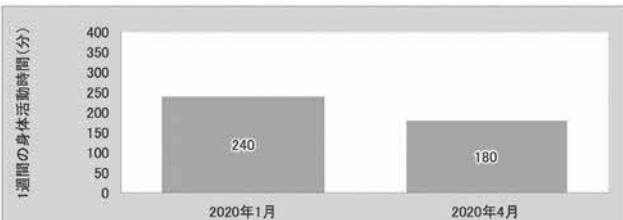
「きょうと新型コロナ医療相談センター」内に設置し、看護師が対応します。

新型コロナウイルス感染症

- (1) 直接的影響：感染者の現状と対応
- (2) 間接的影響：非感染者の現状と対応
- (3) リハビリテーション現場での課題

高齢者の1週間あたり身体活動時間

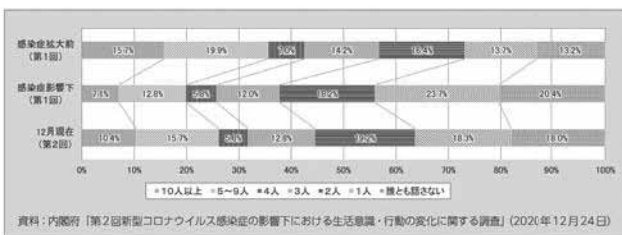
令和3年版 厚生労働白書



資料：[Yamada M, Kimura Y, Ishiyama D, Otobe Y, Suzuki M, Koyama S, Kikuchi T, Kusumi H, Arai H. Letter to the Editor: Recovery of Physical Activity among Older Japanese Adults since the First Wave of the COVID-19 Pandemic. J Nutr Health Aging. 2020;24 (9) :1036-1037.]より厚生労働省政策統括官付政策立案・評価担当事務局において作成

高齢者の同居人以外と会話する人数

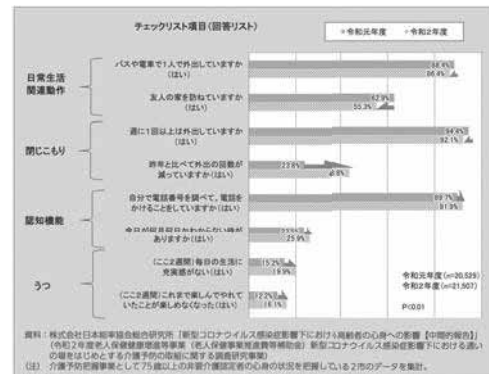
令和3年版 厚生労働白書



資料：内閣府「第2回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2020年12月24日)

高齢者の心身機能への影響

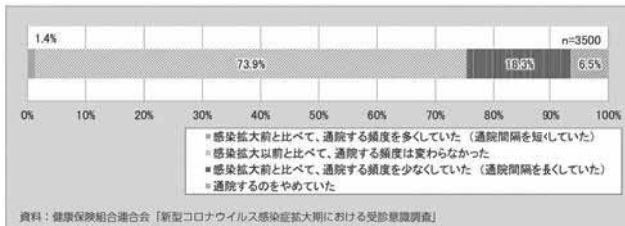
令和3年版 厚生労働白書



資料：株式会社日本総合研究所「新型コロナウイルス感染症影響下における高齢者の心身への影響」(令和2年高齢者保健医療推進等事業(老人保健事業推進補助)新型コロナウイルス感染症影響下における調査)の調査結果を基に、介護予防推進事業として75歳以上の高齢介護受給者の心身の状況を把握し、1市2市のデータを集計。

通院

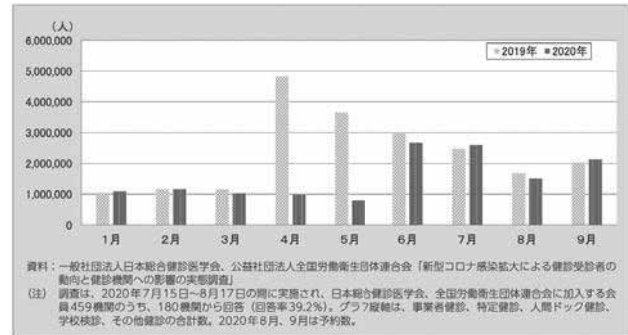
令和3年版 厚生労働白書



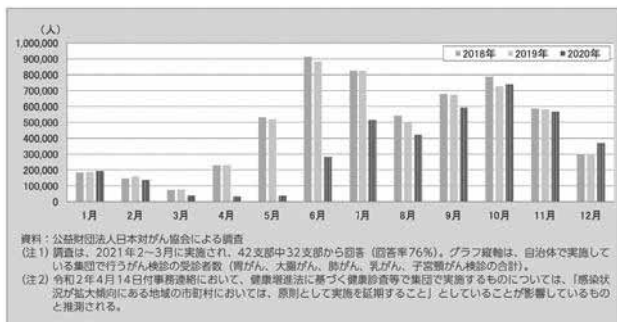
資料：健康保険組合連合会「新型コロナウイルス感染症拡大期における受診意識調査」

検診

令和3年版 厚生労働白書

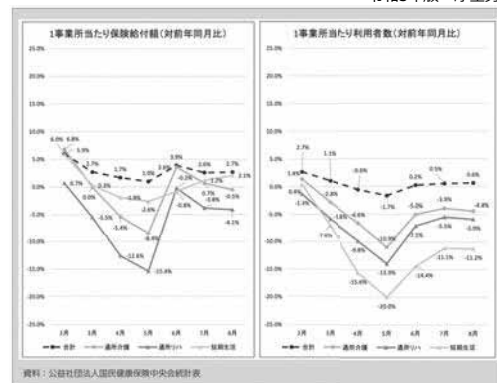


がん検診



介護サービス

令和3年版 厚生労働白書



孤立



<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4588/index.html>
 Helen Joanne "Jo" Cox 孤立問題委員会（イギリス）

「ステイホーム」と「参加」をどう両立するか

社会的処方

イギリス発「地域とのつながり」を処方する。

- 人から施されるのではなく、自ら支援する側に。
- ほかの人たちとつながることができる。
- 学び続けるものを持っている。
- 身体的、精神的に活動的である。
- 周囲で起きていることに注目している。



従来の「生活期」の位置付け

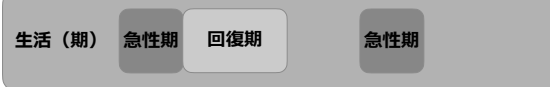


- 事が起こるまでは対応できない。
(例：誤嚥性肺炎待ち、骨折待ち、脱水待ち)
- 事が起こって初めて情報収集が始まる。



患者・利用者の生き様に沿わない治療・ケア

「生活期」なんて存在しない!?



もともと患者・利用者の生活があり
それが治療・ケアの起点
(病気も障害も生活の一部)



患者・利用者の生活の中に治療・ケアを位置付ける

新型コロナ感染症

- (1) 直接的影響：感染者の現状と対応
- (2) 間接的影響：非感染者の現状と対応
- (3) リハビリテーション現場での課題

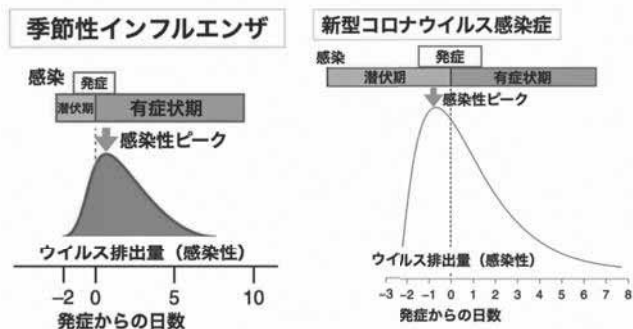
リハビリテーション現場

- 直接接触の機会が多い。
- 近接する時間が長い。
- 患者・利用者がマスクを外す場面がある。
(やむをえない場合もあるが、なあなあも多い)

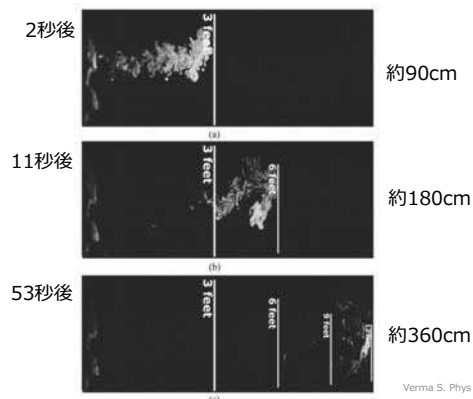


感染 させるリスク
するリスク

新型コロナ感染症は無症状で感染性

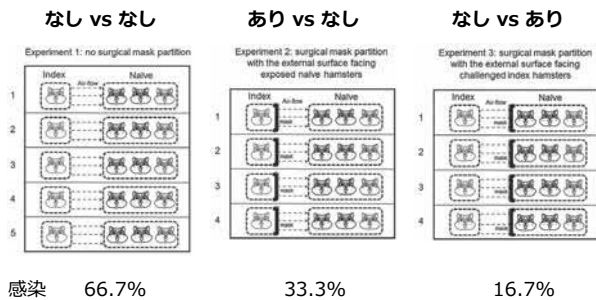


咳の到達距離 (マスクなし)



Verma S. Phys Fluids. 2020

マスクの効果



Jasper F.C..Clin Infect Dis. 2020

フェイスシールド

- 単体（マスクなし）
→ 感染防御効果は低い。
- 相手がマスクを使用していない場合
→ マスクと併用で感染防御効果あり。
- 双方がマスクをしている環境
→ 必ずしも必要ない。
(とくに蔓延期でない場合)

手指衛生

- 接触感染はごく一部である。
- ただし、全て手を介して生じる。
- 皮膚で9時間程度生存する。
(インフルエンザウイルス：2時間)
- 消毒は多頻度接触部位を中心に行う。
平行棒，手すりなど（もちろん手指も）

手指衛生



慶應義塾大学SFC研究所 健康情報コンソーシアム

換気

- アクリル板がかえって換気を妨げることがある。
- 市販の空気清浄機でも効果的な機種がある。
- 二酸化炭素モニターは指標のひとつになりうる。
 - ・ NDIR（非分散型赤外）方式がお勧めらしい。
 - ・ 粗悪品も多いので購入時は注意する。

(見分けは、QRコード参照)

UFC 電気通信大学



新型コロナとリハビリテーション

- リハビリテーション専門職（リハビリテーション科医，理学療法士，作業療法士，言語聴覚士）は，一步に進んだケアマネジャーやその他の専門職との連携が必要である。
- リハビリテーション専門職は医療・介護保険のひとつの部門に閉じこもらず，地域の患者・利用者の生活（活動，参加）を**モニタリングし，育み，マネジメント**する役割の推進が求められている。
(≒リハビリテーション前置主義)

リハビリテーション前置主義

急性期疾患発症時（脳卒中・大腿骨近位部骨折など）

医療 ▶ 介護

- 1) 医療保険のリハビリサービスにより、可能な限り自立もしくは要介護状態を軽減した上で介護保険のリハビリサービスを利用する仕組みを構築すべきである。
- 2) 介護保険の利用に際し、要介護度を改善もしくは維持するために必要なリハビリサービスは、他のサービスに優先的に利用できる仕組みを構築すべきである。
- 3) 上記2点の整備により、要介護者の増加を抑制でき、介護保険財源の安定化に貢献できる。

2007年石川 誠（厚生労働省中央社会保険医療協議会資料）

2010年 回復期リハビリテーション病棟創設

リハビリテーション前置主義

ゆっくり進行する機能低下時

介護

- * 介護保険利用中に新たな疾患による障害が発生した場合は医療保険のリハビリに移行するため問題はない。
- * 新たな疾患ではない原因で、機能やADLが急速に低下した場合は、他の介護サービスに優先して短期集中的なリハビリを実施可能とするべきではないか。（リハビリ前置主義）

現行の介護保険制度によるサービス利用方法では対応が困難
..... 新たな仕組みが必要

石川 誠資料

2010年介護保険創設後にも問題残存

忘却する前に...

- 手段は異なっても、大切にしてきた**真意**まで見失わない。これまで長年積み重ねてきた努力（文化）を無に帰さない。
例）家族教室、家族指導、家屋訪問調査、認知症カフェ、花見、旅行など
- 「不要不急」を言い訳にしない、**思考を止めない**。
- やらないことに慣れてしまうリスク
やらない理由は幾つでもある...

方法は変わっても大切なことはやる

新型コロナウイルス感染症

- (1) 直接的影響：感染者の現状と対応
- (2) 間接的影響：非感染者の現状と対応
- (3) リハビリテーション現場での課題

新型コロナウイルス感染症：感染者

- 多臓器障害、認知機能、精神機能、運動機能...
- 特化したリハビリテーション診療はない。
- post-COVID-19 condition 相談窓口がある。
- 身体の問題と、活動や社会参加などの問題とを両立して診療・ケアする必要がある。
（とくに介護保険非適応者）

新型コロナウイルス感染症：非感染者

- **活動性の低下**が生じている。
- **精神機能の低下**が生じている。
- 必要な**受診**が控えられている。
- **孤立**のリスクがある。
（とくに介護保険非適応者）
- 地域の医療・介護体制の見直しが必要である。

リハビリテーション現場での問題

- 発症前に感染性がある。
- お互いのマスクが重要である。
- 手指衛生も重要である。
- 換気は、風の流れを考えて行う。
- 二酸化炭素モニターで見える化してみる。
- 真意を見失わず、目的に立ち返る。

新型コロナウイルス感染症がもたらしたもの

コロナ感染者

- post-COVID-19 condition
多臓器障害、認知機能
精神機能、運動機能

コロナ非感染者

- 出控え、テレワーク
- 対人関係の希薄化
- 不活動

高齢者、障害者・児童、難病、生活困窮者

- 孤立 ● 貧困 ● 医学・福祉の後退 ● 差別

医療・介護従事者

- 感染させる・するリスク ● 差別 ● 新たな使命

新型コロナウイルス感染症がもたらしたもの

社会の諸問題を炙り出したに過ぎない。

post-COVID-19 condition に特化したリハビリテーション治療はない。



医療・介護職はこれから
どのように地域を支えていくか

早期
発見

連携

専門性

ご参加ありがとうございました。

京都府立医科大学 沢田光恵郎
koshiro-swd@rice.ocn.ne.jp



令和3年度 京都府小児リハビリテーション研修会

摂食嚥下障害のある医療的ケア児の在宅支援

～歯科の立場からリハビリテーションに期待すること～

京都府歯科医師会地域保健部口腔サポート事業プロジェクトチームサブリーダー
医療法人純康会 徳地歯科医院
京滋摂食嚥下を考える会 代表世話人
NPO法人Life is Beautiful 副理事 和田智仁



自己紹介

医療法人純康会 徳地 歯科医院 副院長 和田 智仁

- ・京都府歯科医師会 地域保健部口腔サポート事業プロジェクトチーム サブリーダー
- ・京都府歯科医師会 口腔サポートセンター(KOSC)所員歯科医師
- ・京都府歯科医師会 歯科サービスセンター所員

- ・京都市南歯科医師会 地域歯科担当理事
- ・京都市南口腔ケアセンター所員

- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会
- 日本代謝栄養学会
- 日本口腔ケア学会
- 日本障害者歯科学会 認定医

京滋摂食嚥下を考える会 代表世話人

京介食推進協議会 副会長
NPO法人 Life is Beautiful 副代表
小児在宅歯科医療研究会 世話人



歯科治療



「先生、また噛めるようになりました」

咀嚼障害



外来歯科診療

高齢者訪問歯科診療

小児在宅訪問歯科診療

神経難病等、成人訪問歯科診療

在宅医療

京都府歯科医師会歯科サービスセンター

* 画像の開示は家族に許可を得ております

医学モデル

病気を治すことで
その人を幸せにしようとしてきた



医学モデルと 生活モデル



個人因子

体質・病気・障害

心身機能・構造

健康



医学モデル

国際疾病分類・国際障害分類

障害

病気や障害を治すことだけが
健康回復ではない

医療・介護・支援

環境因子

心身機能・構造

健康

生活

生活機能水準

個人因子

体質・病気・障害

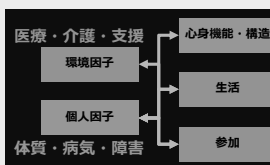
社会参加

障害

生活モデル

国際生活機能分類 ICF

医学モデルから生活モデル



医学モデル

医療、介護、地域は環境として
その人の生活や人生を実現する

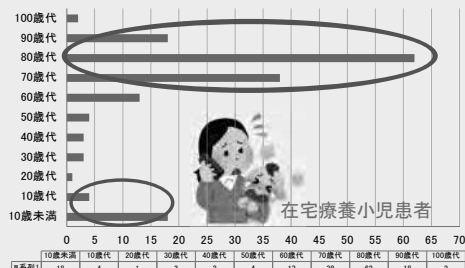
生活モデル

病態をしっかり理解して

食形態を工夫したり、食事環境を工夫したり
生活そのものを工夫して周りの人間が
その人の生活を支援する

「入れ歯外してごはん食べましょう！」

京歯口腔サポートセンター(KOSO) 訪問歯科依頼数
(平成27~30年度1月 総数166名)

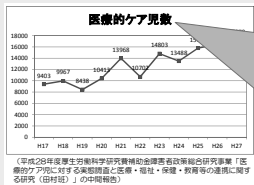


在宅療養小児患者

医療的ケアの必要な子ども(医療的ケア児)とは

医療的ケア児とは、医学の進歩を背景として、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障害児のこと。

(厚生労働省より)



(平成29年度厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「医療的ケア児に対する実態調査と医療・福祉・保健・教育等の連携に関する研究(山村正)」の中間報告)

歩ける医療的ケア児から寝たきりの重症心身障害児までいる。
生きていくために日常的な医療的ケアと医療機器が必要。
例)気管切開部の管理、人工呼吸器の管理、吸引、在宅酸素療法、胃瘻・腸瘻・胃管からの経管栄養、中心静脈栄養 等

これまでの寝たきりの障害児の範疇に収まらない
新しいタイプの
医療的ケアの必要な子どもたちが増えてきている

障害度分類(大島の分類)				
21	22	23	24	25
20	13	14	15	16
19	12	7	8	9
18	11	6	3	4
17	10	5	2	1

注: 1. 寝たきり
2. 歩行困難
3. 歩行困難
4. 歩行困難
5. 歩行困難
6. 歩行困難
7. 歩行困難
8. 歩行困難
9. 歩行困難
10. 歩行困難
11. 歩行困難
12. 歩行困難
13. 歩行困難
14. 歩行困難
15. 歩行困難
16. 歩行困難
17. 歩行困難
18. 歩行困難
19. 歩行困難
20. 歩行困難
21. 歩行困難
22. 歩行困難
23. 歩行困難
24. 歩行困難
25. 歩行困難

*写真は患者家族の許可を得ています

摂食嚥下障害のある医療的ケア児の在宅支援

口腔ケアと食べるを考える

誤嚥性肺炎のリスク

経口摂取の禁止(禁食)

それだけでは誤嚥性肺炎は防げなかった

禁食による廃用症候群、口腔衛生不良が助長され、
誤嚥性肺炎のリスクが上がった

誤嚥性肺炎を防ぐためには

原因となる侵襲をできるだけ減らすだけではなく、抵抗力をあげる必要がある

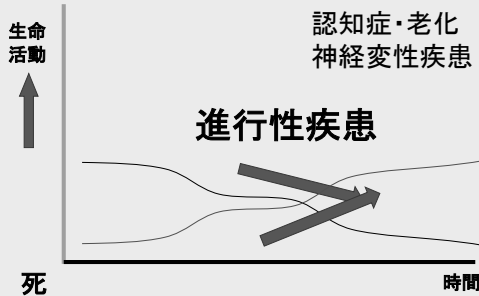
- ① 口腔環境の改善(口腔ケア)
 - ② 唾液誤嚥の軽減(姿勢管理)
 - ③ 胃食道逆流症の軽減(薬剤や姿勢)
 - ④ 筋力低下をきたす薬剤の変更や減量
 - ⑤ 栄養状態の改善(献立の工夫)
 - ⑥ 摂食嚥下機能の向上(食形態の工夫)
- などなど多岐に渡ります

医療的ケア児(小児)と高齢者の違い

治療やリハビリテーションで回復できるかどうかをどう評価するか

成長・発達・発育

小児在宅医療



*写真、動画の使用は患者家族の許可を得ています

子供たちの食を守るためには

多職種の支援

- ① 口腔環境の改善（口腔ケア）
 - ② 唾液誤嚥の軽減（姿勢管理）
 - ③ 胃食道逆流症の軽減（薬剤や姿勢）
 - ④ 筋力低下をきたす薬剤の変更や減量
 - ⑤ 栄養状態の改善（献立の工夫）
 - ⑥ 摂食嚥下機能の向上（食形態の工夫）
- などなど多岐に渡ります

小児科医 ST
歯科医 OT
薬剤師 PT
看護師 介護士
栄養士 教員
栄養教諭
調理師 など

（著編）こどもの伸びる力を信じる食事支援 つばき静岡 浅野一恵 引用

障害のある子供たちの事情を知る

- ・感覚障害（視力、聴覚）
- ・構造上の不利（口蓋や歯列異常、咽頭浮腫、喉頭軟化）
- ・筋力低下や麻痺による咀嚼、嚥下筋の力/速度/技巧の不足
- ・過去の不快記憶
- ・全身状態（呼吸や消化機能の問題）
- ・環境不適合によるやりにくさ、効率の悪さ

（著編）こどもの伸びる力を信じる食事支援 つばき静岡 浅野一恵 引用

食事に関する子供と家族と医療者のニーズ

子供

自分のペースで食べたい
好きな順番で食べたい
好む味だけ食べたい
好む食感だけ食べたい
遊びながら食べたい
眠ることを楽しみたい
苦痛なく食べたい
匂いや見た目だけ楽しみたい
食べることを楽しみたい

家族

経管栄養から離脱させたい
食べる量が増えて欲しい
体重が増えて欲しい
遊ばないで食べてほしい
時間がかからないで欲しい
むせが減って欲しい
家族と同じものを食べて欲しい
自分で食べて欲しい
好き嫌いをなく食べて欲しい
食べることを楽しんで欲しい

医療者

窒息や誤嚥を回避したい
良好な栄養状態を保ちたい
機能発達を促したい
食べることを楽しんで欲しい

（著/編）こどもの伸びる力を信じる食事支援 つばき静岡 浅野一恵

「子供が食事を好きになること、苦しくないこと」

子供の食べる力を評価する

評価の視点

これまで摂食評価は口腔状態、摂食嚥下といった「運動機能」に重きを置いてきた・

「食べる力」と「食べる環境」

（著編）こどもの伸びる力を信じる食事支援 つばき静岡 浅野一恵 引用

食べる力

食べる「意欲」

捕食・取り込み・食塊形成・送り込みといった運動は全て随意運動である。

意欲に問題がある（拒否がある）場合の原因のほとんどは過去（あるいは現在も）に食事が不快だった経験があることが多い。
不快の原因は咽頭痛、腹痛などの痛み。吐き気や嘔吐、誤嚥や窒息の苦しさなど。

（著編）こどもの伸びる力を信じる食事支援 つばき静岡 浅野一恵 引用

食べる環境

- ・全身状態（意識・呼吸状態・消化機能）
- ・摂食状況（自食・一部介助・全介助）
- ・食事環境（空間・照度・音・人）
- ・食形態
- ・水分形態
- ・食事姿勢
など

（著）場に子どもの伸びる力を信じる食事支援 つばき診療所 渡野一恵 引用

評価から仮説へ

例えば口を閉ざす、緊張が入る、吐き出す、口の中に残る、なかなか飲み込まない、むせる、などなど

「それはなぜ??」

機能のせいでなく、その理由をできるだけ
たくさん考えることが重要

（著）場に子どもの伸びる力を信じる食事支援 つばき診療所 渡野一恵 引用

例えば丸呑みで食べる子供の場合

- ・食事が柔らかすぎる（噛む必要がない）
- ・呼吸が苦しいから早く飲み込みたい
- ・舌が大きすぎて運動スペースがない
- ・ばらけないようにあえて丸呑みしている
- ・歯や歯茎が痛い
- ・どんな硬さの物でも飲み込める嚥下機能を獲得した
など

（著）場に子どもの伸びる力を信じる食事支援 つばき診療所 渡野一恵 引用

★摂食嚥下機能★

摂食嚥下とは



1.先期期



2.準備期



3.口腔期



4.咽頭期



5.食道期

- ・口唇（口唇閉鎖）
- ・歯（歯数、歯並び、噛み合わせ）
- ・舌運動（前後、左右、3次元的）
- ・頬

WAIS-IV 概論について: WAIS-IV と脳機能との関係

2021年8月21日(土)

於 令和3年度 京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会
花園大学社会福祉学部臨床心理学科
小海 宏之



WAIS-IV 概論について

- 神経心理学的アセスメント概論
 - ・神経心理アセスメントの目的
 - ・神経心理アセスメントの方法
 - ・神経心理アセスメントを行ううえでの一般的留意点
- WAIS-IV 概論: WAIS-IV と脳機能との関係
 - ・ウェクスラー知能検査の歴史
 - ・WAIS-IV の構成
 - ・正規分布と重症度判別基準
 - ・下位検査と理論的根拠
 - ・プロフィール分析の方法
 - ・下位検査と脳機能との関連



神経心理学的アセスメント概論

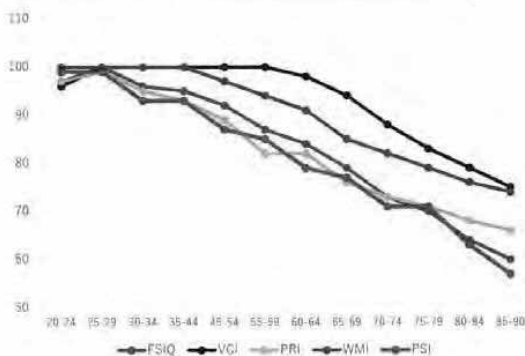


神経心理アセスメントの目的

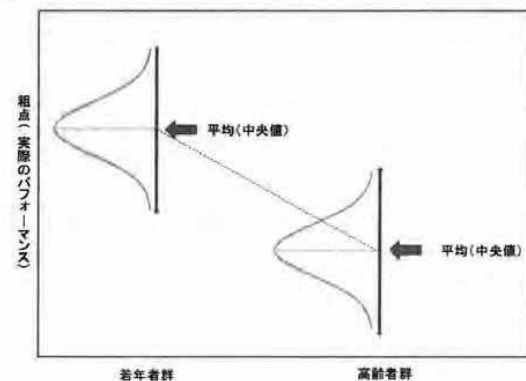
- 疾病や障害のスクリーニング
- 障害プロフィールの把握
- 法的手続きにおける能力判定の補助的資料
- より適切なケアを行うための一助



WAIS-IVにおける各年齢群の中央値の粗点を、基準年齢群(20-34歳)の尺度換算表を用いて算出した合成得点
(出典: 松田, 2020)



高齢者群と若年者群の粗点(実際のパフォーマンス)位置を示したイメージ図
(出典: 松田, 2020)



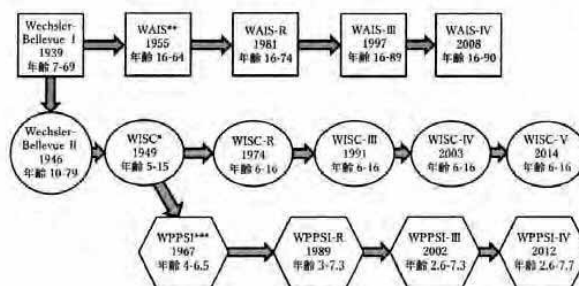
神経心理アセスメントの方法

- 生活史および病歴
- 行動観察
- 面接(生活上の問題点の把握)
- 臨床心理・神経心理テスト(全般的な認知機能、中核になると考えられる高次脳機能障害の把握、その他の認知機能や人格面の評価)
- 医学的テスト(血液検査、Brain CT、MRI、SPECT、PETなど)

神経心理アセスメントの一般的留意点

- 事前にカルテ、脳画像や医師から必要な情報を得ておく
 - ラポールを形成する(同時に意識状態や意欲の程度、記憶障害、失語、失読、失書、失行などの有無や重症度について打診)
 - 適切なテストバッテリーを構成する
 - 検査目的や、検査の構成・特性について説明する
 - 感覚機能の低下に対して配慮する
 - 無理のない励ましをする
 - 注意の払われ方に留意する
 - 個人にあった教示方法で実施する
- ※とくに、各種の神経心理学的検査を実施する際には、各下位検査が何を測定するのかをよく理解した上で、検査を受ける個人にあった教示方法で実施することが最も大切である
- ※検査者を高めることも大切である

ウェクスラー知能検査

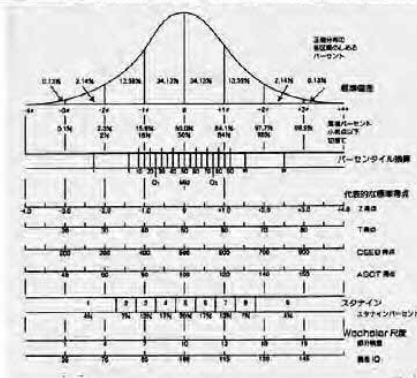


WAIS-IV

Figure 1 is a conceptual diagram illustrating the relationship between various cognitive tests and the Cognitive Proficiency Index (CPI). The diagram is organized into several interconnected boxes and arrows. At the top left, 'VCI (言語理解指標)' (Verbal Comprehension Index) is linked to '類似単語知識' (Analogous Word Knowledge), which leads to '言語理解' (Language Understanding). Below '言語理解' is '理解' (Understanding), which leads to 'FSIQ 全検査IQ' (Full Scale IQ). To the right of 'VCI' is 'PRI (知覚推理指標)' (Perceptual Reasoning Index), which leads to '構文模倣' (Syntax Imitation), then '行列推理' (Matrix Reasoning), then 'パズル' (Puzzle), then 'バランス' (Balance), and finally 'FSIQ 全検査IQ'. Below 'PRI' is 'WMI (ワーキングメモリー指標)' (Working Memory Index), which leads to '数暗' (Number Memory), then '算数' (Arithmetic), then '言語聴覚' (Language Hearing), and finally 'Cognitive Proficiency Index (CPI)'. To the right of 'WMI' is 'PSI (処理速度指標)' (Processing Speed Index), which leads to '符号' (Symbol), then '記号認識' (Symbol Recognition), then '絵の抹消' (Erasing Picture), and finally 'Cognitive Proficiency Index (CPI)'. The 'FSIQ 全検査IQ' box is a large central box. The 'Cognitive Proficiency Index (CPI)' box is at the bottom right. Arrows indicate the flow of information from the various tests to the CPI.

※1 内は補助検査

正規分布図



知能指数の分析

130以上	非常に高い
120～129	高い
110～119	平均の上
90～109	平均
80～89	平均の下
70～79	低い
69以下	非常に低い



mental retardation 重症度判定基準

重症度	ICD-10	DSM-IV
mild	50～69	50-55～およそ70
moderate	35～49	35-40～およそ50-55
severe	20～34	20-25～35-40
profound	20未満	20-25以下

※DSM-5では、知的能力障害(Intellectual Disability)：知的発達遅滞／知的発達障害(Intellectual Developmental Disorder)の重症度基準からIQ値は削除された。重症度のレベルはそれぞれIQ値ではなく、①概念的領域、②社会的領域、③実用的領域における適用機能に基づいて臨床的な総合判断によることになっている。



WAIS-IV

下位要素	課題別・内容	評価の根拠
類似	口頭で提示された共通点または共通概念をもつ2つの意義が、どのような点で似ているかを示せる。	概念の形成および言語能力の評価。また、類推性知能、抽象的推理、帰納的推理、記憶、連合思考と分類思考、重要な特徴と区別できる特徴との区別、および言語表現も関連する。
推論	絵の課題では、提示された絵の各部分を答える。絵の課題では、文字および口頭で提示された単語の意味を答える。	単語知識や言語推論能力の評価。また、類推性知能、知識量、字認能力、長期記憶および言語統制の発達も評価される。
知識	一般的な知識調べる質問に答える。	一般的事象に関する知識を提示し、保持し、引き出す能力を評価。価値認知、長期記憶にも関連する。主知能、常識知能と言語理解、および常識表現も関連する。
[理解]	一般的無意味や社会的状況についての理解に関する質問に答える。	言語的意味と文脈認知、常識知識と事象理解、過去の経験や評価と判断する能力、並列的知識と判断する能力を評価。また、感情認知、社会的な行動規範についての知識、社会的判断力、皮肉記憶および知識にも関連する。

※1 内は補助機番

(出典:日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)



WAIS-IV

下位要素	課題性・内容	確信の程度
教義	<p>福音では読みとられた一連の数字を、同じ数字で表せる。聖書では読みとられた一連の数字を、その順番で表せる。聖書では読みとられた一連の数字を、判断に基く使え。言える。</p>	<p>ある課題から別の課題に移る際は、近似的な数値ととの数値的関係。明確は、暗喩的学習と記憶。意味、符号および暗喩的関係。意味は、ワーキングメモリー、情報の変換、心の保存および短期間イメージ。数値性は、ワーキングメモリーと心の操作。心の操作、集中力、注意力、記憶範囲と無関係。確信的確信力および心の操作。また、連続処理、関連性理解、量的推測、確信的確信および量的知識にも関連する。</p>
認知	<p>巨図で提示された章級の記事題を、紙と鉛筆を使って描き、明暗時間内に答える。</p>	<p>絶対時間、心の操作、注意力、集中力、記憶範囲、および数量的知識に関連。また、情報処理、認知的柔軟性、量的推測、量的知識にも関連する。</p>
[読解質問] (16-19の巻)	<p>読みとられた一連の数字と数とを、数は数値に、その数は百五十歳に読み替えて表せる。</p>	

※1 内は補助検査

(出典：日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)



Clinical Assessment for Attention (CAT)

1 Span

■表示速度：1秒1秒（Digit Scan…読み上げる、Tapping Scan…さし示す）
第1系列に正答したら次の行へ進む。誤答の場合は第2系列へ。同一行の両系列とも誤った場合は中止。

(第1系列)

(第2系列)

Digit Span

(+) 2-5

(-) 0-4

(+) 1-1-8-3

(-) 4-9-7

(+) 4-2-6-1

(+) 1-6-3-8

(+) 9-5-1-6-2

(-) 7-3-9-4-2

(-) 7-3-9-1-4-6-1

+ 6-1-2-5-7-9

(-) 8-5-2-7-1-3-5-4

(-) 1-3-7-2-6-4-6-6

(-) 3-6-7-9-1-8-4-5

(-) 0-6-7-2-5-1-3-8

(-) 7-4-5-9-3-8-1-6-2

(-) 5-3-4-9-7-1-6-8-2

forward

(6) 桁

(+) 9-2

(-) 6-1

(+) 3-7-4

(-) 1-5-8

(+) 2-6-6-1

(+) 4-9-2-7

(+) 4-1-9-2-5

(-) 3-7-5-2-0

(-) 2-1-5-9-8-3

(-) 2-4-2-9-6-9-3

(-) 6-6-3-2-7-9

(-) 6-5-6-1-7-5-8-4

(-) 7-8-2-7-6-9-4-1

(-) 7-5-6-1-4-5-3-9

(-) 0-3-5-7-1-2-4-9-8

(-) 2-7-3-1-6-4-8-5

backward

(5) 桁



WAIS-IV

下位検査	課題例・内容	理論的根拠
構成本体	提示されたモデルとなる模様（構本）と図解、または図解のみと、両方に準拠する、2色の模様で構成された構本を使って、複製期間内に作る	知覚的な複製判断を分析して、統合する能力を評価。非言語的様式形成、非言語的推論、記憶的複製性、視覚的複製性、視覚的記憶、複製認知と複製的付随性、同時性、視覚・運動性の協同、学習、および複製判断の中で図と模を区別する能力に基盤する。
行列検査	提示された不完全な行列または系列を完成させるのに最も適切なものを複製行列の中から選ぶ	知覚性推論、消滅性知覚、定量的複製性知覚、分類能力、空間能力、部分と全体関係に対する知識、消滅的推論、および知覚的付随性にも関連する。
比較検査	複製行列の中から、組み立てたものと真者と用いにならぬもの2つを、複製期間内に迅速に選ぶ	非言語的推論、構造的な複製判断を分析・統合する能力を評価。複製正確性、定量的複製性知覚、消滅的推論、知覚的記憶、空間的複製性、空間的條件、部分的な複製する能力にも関連する。
「パタゴス」（16-60歳）	提示された絵の模様が、どのために適切な色（黒、黄、緑）か、複製期間内に選ぶ	学習・複製的推論能力を評価。選択的および非選択的複製性を知覚し、数字の非言語的な複製プロセスが含まれる。フィジカル・モーターによる正確な複製（模倣する）。
絵の完成	提示された絵の中で欠けている重要な部分を補充し、複製期間内に答える	複製判断と複製的付随性、集中力、および対象物の重要な部分に対する複製認識能力を評価。

● 内は補助検査

(出典：日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)



処理速度指標 (processing speed index: PSI)

下位検査	課題例・内容	理論的根拠
記号探し	左側の刺激記号の1つが右側の記号グループの中にあるかどうかを、制限時間内に判断する	処理速度に加え、長期的記憶記憶、視覚と運動の協同、認知柔軟性、感覚弁別、精神運動速度、心の平静の速度、注意力、および集中力にも関連する。聴覚的理解、知覚統合、流暢性知能、プランニング、学習能力も評価できる。
符号	左手を左手の指として、数字と対になっている記号を、制限時間内に書き写す	処理速度に加え、視覚的短期記憶、学習能力、精神運動速度、視覚認知、感覚と運動の協同、視覚的検査能力、認知柔軟性、注意力、集中力および動機づけを評価。また、視覚的な運動記憶と流動性知能にも関連する。
【10歳未満】 【10-16歳】	視覚的に変えられたさまざまな図案の中から特定の図案を探し、制限時間内に書き写す	処理速度、認知柔軟性、知覚的注意、ディジタリゼーション、知覚速度、および視覚と運動の能力を評価。聴覚的理解、反応時間、および運動記憶の能力も関連する。

※【10歳未満】は補助検査

(出典: 日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)

WAIS-IV

プロフィール分析の方法

- ・ステップ1 全検査IQ (FSIQ) を報告・記述する
- ・ステップ2 言語理解指標 (VCI) を報告・記述する
- ・ステップ3 知覚推理指標 (PRI) を報告・記述する
- ・ステップ4 ワーキングメモリー指標 (WMI) を報告・記述する
- ・ステップ5 処理速度指標 (PSI) を報告・記述する
- ・ステップ6 指標レベルのディスクレパンシー比較を評価する
- ・ステップ7 強みと弱みを評価する (一般的には、指標得点間に何も有意な差がみられない場合には、強みと弱みの判定には10基本検査の評価点平均を用いるべきである)
- ・ステップ8 下位検査レベルのディスクレパンシー比較を評価する (.15水準と .05水準)
- ・ステップ9 下位検査内の得点のパターンを評価する (任意)
※ 総時分析、内容分析も含めて行うことが大切である
- ・ステップ10 プロセス分析を実施する (任意)

WAIS-IV

米国版における知的ギフテッド群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「絵の抹消」「記号探し」の効果量が低い→知的ギフテッドとされる人の処理速度は、変動性が大きく得点も低めであるという先行研究を支持

(出典: 日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)

臨床群研究

米国版における読字障害群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「算数」「語音整列」の低得点は、読字障害におけるワーキングメモリーの潜在的役割を示唆。
※「単語」の低得点は、読書を通じて蓄積される一般的な情報量が、蓄積されずに次第に不足してくることを、ある程度反映している可能性を示唆。

(出典: 日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)

臨床群研究

米国版における算数障害群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「算数」「バランス」「語音整列」の効果量が最も大きく、ワーキングメモリーの困難と算数障害の発生との関連を示唆。

(出典: 日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)

臨床群研究

米国版におけるADHD群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「符号」、続いて「算数」「行列推理」「バランス」の効果量が大きく、流動性推理の課題が、本来ワーキングメモリーを要求することを反映している可能性を示唆。
※ADHDの人は知的機能では標準に近い得点をとるが、処理速度やワーキングメモリーの下位検査において成績が低いという先行研究を支持。

(出典: 日本版WAIS-IV理論・解釈マニュアル)

臨床群研究

米国版における外傷性脳損傷群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※閉鎖性頭部損傷の加速と減速に関連した挫傷、出血、血腫が生じ易いのは、前頭葉と側頭葉前方部。前頭葉損傷には、主として実行機能の障害が伴う。重度の損傷の場合、問題解決能力や適応能力の柔軟性が著しく損なわれるため、機能障害が極めて消耗性の高いものになる場合がある。

※「数唱：数整列」の課題により、外傷性脳損傷に対する「数唱」の感度が上がる可能性が示唆。

(出典：日本版WAIS-IV
理論・解釈マニュアル)



米国版における自閉性障害群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※自閉性障害のある人は一般的な知的機能が低く、とくに言語課題と処理速度課題の得点が低く、知覚課題(「行列推理」「パズル」「積木模様」「バランス」)の得点が比較的高いことを示す先行研究を支持。

(出典：日本版WAIS-IV
理論・解釈マニュアル)



米国版におけるアスペルガー障害群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「符号」「絵の抹消」「記号探し」の効果量が大きく、アスペルガー障害のある人は処理速度の下位検査の得点が低いことを示す先行研究を支持。

※アスペルガー障害の人のワーキングメモリーに関する障害は、一貫して認められるわけではないが、「数整列」の課題が追加されたことにより、感度が高くなった可能性が示唆。

※「理解」の効果量は中程度で注目に値する。社会的相互作用の障害を測定できているかは今後の課題。

(出典：日本版WAIS-IV
理論・解釈マニュアル)



米国版における大うつ病性障害群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「パズル」「符号」「バランス」「絵の抹消」で小効果量が認められ、大うつ病性障害の人の処理速度の課題の得点が、他の種類の認知課題の得点や、健常群と比べて一貫して低いことを示す先行研究を支持。

※サンプルに50歳未満の人が含まれていないので、50歳未満の大うつ病性障害のサンプルでも再現されるかは今後の課題。

(出典：日本版WAIS-IV
理論・解釈マニュアル)



米国版における軽度認知障害群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「語音整列」が大効果量であり、「積木模様」「知識」「符号」「理解」「絵の完成」で中効果量であった。

※「知識」「理解」の中効果量は予想外で、標準化サンプルの平均と近似しており、軽度認知障害群の弱みというより、比較統制群の成績が高かったことと関連している可能性が示唆され、再検証が今後の課題。

(出典：日本版WAIS-IV
理論・解釈マニュアル)



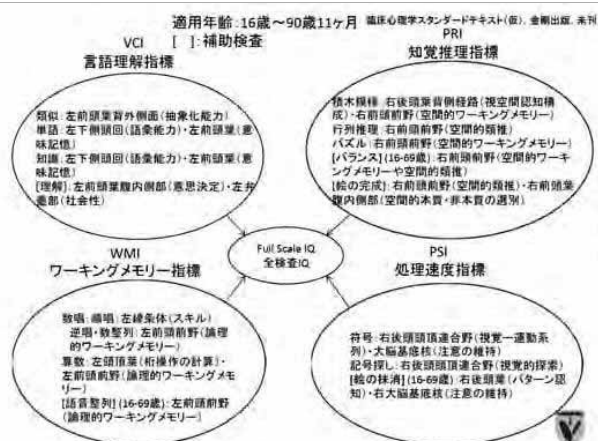
米国版における軽度アルツハイマー型認知症群と比較統制群のWAIS-IVの平均

※「記号探し」「知識」「符号」「算数」の効果量が最も大きく、「数唱：数整列」の効果量が大きいのも注目に値する。AD者の数字の順序づけ課題の感度が高いという先行研究を支持。

※言語概念形成、意味記憶、視空間能力、数算的能力、ワーキングメモリー、および処理速度に関連する多様な認知課題におけるAD者の低得点という先行研究を支持。

(出典：日本版WAIS-IV
理論・解釈マニュアル)





- American Psychiatric Association: Quick Reference to the Diagnostic Criteria from DSM-IV-TR, 2000 [高橋三郎, 大野 裕, 染矢俊幸(訳): DSM-IV-TR 精神障害の分類と診断の手引 新訂版, 医学書院, 2003]
- American Psychiatric Association: Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, Fifth Edition, Arlington, VA, American Psychiatric Association, 2013 [日本精神神経学会日本語版用語(監修), 高橋三郎, 大野 裕(監訳), 染矢俊幸, 神庭重信, 尾崎紀夫ほか(訳): DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル, 医学書院, 2014]
- 小海宏之: 神経心理学的アセスメント・ハンドブック 第2版, 金剛出版, 2019
- 松田修: 日本版WAIS™-IVテクニカルレポート #2: WAIS-IVの高齢者への使用の可能性と課題: 検査能と検査者能の観点から, 日本文化科学社, 2020
- 日本高次脳機能障害学会編集: 標準注意検査法・標準意欲評価法, 新興医学出版社, 2006
- Spreen O, Strauss E: A compendium of neuropsychological tests: administration, norms, and commentary: second edition, Oxford University Press, New York, 1998 [秋元波留夫(監修), 薄川守国, 前田久雄, 三山吉夫ら(訳): 神経心理学検査法: 第2版, 創通出版, pp227-233, 2004]
- 上野一彦: 日本版WAIS™-IVテクニカルレポート #1: 日本版WAIS-IVの改訂ポイント, 日本文化科学社, 2019
- Wechsler D (2008) Wechsler adult intelligence scale-Fourth Edition (WAIS-IV), San Antonio, TX: NCS Pearson, [日本版WAIS-IV刊行委員会 (2018) 日本版WAIS-IV知能検査 実施・採点マニュアル: 理論・解釈マニュアル, 日文化科学社]



令和3年度 京都府総合リハビリテーション充実事業報告書

京都府健康福祉部 リハビリテーション支援センター

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
京都府立医科大学内

TEL	075-251-5399
FAX	075-251-5389
E-mail	rehabili@pref.kyoto.lg.jp
H P	http://www.pref.kyoto.jp/rehabili/

